

別冊

藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～

事業集

<令和3年度～令和6年度>  
(令和3年度版)

藤 沢 市

藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～  
構成

はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
  - (1) 長期的な視点の体系
  - (2) めざす都市像
  - (3) 3つのまちづくりコンセプト
  - (4) 8つの基本目標

藤沢市の現状と見通し、特性を踏まえて、長期的な視点として、めざす都市の姿、分野ごとの基本的方向性を明示

概ね20年先を見据えた  
長期的な視点

第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 5つのまちづくりテーマと17の重点施策
- 3 重点施策実現に向けた財政見通し
- 4 評価
- 5 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

直近4年間の重点取組

別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

## 目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
(1)	体系別事業数	6
(2)	体系別事業費見通し	7
(3)	款別事業費見通し	8
(4)	性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	11
(1)	まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く	15
(2)	まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる	30
(3)	まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	58
(4)	まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める	76
(5)	まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる	92
5	地域づくり	127
	○六会地区まちづくり事業	128
	○片瀬地区地域まちづくり事業	130
	○明治地区まちづくり事業	132
	○御所見地区地域まちづくり事業	134
	○遠藤まちづくり推進事業	136
	○長後地域活性化事業	138
	○辻堂地区地域まちづくり事業	140
	○善行地区まちづくり事業	142
	○湘南大庭地域まちづくり事業	143
	○湘南台地域まちづくり事業	144
	○鵠沼地区まちづくり事業	146
	○藤沢地区まちづくり事業	147
	○村岡いきいきまちづくり事業	148

## 1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」に位置づけ、事業集として示します。

### 重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組むものであり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討により実施していきます。

## 2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。(事業名の後ろに【※】があるものは、令和3年度当初予算が無い事業です)

### まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

#### 1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 41 公園改修費（法面对策）
- 51 緑地改修事業費
- 61 一色川改修費
- 71 大規模震災等対策強化事業費
- 81 南消防署本町出張所（第9分団）再整備事業【※】

#### 2 防犯・交通安全対策の充実

- 11 街頭防犯カメラ設置推進事業費
- 21 防犯対策強化事業費
- 31 自転車駐車場整備費
- 41 市道新設改良費（自転車走行空間整備事業）
- 51 道路安全対策費

#### 3 感染症対策の強化

- 11 感染症対策事業費（新型コロナウイルス感染症対策事業）

### まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる

#### 1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

- 11 包括的支援体制推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 成年後見制度等推進事業費
- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 障がい者相談支援事業費
- 61 【特別会計】介護保険事業費（包括的支援事業）

#### 2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費

- 31 【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）《再掲》

### 3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 ミライカナエル活動サポート事業費
- 21 六会地区まちづくり事業費
- 31 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 41 明治地区まちづくり事業費
- 51 御所見地区地域まちづくり事業費
- 61 遠藤まちづくり推進事業費
- 71 長後地域活性化事業費
- 81 辻堂地区地域まちづくり事業費
- 91 善行地区まちづくり事業費
- 101 湘南大庭地域まちづくり事業費
- 111 湘南台地域まちづくり事業費
- 121 鵜沼地区まちづくり事業費
- 131 藤沢地区まちづくり事業費
- 141 村岡いきいきまちづくり事業費
- 151 善行市民センター改築事業費
- 161 辻堂市民センター改築事業費
- 171 村岡公民館改築事業費

## **まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる**

### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 11 教育情報機器関係費
- 21 教育情報化推進事業費
- 31 学校運営協議会推進事業費
- 41 特別支援教育整備事業費
- 51 諸整備事業費（特別支援学校）
- 61 鵜南小学校改築事業費

### 2 子どもへの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所等施設整備助成事業費
- 21 法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）
- 31 市立保育所運営費（病児保育）
- 41 妊娠・出産包括支援事業費
- 51 少年の森整備事業費
- 61 放課後児童クラブ整備事業費
- 71 放課後児童健全育成事業費

### 3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 就労支援事業費

## **まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める**

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 11 【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）【※】
- 21 環境事業センター整備費
- 31 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 41 村岡地区都市拠点総合整備事業費
- 51 長後地区整備事業費
- 61 公園改修費（鵜沼海浜公園）《再掲》
- 71 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 81 健康と文化の森整備事業費
- 91 市道新設改良費（藤沢652号線）【※】《再掲》
- 101 善行長後線街路新設事業費

### 2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 空き家対策関係費
- 21 住宅政策推進費
- 31 総合交通体系推進事業費

### 3 地域経済循環を高める経済対策の推進

- 11 誘客宣伝事業費
- 21 観光施設整備費

## **まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる**

### 1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

- 11 環境基本計画関係費
- 21 地球温暖化対策関係事業費
- 31 環境啓発推進事業費
- 41 海岸美化関係費
- 51 ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）
- 61 緑地保全事業費（樹林地復元）
- 71 自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）【※】
- 81 【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）

## 2 デジタル市役所・スマートシティの推進

- 11 デジタル推進事業費
- 21 ロボット未来社会推進事業費（前年度：ロボット産業推進事業費）
- 31 個人番号カード普及促進事業費

## 3 人材育成の推進

- 11 職員採用関係費
- 21 職員基本研修費
- 31 職員専門研修費
- 41 介護人材育成支援事業費
- 51 法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）《再掲》
- 61 幼稚園人材確保支援事業費
- 71 担い手育成支援事業費

## 4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信

- 11 市民会館整備費
- 21 アートスペース運営管理費
- 31 景観資源推進費
- 41 シティプロモーション関係費

## 5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出

- 11 オリンピック開催準備関係費
- 21 スポーツ都市宣言推進事業費



### 3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

#### (1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	14
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	26
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	14
4 都市の機能と活力を高める	15
5 未来を見据えてみんなではじめる	24
合計	93

※ 重点事業数には令和3年度当初予算のない事業を含みます。

※ 重点事業については、第3次藤沢市公共施設再整備プランとの整合を図るとともに、令和3年度の中期財政見通しの状況を踏まえ、毎年度見直しながら推進します。

## (2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見通しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,330,209	2,251,629	1,336,680	1,517,506	6,436,024
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	3,733,304	2,787,355	2,423,454	3,225,792	12,169,905
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	3,200,303	2,564,055	4,665,183	3,107,257	13,536,798
4 都市の機能と活力を高める	7,831,753	11,661,078	3,613,250	8,589,066	31,695,147
5 未来を見据えてみんなではじめる	3,079,328	3,459,830	3,913,479	4,110,247	14,562,884
合 計	19,174,897	22,723,947	15,952,046	20,549,868	78,400,758

表 2 体系別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	477,832	856,848	736,583	514,806	2,586,069
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	1,123,693	1,043,322	1,071,736	950,553	4,189,304
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	1,413,127	1,580,819	1,652,963	1,547,185	6,194,094
4 都市の機能と活力を高める	366,895	1,821,619	1,014,315	2,800,266	6,003,095
5 未来を見据えてみんなではじめる	383,953	822,286	882,488	1,077,167	3,165,894
合 計	3,765,500	6,124,894	5,358,085	6,889,977	22,138,456

(3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

		令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
一般会計	総務費	2,219,544	786,401	598,857	1,042,534	4,647,336
	環境保全費	218,896	393,379	203,988	531,074	1,347,337
	民生費	1,763,524	1,724,502	1,662,171	1,654,284	6,804,481
	衛生費	7,973,531	6,707,046	906,422	816,032	16,403,031
	労働費	29,777	29,007	29,007	29,007	116,798
	農林水産業費	31,159	29,003	29,183	29,363	118,708
	商工費	117,968	150,498	31,348	31,348	331,162
	土木費	1,336,598	7,173,681	3,959,688	6,698,652	19,168,619
	消防費	181,975	35,617	395,231	162,726	775,549
	教育費	2,212,095	2,369,745	4,160,669	4,145,743	12,888,252
	小計	16,085,067	19,398,879	11,976,564	15,140,763	62,601,273
特別会計	介護保険事業費	725,179	739,085	760,284	0	2,224,548
	墓園事業費	99,370	172,503	384,828	2,597,585	3,254,286
	下水道事業費	2,265,281	2,413,480	2,830,370	2,811,520	10,320,651
	小計	3,089,830	3,325,068	3,975,482	5,409,105	15,799,485
合計		19,174,897	22,723,947	15,952,046	20,549,868	78,400,758

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

		令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
一般会計	総務費	370,548	597,137	583,400	907,603	2,458,688
	環境保全費	87,528	98,456	90,992	116,738	393,714
	民生費	1,005,862	975,367	983,797	974,392	3,939,418
	衛生費	1,027,084	1,609,309	835,731	792,590	4,264,714
	労働費	29,777	29,007	29,007	29,007	116,798
	農林水産業費	3,225	5,003	5,183	5,363	18,774
	商工費	16,693	64,010	21,628	24,268	126,599
	土木費	360,993	1,620,502	1,245,198	3,029,182	6,255,875
	消防費	8,849	19,726	374,120	66,835	469,530
	教育費	738,581	987,633	1,054,777	943,999	3,724,990
	小計	3,649,140	6,006,150	5,223,833	6,889,977	21,769,100
特別会計	介護保険事業費	116,360	118,744	134,252	0	369,356
	墓園事業費	0	0	0	0	0
	下水道事業費	0	0	0	0	0
	小計	116,360	118,744	134,252	0	369,356
合計		3,765,500	6,124,894	5,358,085	6,889,977	22,138,456

#### (4) 性質別事業費見通し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
消費的経費	5,529,979	5,821,551	5,048,584	4,442,613	20,842,727
投資的経費	13,644,918	16,902,396	10,903,462	16,107,255	57,558,031
合計	19,174,897	22,723,947	15,952,046	20,549,868	78,400,758

表 6 性質別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
消費的経費	3,183,235	3,733,918	3,355,981	3,284,987	13,558,121
投資的経費	582,265	2,390,976	2,002,104	3,604,990	8,580,335
合計	3,765,500	6,124,894	5,358,085	6,889,977	22,138,456

#### 4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。  
事業の説明は令和3年度の予算事業に関する内容を記載しています。  
事業費及び財源内訳欄の単位は千円です。  
なお、事業によっては令和3年度当初予算がないものもあります。

- ※ 事業費については、令和3年度から令和6年度までいずれも事業予算額です。
- ※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業費がないこと、空欄となっているものは事業費が未定であることを表しています。また、事務事業中の一部を重点事業としているものについては、備考欄に該当する重点化の内容を記載しています。
- ※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。

# 藤沢市市政運営の総合指針 2024 体系別事業一覧

(事務事業名の後ろに【※】があるものは、令和3年度当初予算がない事業)

体系コード	事務事業名	課名	頁
<b>まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」</b>			
1 災害対策の充実			
11	防災設備等整備事業費	防災政策課	15
21	危機管理対策事業費	危機管理課	16
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	17
41	公園改修費(法面对策)	公園課	19
51	緑地改修事業費	みどり保全課	20
61	一色川改修費	河川水路課	21
71	大規模震災等対策強化事業費	警防課	22
81	南消防署本町出張所(第9分団)再整備事業【※】	消防総務課	—
2 防犯・交通安全対策の充実			
11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	24
21	防犯対策強化事業費	防犯交通安全課	25
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	26
41	市道新設改良費(自転車走行空間整備事業)	道路整備課	27
51	道路安全対策費	道路維持課	28
3 感染症対策の強化			
11	感染症対策事業費(新型コロナウイルス感染症対策事業)	保健予防課	29
<b>まちづくりテーマ2 「健康で豊かな長寿社会をつくる」</b>			
1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
11	包括的支援体制推進事業費	地域包括ケアシステム推進室 (新課名:地域共生社会推進室)	30
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室 (新課名:地域共生社会推進室)	31
31	成年後見制度等推進事業費	地域包括ケアシステム推進室 (新課名:地域共生社会推進室)	32
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室 (新課名:地域共生社会推進室)	33
51	障がい者相談支援事業費	障がい福祉課 (新課名:障がい者支援課)	34
61	【特別会計】介護保険事業費(包括的支援事業)	介護保険課・地域包括ケアシステム推進室 (新課名:介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課)	35
2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
11	健康づくり推進事業費	健康増進課 (新課名:健康づくり課)	37

体系コード	事務事業名	課名	頁
21	がん検診事業費	健康増進課 (新課名：健康づくり課)	38
31	【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）《再掲》	介護保険課・地域包括ケアシステム推進室（新課名：介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課）	39
3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
11	ミライカナル活動サポート事業費	市民自治推進課	41
21	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	42
31	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	43
41	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	44
51	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	45
61	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	46
71	長後地域活性化事業費	長後市民センター	47
81	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	48
91	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	49
101	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	50
111	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	51
121	鶴沼地区まちづくり事業費	鶴沼市民センター	52
131	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	53
141	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	54
151	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課・善行市民センター	55
161	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課・辻堂市民センター	56
171	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	57

### まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

#### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	教育情報機器関係費	教育総務課	58
21	教育情報化推進事業費	教育総務課	59
31	学校運営協議会推進事業費	教育総務課	60
41	特別支援教育整備事業費	教育指導課	61
51	諸整備事業費（特別支援学校）	学校施設課	62
61	鶴南小学校改築事業費	学校施設課・教育指導課	63

#### 2 子どもへの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	64
21	法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）	保育課	65
31	市立保育所運営費（病児保育）	保育課	67

体系コード	事務事業名	課名	頁
41	妊娠・出産包括支援事業費	子ども健康課 (新課名：健康づくり課)	69
51	少年の森整備事業費	青少年課	71
61	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	72
71	放課後児童健全育成事業費	青少年課	73
3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
11	就労支援事業費	産業労働課	75

#### まちづくりテーマ4 「都市の機能と活力を高める」

##### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）【※】	福祉医療給付課 (新課名：福祉総務課)	—
21	環境事業センター整備費	環境事業センター	76
31	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	77
41	村岡地区都市拠点総合整備事業費	都市整備課	78
51	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	79
61	公園改修費（鵜沼海浜公園）《再掲》	公園課	80
71	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	81
81	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	82
91	市道新設改良費（藤沢652号線）【※】《再掲》	道路整備課	83
101	善行長後線街路新設事業費	道路整備課	84

##### 2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	空き家対策関係費	住宅政策課	85
21	住宅政策推進費	住宅政策課	86
31	総合交通体系推進業務費	都市計画課	87

##### 3 地域経済循環を高める経済対策の推進

11	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課 (新課名：観光課)	89
21	観光施設整備費	観光シティプロモーション課 (新課名：観光課)	90

#### まちづくりテーマ5 「未来を見据えてみんなではじめる」

##### 1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

11	環境基本計画関係費	環境総務課	92
21	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	94
31	環境啓発推進事業費	環境総務課	96
41	海岸美化関係費	環境総務課	98



体系コード	事務事業名	課名	頁
51	ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）	環境総務課・環境事業センター	99
61	緑地保全事業費（樹林地復元）	みどり保全課	100
71	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）【※】	みどり保全課	101
81	【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）	下水道総務課 ほか3課	102
2 デジタル市役所・スマートシティの推進			
11	デジタル推進事業費	行政総務課・IT推進課・企画政策課 （新課名：デジタル推進室）	104
21	ロボット未来社会推進事業費	産業労働課 （新課名：デジタル推進室）	106
31	個人番号カード普及促進事業費	市民窓口センター	107
3 人材育成の推進			
11	職員採用関係費	職員課	109
21	職員基本研修費	職員課	110
31	職員専門研修費	職員課	111
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	112
51	法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）《再掲》	保育課	114
61	幼稚園人材確保支援事業費	保育課	116
71	担い手育成支援事業費	農業水産課	117
4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
11	市民会館整備費	文化芸術課	119
21	アーツスペース運営管理費	文化芸術課	120
31	景観資源推進費	街なみ景観課	121
41	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課 （新課名：広報シティプロモーション課）	123
5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	124
21	スポーツ都市宣言推進事業費	スポーツ推進課	125

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	146,353	0	19,921		6,574	119,858
令和2年度	232,672	15,964	17,341		7,474	191,893
対前年度	△ 86,319	△ 15,964	2,580		△ 900	△ 72,035
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				19,921
	(その他)	防災ラジオ売払収入				2,000
	(その他)	災害対応型自動販売機設置協力金				4,574

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 103,277 千円  
 おかゆ、長期保存食（ビスケット）、簡易トイレ処理袋、毛布、液体ミルク、ポータブル蓄電池等の購入費
2. 防災ラジオの市民頒布 8,470 千円  
 災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ1,000台の購入及び頒布
3. 津波避難対策の充実・強化 7,726 千円
  - ・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費 3,373 千円
  - ・津波避難施設整備事業費補助金 3,000 千円
  - ・津波避難施設建設用地に係る用地測量費 1,353 千円
4. 防災対策の充実・強化 26,880 千円
  - ・耐震性飲料用貯水槽緊急遮断弁改修工事 21,780 千円
  - ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 5,100 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
146,353	449,006	32,443	276,943	904,745	

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07			危機管理課		
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	10,991	1,890	3,485			5,616
令和2年度	4,978	1,275	974			2,729
対前年度	6,013	615	2,511			2,887
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,890
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				3,485

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し、被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所等への表示看板の設置や、津波ハザードマップの改定等に伴う各種津波防災看板の更新を行う。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地として、関係機関との更なる連携強化を進め、万全の危機管理体制の構築を図る。

1. 指定緊急避難場所等表示看板の設置 5,496 千円  
 災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に指定することに伴い、指定緊急避難場所等について、災害発生時のみならず、日常的に周知・啓発を行うため、指定する施設の入口等に避難場所等であることを示す蓄光型の表示看板の設置を行う。  
 ・令和3年度設置予定数 36カ所

- (新) 2. 津波ハザードマップの改定等に伴う各種津波防災看板の更新 5,495 千円  
 (1) 津波避難場所案内看板  
 津波避難ビル等を表示した看板について、津波避難ビルの増減により表示を変更する必要があるため、更新を行う。  
 ・片瀬地区、鶴沼地区、辻堂地区に合計16カ所  
 (2) 津波避難情報看板  
 津波浸水想定区域等を表示した看板について、津波ハザードマップの改定に伴い津波浸水想定区域等の表示を変更する必要があるため、更新を行う。  
 ・片瀬地区、鶴沼地区、辻堂地区に合計8カ所  
 (3) 津波浸水予測図看板  
 津波の遡上による浸水を考慮した境川及び引地川の沿岸に設置している看板について、津波ハザードマップの改定に伴い津波浸水想定区域等の表示を変更する必要があるため、更新を行う。  
 ・片瀬地区、鶴沼地区に合計7カ所



津波避難場所案内看板



津波避難情報看板



津波浸水予測図看板

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,991	17,270	2,376	2,376	33,013	

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03			建築指導課		
指針体系コード	1-1-31		まちづくりテーマ 安全で安心な暮らしを築く			
			重点施策名 災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	30,556	14,963	6,738			8,855
令和2年度	60,698	23,326	10,916			26,456
対前年度	△ 30,142	△ 8,363	△ 4,178			△ 17,601
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				10,905
	(国庫支出金)	地域防災拠点建築物整備緊急促進事業費補助金				4,058
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				5,142
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				1,596

【事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者、非木造の分譲マンションの管理組合及び耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物の所有者を対象に、既存建築物の耐震化促進事業を行う。

1. 木造住宅耐震診断補助 2,160 千円  
 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。  
 ・一般診断（補助上限 60,000円） 36 件
  
2. 木造住宅耐震改修工事補助 18,840 千円  
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。  
 ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 20 件  
 ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 14 件
  
3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助 200 千円  
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。  
 ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1 件
  
4. 分譲マンション耐震診断補助 1,650 千円  
 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。  
 ・予備診断（補助上限 150,000円） 1 件  
 ・本診断（補助上限 1,500,000円） 1 件
  
5. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修工事等補助 7,253 千円  
 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された緊急輸送道路沿道の、旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、耐震改修設計、耐震改修工事及び除却に要する費用の一部を補助する。  
 ・耐震改修設計（補助率 5/6、補助上限 1,750,000円） 2 件  
 ・耐震改修工事（補助率 1/15、補助上限 22,000,000円） 1 件  
 ・除却（補助率 1/15、補助上限 11,000,000円） 1 件

6. 耐震アドバイザー講師謝礼 80 千円  
 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の  
 立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。  
 ・講師謝礼（20,000円／回） 4回
7. 建築物等防災対策事務経費 373 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
30,556	155,696	222,978	221,103	630,333	

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
	4-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	148,637			112,600		36,037
令和2年度	224,958			149,100		75,858
対前年度	△ 76,321			△ 36,500		△ 39,821
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				112,600

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、土砂災害警戒区域内に指定された公園等の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策工事を行う。

また、鶴沼海浜公園の改修に向けて、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用するにあたり、藤沢市都市公園公募対象公園施設設置等予定者選定委員会において、事業者（＝設置等予定者）の選定を行う。

1. 公園施設の老朽化対策等 35,826 千円
  - (1) 委託料 3,077千円
    - ・都市公園遊具点検業務委託（271公園）  
遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
  - (2) 施設修繕費 21,672千円  
劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
  - (3) 役務費 11,077千円  
公園の適正な維持管理を行うために、老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花であるフジについて、剪定等の管理を実施し、保護及び育成を図る。
2. 法面对策工事（御所ヶ谷緑地第1期工区） 112,684 千円  
土砂災害警戒区域内の法面について、対策工事を行う。
3. 藤沢市都市公園公募対象公園施設設置等予定者選定委員会の開催 127 千円  
前年度に引き続き、選定委員会を開催し、事業者（＝設置等予定者）の選定を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
112,684	153,000	134,000	180,000	579,684	法面对策

環境保全費

事業名	緑地改修事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 05 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	42,075			9,300		32,775
令和2年度	45,925			36,600		9,325
対前年度	△ 3,850			△ 27,300		23,450
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				9,300

【事業概要】

土砂災害警戒区域内に位置する市有山林の法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた対策を進める。

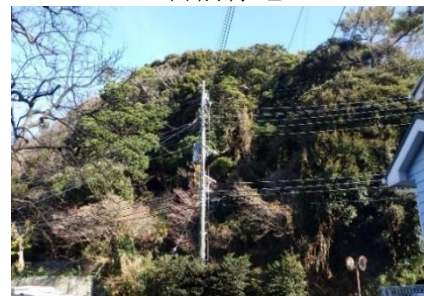
- 法面詳細設計委託 9,416 千円  
「石川鍛冶山緑地」において、調査及び予備設計の結果をもとに、法面防護工事に向けた詳細設計委託を行う。
- 法面調査委託 32,659 千円  
「宮前緑地」、「片瀬三丁目緑地」において、地質調査と測量を実施し、法面の安全性について評価を行う。
  - 宮前緑地法面二次調査委託 19,371 千円
  - 片瀬三丁目緑地法面二次調査委託 13,288 千円



石川鍛冶山緑地



宮前緑地



片瀬三丁目緑地

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
42,075	238,053	38,100	331,000	649,228	

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	128,290	10,000		104,400		13,890
令和2年度	82,625	9,000		58,600		15,025
対前年度	45,665	1,000		45,800		△ 1,135
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				10,000
	(地方債)	河川改修事業債				104,400

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、稲荷山橋架替工事を行うとともに、最下流部の護岸改修工事を行う。

1. 工事請負費 89,018 千円
- ・稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工）
  - ・一色川護岸改修工事 L = 70 m

<継続費>

(1) 稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工） (単位：千円)

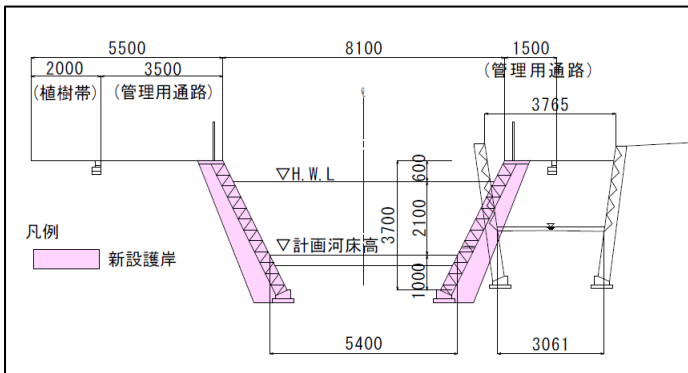
年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	39,770	43,018	82,788

(2) 一色川護岸改修工事 (単位：千円)

年割額	令和3年度	令和4年度	合計
	46,000	61,000	107,000

2. 補償補填及び賠償金 37,070 千円
- ・稲荷山橋架替工事に伴うガスの移設補償金
3. 一色川改修事務経費 2,202 千円
- ・旅費、需用費、使用料及び賃借料

【一色川護岸改修工事】



標準断面図



現況写真

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
128,290	198,256	113,384	141,000	580,930	



消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 05				警防課	
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	181,975	82,039	13,987	77,100		8,849
令和2年度	49,686	38,691	0	3,200		7,795
対前年度	132,289	43,348	13,987	73,900		1,054
特定財源の内訳	(国庫支出金)	緊急消防援助隊設備整備費補助金				66,615
	(国庫支出金)	消防・救急体制整備費補助金（東京2020オリンピック大会）				15,424
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				13,987
	(地方債)	消防施設整備事業債				77,100

<拡充事業> 遠距離送・排水システム車整備の実施

【施策等を必要とする背景】

大規模地震発生の際には、水道管の破損等により消火栓が使用不能となり、防火水槽についても破損漏洩し、消火用水が確保できなくなることが課題となっている。市内には延焼危険度の高い地区が点在しているが、その中でも南部地域は木造建物密集地区であり、狭あい道路も多く特に対策が必要とされている。

また、昨今激甚・頻発化する台風や集中豪雨等による被害への対応も急務となっている。

これらの自然災害による被害を最小限とし、市民の安全・安心を守るため、本市の豊かな自然水利を有効活用することができる遠距離送・排水システム車の導入について検討を進めてきた。

【提案に至るまでの経緯】

大規模地震時の消防用水不足や台風・集中豪雨等による被害に対応するため、遠距離送・排水体制の構築を図るべく、「耐震性防火水槽の設置」、「自動中継機能付き小型動力ポンプの整備（令和2年度に14署所への計画整備が完了）」、「遠距離送・排水システム車の整備」を推進してきたものである。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

遠距離送・排水体制の構築に向け、防災部局や下水道部局等の関係各課との連携を強化しながら「藤沢市消防局消防計画」等の見直し検討を進めている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

遠距離送・排水システム車の導入により、海や河川からの消防用水の取水が可能となり、大規模地震時の消防用水不足への対策が強化される。

また、当該システム車の排水能力は、現行で使用している排水ポンプの5倍であるため、風水害時の浸水対策に大きな効果が期待される。

2. 将来にわたる費用

遠距離送・排水システム車の毎年度の財政負担見込額は、保守点検費用である。

・車検該当年（3か月点検、6か月点検、車検、自賠責保険、重量税）	445,000円×9年
・車検該当年以外（3か月点検、6か月点検、12か月点検）	155,000円×9年
合計	5,400,000円

※消防車両等更新基準により18年使用での更新を想定。

**【事業概要】**

近年中に発生が懸念されている大規模地震が引き起こす火災や、昨今激甚・頻発化する台風や集中豪雨等による水害から市民を守るため、遠距離送・排水システム車を整備する。また、東京2020大会や大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、特殊災害対応資機材等の整備を行う。

(拡) 1. 遠距離送・排水システム車の整備	166,549 千円
大規模震災時において、特に大規模な延焼被害が想定される南部地域に対し迅速な対応がとれるよう南消防署に遠距離送・排水システム車を整備する。	
・旅費（普通旅費、特別旅費）	102 千円
・役務費（6か月点検、自賠責等）	38 千円
・備品購入費	166,369 千円
・公課費（重量税）	40 千円
2. 特殊災害対応資機材等の整備	15,426 千円
・消耗品（テロ対策資機材）	4,630 千円
・使用料及び賃借料（映像監視用システム、待機所等）	7,738 千円
・備品購入費（搬送用アイソレーター装置）	3,058 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
181,975	25,947	22,301	21,326	251,549	

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	12,475		1,605			10,870
令和2年度	9,528		1,500			8,028
対前年度	2,947		105			2,842
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,605

【事業概要】

市による街頭防犯カメラの設置と維持管理や、自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助を行う。

1. 街頭防犯カメラ設置等 1,926 千円  
 藤沢駅地下通路2台  
 ・防犯カメラ設置費 1,819 千円  
 ・防犯カメラ維持管理費 107 千円
2. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 10,049 千円  
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ36台について、設置費の一部を補助する。

台数	補助金額	団体数	自治会・町内会名
36台	10,049千円	12団体	西の原会、ひばり自治会、富士見台ハイツ自治会、辻堂北町町内会、辻堂西海岸町内会、コーポ城山自治会、オーシャンヒルズ自治会、表郷町内会、やまゆり会自治会、鶴南みどり会、南伯自治会、辻堂東海岸2丁目町内会

3. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 500 千円  
 自治会・町内会が設置している防犯カメラ本体と周辺機器について、修繕費の一部を補助する。



藤沢駅地下通路 街頭防犯カメラ設置予定箇所

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
12,475	9,717	9,717	11,996	43,905	

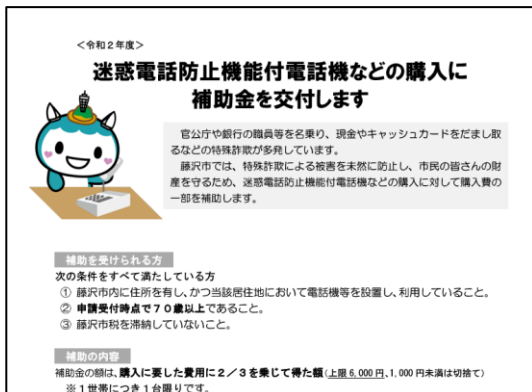
環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 03	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	8,646		900			7,746
令和2年度	7,148		0			7,148
対前年度	1,498		900			598
特定財源の内訳	(県支出金)	特殊詐欺被害防止対策事業補助金				900

【事業概要】

市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

- 街頭犯罪抑止環境整備 2,231 千円  
 こども110番の設置及び登録者確認作業、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
- インターネット等による防犯情報広報啓発事業 1,323 千円
  - 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務等 928 千円  
 不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール配信するための防犯対策システムソフトウェアの保守管理等を行う。
  - 防犯情報広報啓発事業 395 千円  
 ホームページ・SNSにより防犯情報を周知し、防犯意識を啓発する。
- 暴力追放推進協議会の活動支援 760 千円  
 暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
- 各地区防犯パトロール隊の活動支援 2,300 千円  
 市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
- 特殊詐欺対策 1,844 千円  
 特殊詐欺被害防止のための啓発チラシ作成や迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対する補助を行う。
- 防犯市民のつどいの開催 188 千円  
 防犯功労者表彰や防犯に関する講演等を行い、日頃の地域防犯活動への功績に感謝するとともに防犯意識の高揚を図る。新型コロナウイルス感染症の状況により、動画・メッセージ配信などホームページ等を活用したオンライン開催を検討する。



迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度

防犯市民のつどい

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,646	8,646	7,746	7,746	32,784	

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			道路河川総務課		
指針体系コード	1-2-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	14,998					14,998
令和2年度	7,070					7,070
対前年度	7,928					7,928

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備及び一部の駐車場のゲートについて機械化（非接触型）を進める。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 使用料及び賃借料  | 13,026 千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・江ノ島駅自転車等駐車場管理設備機器及び管理棟賃借料</li> <li>・藤沢駅北口路上自転車駐車場管理設備機器賃借料</li> <li>・藤沢駅北口市役所前自転車等駐車場の機械化に伴う管理設備機器賃借料</li> <li>・藤沢駅南口第2自転車駐車場の機械化に伴う管理設備機器賃借料</li> </ul> |           |
| 2. 工事請負費   | 900 千円    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・江ノ島駅自転車等駐車場の整備に伴う代替地（洲鼻広場）の復旧工事</li> </ul>   |           |
| 3. 自転車駐車場整備事務経費  | 1,072 千円  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費、需用費</li> </ul>  |           |

（1の事業の一部は令和2年度12月補正で債務負担行為を設定）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
14,998	286,332	113,180	33,680	448,190	

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	134,345	17,410	0	82,400		34,535
令和2年度	435,687	61,154	5,900	220,000		148,633
対前年度	△ 301,342	△ 43,744	△ 5,900	△ 137,600		△ 114,098
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				17,410
	(地方債)	道路整備事業債				82,400

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、自転車走行空間の整備を行う。

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 道路の新設改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 六会554号線（工事、補償）</li> <li>・ 辻堂429号線〔羽鳥立体〕（工事）</li> <li>・ 湘南台308号線（工事）</li> </ul> <p>2. 自転車走行空間整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鵜沼奥田線（工事）</li> <li>・ 藤沢村岡線（工事）</li> <li>・ 藤沢駅周辺（工事）</li> </ul> <p>3. 市道新設改良事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅費、需用費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金</li> </ul> | <p>83,472 千円</p> <p>33,200 千円</p> <p>17,673 千円</p> |
|---|--|

<継続費>

(1) 六会554号線道路改良工事 (単位：千円)

年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	28,670	28,673	57,343

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
33,200	60,000	76,700	37,000	206,900	自転車走行空間整備事業

土木費

事業名	道路安全対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-2-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	84,696			17,600	1,530	65,566
令和2年度	85,745			0	0	85,745
対前年度	△ 1,049			17,600	1,530	△ 20,179
特定財源の内訳	(地方債)	道路整備事業債				17,600
	(その他)	交通安全対策基金				1,530

【事業概要】

交通事故の防止及び安全な道路環境を提供するなどの安全対策を図るため、安全施設の劣化や破損の補修等を行う。

また、滋賀県大津市の交通事故をきっかけに緊急対策を講じた55交差点以外の安全対策が必要な交差点や、未就学児安全合同点検等の結果を踏まえて計画的に車止め等を設置し、安全対策を進める。

1. 委託料 12,437 千円  
 道路反射鏡の清掃・方向直しを行う。  
 ・道路反射鏡清掃及び管理業務委託 清掃700基・方向直し450基ほか
2. 工事請負費 59,301 千円  
 道路反射鏡、交差点発光鏡など道路安全施設及び道路区画線標示の新設・補修を行う。  
 ・道路交通安全施設設置工事 道路反射鏡等の新設・建替 36基  
 ・道路区画線標示補修等工事 道路区画線の標示 約31,500m  
 ・車止め等設置工事（藤沢駅南部・大庭地区）
3. 施設修繕費 11,680 千円  
 道路反射鏡など道路安全施設の小規模修繕を行う。
4. 役務費 1,278 千円  
 道路反射鏡などに支障となる樹木の剪定等を行う。



車止め設置イメージ

(2の事業の一部は令和2年度12月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
84,696	116,766	116,766	111,936	430,164	

衛生費

事業名	感染症対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 01			保健予防課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	感染症対策の強化			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	600,346	339,240	41,381			219,725
令和2年度	77,987	40,657	0			37,330
対前年度	522,359	298,583	41,381			182,395
特定財源の内訳	(国庫支出金)	結核対策費負担金				5,804
	(国庫支出金)	感染症予防費負担金				185,540
	(国庫支出金)	感染症発生動向調査事業費負担金				120,286
	(国庫支出金)	結核対策費補助金				760
	(国庫支出金)	性感染症検査等事業補助金				26,850
	(県支出金)	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金				41,381

【事業概要】

市民の健康を守るため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の罹患予防やまん延防止に向けた検診（健診）や保健指導、情報の収集及び提供、普及啓発等の感染症対策事業を行う。

また、風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査を引き続き実施する。

1. 結核対策事業 17,765 千円  
結核登録患者の家庭を訪問し、不安の軽減や療養支援等の指導相談及び被感染者の早期発見のための接触者健康診断を行うとともに、結核医療費の助成を行う。
2. その他の感染症対策事業 59,311 千円
  - ・ 定点医療機関からの感染症発生動向調査による感染症情報の収集及び提供
  - ・ 感染症患者発生時の疫学調査及び必要に応じた検体の検査の実施
  - ・ 新型インフルエンザ等感染症対策の推進
  - ・ 妊娠を希望する女性とパートナー等を対象にした風しん抗体検査の実施
  - ・ 抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査の実施
3. 新型コロナウイルス感染症対策事業 523,270 千円
  - ・ 新型コロナウイルス感染症入院医療費の公費負担
  - ・ 新型コロナウイルス感染症検査費用の公費負担
  - ・ 藤沢コロナ受診相談センター及び一般電話相談の設置に係る業務委託
  - ・ PCR検査センターの設置に係る業務委託
  - ・ 集団検査時の民間検査機関への検査委託

（3の事業は令和2年度4月専決補正及び12月補正で増額した事業）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
523,270	523,270	74,059	0	1,120,599	新型コロナウイルス感染症対策事業



民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02			地域包括ケアシステム推進室 (新課名：地域共生社会推進室)		
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	96,755	70,684				26,071
令和2年度	94,866	69,583				25,283
対前年度	1,889	1,101				788
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				45,092
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				25,592

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を藤沢市社会福祉協議会への業務委託により実施する。

また、本事業の実施により、生活圏域全13地区にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、困難を抱える生活困窮者の早期把握と、地区ごとのさまざまな支援機関との連携による包括的な相談支援体制づくりを推進する。

1. 自立相談支援事業費（必須事業） 60,123 千円  
生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、地域の中で孤立する世帯に対し専門的な支援につなげる個別支援を行うとともに、地域のさまざまな活動団体に対する支援を行う。
2. 共助の基盤づくり事業費（任意事業） 7,516 千円  
身近な地域で誰もが安心して生活することができるよう、住民相互の支えあいによる共助の取組を活性化し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。
3. 多機関協働構築事業費（任意事業） 19,049 千円  
多分野にわたる相談支援機関の連携体制及び多職種間の連携・協働の体制を構築し、複合的な課題を抱える者に対する支援をコーディネートする。
4. 地域力強化推進事業費（任意事業） 10,067 千円  
住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援し、その活動を通じて把握された個別課題を包括的に受け止め、解決に向け適切なサービス利用につなげるとともに、アウトリーチの視点から生活課題を抱える対象者に対して働きかけを行い、必要な支援につなげる相談体制を構築する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
96,755	98,435	100,115	101,795	397,100	

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01			地域包括ケアシステム推進室 (新課名：地域共生社会推進室)		
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	64,440	41,179				23,261
令和2年度	44,901	27,080				17,821
対前年度	19,539	14,099				5,440
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				14,300
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				26,879

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 331 千円  
 《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を一体的かつ計画的に行う。  
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）  
 本庁（福祉総合相談支援センター）及び北部福祉総合相談室で実施
2. 住居確保給付金の支給（必須事業） 18,172 千円  
 《事業内容》離職者や休業等により経済的に困窮した世帯へ家賃相当額を支給するとともに、就労にむけた支援を行う。  
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
3. 就労準備支援事業（任意事業） 14,510 千円  
 《事業内容》就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。  
 《実施方法》委託事業として実施
4. 家計改善支援事業（任意事業） 9,412 千円  
 《事業内容》家計管理に関する相談と指導、及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付のあっせん等の支援を行う。  
 《実施方法》委託事業として実施
- (拡) 5. 子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 20,213 千円  
 《事業内容》市内4カ所（鶴沼・六会・湘南大庭・御所見）に事業所を開設し、学校等の支援機関と連携しながら、生活困窮世帯の子どもへの学習支援、居場所づくり、及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を行う。また、保護者を対象とした生活環境の向上を図るための支援を行う。  
 《実施方法》委託事業として実施
6. 一時生活支援事業（任意事業） 1,802 千円  
 《事業内容》住居のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。  
 《実施方法》県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
64,440	47,268	47,268	47,268	206,244	

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01			地域包括ケアシステム推進室 (新課名：地域共生社会推進室)		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	38,917	7,417	7,171			24,329
令和2年度	38,150	6,293	6,175			25,682
対前年度	767	1,124	996			△ 1,353
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				5,374
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				2,043
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				2,687
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,484

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制整備を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業 4,633 千円  
 適切かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
  2. 成年後見制度利用促進事業 6,983 千円  
 中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援の実施、さらに成年後見制度の周知や情報発信を目的とした広報活動など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
  3. ふじさわあんしんセンターに対する補助等 20,509 千円  
 成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
  4. 後見人に対する報酬等 6,456 千円  
 成年後見人等への報酬助成
  5. その他旅費等 336 千円  
 市長申立てによる審判請求  
 親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援
- ※ 高齢者を対象とする事業の一部は、介護保険事業費特別会計にて実施

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
38,917	39,063	39,774	40,556	158,310	

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01			地域包括ケアシステム推進室 (新課名：地域共生社会推進室)		
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	25,555	17,630			1,900	6,025
令和2年度	27,595	9,944			0	17,651
対前年度	△ 2,040	7,686			1,900	△ 11,626
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				17,630
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				1,900

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 21,566 千円

事業名		団体数	予算額 (千円)
地域の縁側事業		36	8,010
基本型	誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	24	
特定型	特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	8	
基幹型	高齢者等の相談支援や多世代交流の促進等を目的とした生活支援コーディネーターが配置されている居場所	4	
地区ボランティアセンター事業		12	11,592
地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点			
安全・安心ステーション事業		7	1,964
地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点			

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 3,989 千円

(1) 地域の縁側ポイント支援金 84 千円  
 地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を支給する。(上限5,000円)

(2) 地域の縁側活動支援事業 3,905 千円  
 地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
25,555	28,682	28,689	28,697	111,623	

事業名	(新) 障がい者相談支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 02			障がい福祉課 (新課名：障がい者支援課)		
指針体系コード	2-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	112,379	45,404	10,859			56,116
令和2年度	0	0	0			0
対前年度	112,379	45,404	10,859			56,116
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				21,718
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				23,686
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				10,859

【施策等を必要とする背景】

本市の障がい者相談支援事業は、これまで、基幹相談支援センターと障がい種別ごとの6カ所の専門相談支援事業所において、全市域を対象に委託事業として実施してきた。

令和3年4月の「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、既存の障がい者相談支援体制を見直し、新たな体制を構築することで、更なる地域住民の福祉と利便性の向上を図る。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年度から藤沢市障がい者総合支援協議会での協議及びアンケート調査、次期「ふじさわ障がい者プラン」策定に向けた障がい当事者等への聞き取り調査や委託相談支援事業所への意見聴取を実施し、相談支援に関する課題整理と今後の事業のあり方について検討を進めてきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】

有

市内の障がい当事者及び家族を対象としたアンケート調査結果の内容に基づき、市民公募委員を含めて構成される藤沢市障がい者総合支援協議会等で協議し、次の市民の意見を反映させた。

- (1) 身近な場所での障がいに関する総合相談窓口の設置が必要。
- (2) 障がい特性に応じた支援やサービスについての情報提供や連絡調整等が必要。
- (3) 障がい当事者への関わり方及び支援についての専門的な助言及び適切な支援が必要。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【ふじさわ障がい者プラン】 相談支援体制の拡充

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- (1) 市民センター等への設置による、相談窓口のワンストップ機能の充実。
- (2) アウトリーチ及び隣接する関係機関との連携強化による制度を超えた支援体制の確立。
- (3) 相談支援ネットワークの構築による課題の把握と解決。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和3年度	112,379千円
令和4年度以降	113,466千円

【事業概要】

市内を人口10万人前後の4つの地域に区分し、身近な場所での総合相談窓口として、市民センター等に「障がい者地域相談支援センター」を設置する。また障がい特性に応じた専門相談支援も継続し、連携を図ることで、多様なニーズに対応する相談支援事業を行う。

- ・障がい者地域相談支援センター 湘南台・善行・Fプレイス・辻堂(仮) 54,464千円
- ・専門相談支援事業所 重症心身障がい・発達障がい・高次脳機能障がい 36,980千円
- ・基幹相談支援センター 20,935千円

(前年度の地域生活支援事業費から分離した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
112,379	113,466	113,466	113,466	452,777	

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	介護保険課・地域包括ケアシステム推進室
						(新課名:介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課)
指針体系コード	2-1-61				まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる
					重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進
	2-2-31				まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる
					重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	30,339,205	6,506,602	4,244,245		12,638,429	6,949,929
令和2年度	29,101,615	6,165,703	4,048,477		12,605,428	6,282,007
対前年度	1,237,590	340,899	195,768		33,001	667,922
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				4,984,062
	(県支出金)	介護給付費負担金				3,961,487
	(その他)	介護給付費交付金				7,431,689
	(その他)	一般会計繰入金				4,825,042

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。さらに、行財政改革2020の取組である窓口業務等協働事業について、実施設計等の準備委託を実施した結果、市民サービスの維持・向上が見込まれるため、認定業務の一部を民間事業者との協働事業（業務委託）として実施するとともに、令和4年度に向けた実施設計等（総務給付・資格保険料業務）の準備業務を委託する。

1. 対象者

(単位：人)

区分	人数	うち要介護者等
第1号被保険者（65歳以上）	109,781	20,118
第2号被保険者（40歳以上65歳未満）	156,912	472
被保険者合計	266,693	20,590

要介護者等は、第1号被保険者のうち介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち特定疾病により、介護や支援が必要な人。

2. 第1号被保険者保険料賦課総額

6,939,675 千円

保険料基準額（年額） 66,000 円（5,500円×12月）

3. 保険給付費の総額（主なサービス費）

27,542,731 千円

(1) 居宅介護サービス給付費	13,253,254 千円
(2) 地域密着型介護サービス給付費	4,341,573 千円
(3) 施設介護サービス給付費	7,487,717 千円
(4) 介護予防サービス給付費	817,301 千円
(5) 地域密着型介護予防サービス給付費	46,737 千円

4. 地域支援事業費の総額

1,976,171 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

152,000 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

384,561 千円

ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

799,632 千円

- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 46,359千円  
 介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 2,999千円  
 福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,499千円  
 高齢者の生きがいづくりや多世代交流等を推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。
- (2) 包括的支援事業（主な事業）
- ア 包括的支援事業費 458,422千円  
 高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,014千円  
 認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 52,029千円  
 ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 11,117千円  
 在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 3,238千円  
 多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。
- (3) 任意事業（主な事業）
- ア 介護給付費等適正化事業費 9,932千円  
 介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護サービス相談員派遣事業費 4,974千円  
 介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,513千円  
 判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 1,749千円  
 高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 519千円  
 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

5. 窓口業務等協働事業業務委託等 139,324千円

- (拡) (1) 認定業務協働事業 89,644千円  
 各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査の実施を行う。
- (新) (2) 総務給付業務及び資格保険料業務実施設計委託 49,680千円  
 外部委託の実施設計（業務フロー及びマニュアルの作成等）、オフィスレイアウト詳細設計、業務従事者の体制整備、研修及びリハーサルの実施等を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
678,820	692,726	713,925		2,085,471	包括的支援事業

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01			健康増進課 (新課名：健康づくり課)		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	74,418	2,271	2,441		1,987	67,719
令和2年度	86,014	6,488	2,441		0	77,085
対前年度	△ 11,596	△ 4,217	0		1,987	△ 9,366
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				24
	(国庫支出金)	地方創生推進交付金				2,247
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441
	(その他)	後期高齢者健康診査補助金				1,987

【事業概要】

健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 891 千円  
健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議

2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 67,037 千円  
身体活動・運動、栄養・食生活、歯・口腔等の健康づくりに関する7分野の普及啓発、人材育成等の各種事業を実施する。  
・健康づくりに関する健康教育や健康相談の実施  
・保健医療センターの専門職による健康増進事業の実施  
・市民活動団体の育成及び健康づくり応援団事業の実施  
・健康づくりに関する普及啓発の実施

3. ふじさわ夢チャレンジ事業～ふじさわ歩くプロジェクト～の実施 4,496 千円  
健康寿命のさらなる延伸に向け、健康増進計画（第2次）の中間評価において課題となった、特に若い世代における身体活動の促進を図るために、家事や仕事、趣味などの日常生活のあらゆる行動も、「運動」につながるという「気づき」を促すとともに、歩くことが楽しくなる環境づくりを推進する。

(新) 4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 1,994 千円  
令和元年5月に改正された「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」に基づき、後期高齢者医療広域連合が実施する高齢者の保健事業について、市が新たに受託し、介護予防と一体的に実施する。



(～ふじさわ歩くプロジェクト～ロゴマーク)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
74,418	74,418	79,413	84,136	312,385	



衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03	健康増進課 (新課名：健康づくり課)				
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	676,155	7,905				668,250
令和2年度	748,042	7,738				740,304
対前年度	△ 71,887	167				△ 72,054
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				7,905

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、クーポン対象者を拡大するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

- |  |            |
|--|------------|
| 1. 胃がん検診（実施期間4月～3月）  | 148,828 千円 |
| ・ 40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。  | 59,020 千円  |
| ・ 50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。   | 89,808 千円  |
| 自己負担額は3,000円（バリウムは70歳以上無料）   |            |
| 2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月）  | 6,970 千円   |
| 40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。<br>自己負担額は1,000円   |            |
| (拡) 3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月）  | 130,320 千円 |
| 20歳以上の該当年齢の女性市民を対象に細胞診検診を行う。<br>自己負担額は2,000円（クーポン対象者及び70歳以上は無料）  |            |
| (拡) 4. 乳がん検診（実施期間4月～3月）  | 97,368 千円  |
| 40歳以上の該当年齢の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。<br>自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（クーポン対象者は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料） |            |
| 5. 肺がん検診（実施期間6月～10月）   | 115,837 千円 |
| 40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。<br>自己負担額は600円（70歳以上は無料）  |            |
| 6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月）  | 48,816 千円  |
| 40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。<br>自己負担額は600円（70歳以上は無料）   |            |
| 7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月）   | 33,006 千円  |
| 50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。<br>自己負担額は1,000円   |            |
| 8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施  | 3,021 千円   |
| 9. がん検診デジタル読影の実施   | 60,841 千円  |
| 胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。  |            |
| 10. その他事務経費  | 31,148 千円  |
| 消耗品費、印刷製本費他  |            |

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
676,155	706,917	713,986	721,126	2,818,184	

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費 <再掲>					
予算科目	款	項	目	細目	説明	介護保険課・地域包括ケアシステム推進室
						(新課名:介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課)
指針体系コード	2-1-61				まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる
					重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進
	2-2-31				まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる
					重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	30,339,205	6,506,602	4,244,245		12,638,429	6,949,929
令和2年度	29,101,615	6,165,703	4,048,477		12,605,428	6,282,007
対前年度	1,237,590	340,899	195,768		33,001	667,922
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				4,984,062
	(県支出金)	介護給付費負担金				3,961,487
	(その他)	介護給付費交付金				7,431,689
	(その他)	一般会計繰入金				4,825,042

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。さらに、行財政改革2020の取組である窓口業務等協働事業について、実施設計等の準備委託を実施した結果、市民サービスの維持・向上が見込まれるため、認定業務の一部を民間事業者との協働事業（業務委託）として実施するとともに、令和4年度に向けた実施設計等（総務給付・資格保険料業務）の準備業務を委託する。

1. 対象者

(単位：人)

区分	人数	うち要介護者等
第1号被保険者（65歳以上）	109,781	20,118
第2号被保険者（40歳以上65歳未満）	156,912	472
被保険者合計	266,693	20,590

要介護者等は、第1号被保険者のうち介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち特定疾病により、介護や支援が必要な人。

2. 第1号被保険者保険料賦課総額

6,939,675 千円

保険料基準額（年額） 66,000 円（5,500円×12月）

3. 保険給付費の総額（主なサービス費）

27,542,731 千円

(1) 居宅介護サービス給付費	13,253,254 千円
(2) 地域密着型介護サービス給付費	4,341,573 千円
(3) 施設介護サービス給付費	7,487,717 千円
(4) 介護予防サービス給付費	817,301 千円
(5) 地域密着型介護予防サービス給付費	46,737 千円

4. 地域支援事業費の総額

1,976,171 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

152,000 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

384,561 千円

ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

799,632 千円

- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 46,359 千円  
 介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 2,999 千円  
 福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,499 千円  
 高齢者の生きがいがづくりや多世代交流等を推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。
- (2) 包括的支援事業（主な事業）
- ア 包括的支援事業費 458,422 千円  
 高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,014 千円  
 認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 52,029 千円  
 ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 11,117 千円  
 在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 3,238 千円  
 多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。
- (3) 任意事業（主な事業）
- ア 介護給付費等適正化事業費 9,932 千円  
 介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護サービス相談員派遣事業費 4,974 千円  
 介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,513 千円  
 判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 1,749 千円  
 高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 519 千円  
 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

5. 窓口業務等協働事業業務委託等 139,324 千円

- (拡) (1) 認定業務協働事業 89,644 千円  
 各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査の実施を行う。
- (新) (2) 総務給付業務及び資格保険料業務実施設計委託 49,680 千円  
 外部委託の実施設計（業務フロー及びマニュアルの作成等）、オフィスレイアウト詳細設計、業務従事者の体制整備、研修及びリハーサルの実施等を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
46,359	46,359	46,359		139,077	一般介護予防事業費

総務費

事業名	ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	8,096					8,096
令和2年度	4,505					4,505
対前年度	3,591					3,591

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その目的に向かって企画提案する市民活動団体に対し、立ち上げ期から発展期に至るまで、段階的に支援するミライカナエル活動サポート事業を行う。

1. 市民活動団体の成長支援及び多様な主体との協働の推進 7,996 千円

市民活動団体の目標や成長度によって、市民活動への「きっかけづくり」から、現在及び将来課題を解決する「NPO等の成長支援」、「多様な主体の協働」まで段階に応じた3つの制度を設けるとともに、事業の提案期から実施期まで活動のサポートを行う。

・交付対象コース

コース名	支援内容	交付上限額 (1団体あたり)	採択数
①スタート支援コース ※ユース優先選考あり	市民活動の立ち上げ	200千円	5 団体
②ステップアップ支援コース	運営基盤強化や事業発展	500千円	3 団体
③協働コース	行政との協働	1,500千円	2 団体
	行政以外との協働	1,000千円	1 団体

※構成員の過半数が若者のユース団体をユース枠予算（200千円）内で優先選考。

・事業実施へのサポート

コース	サポート名	内容
①、②	伴走支援業務	事業の実効性や団体の継続性を高めるため、中期的視点をもって、講座や相談会等を行い、提案事業の実施を伴走する。
③	協働コーディネーター業務	地域で活動する市民活動団体の意向や特性を踏まえ、協働先となる民間法人・行政とのマッチングや事業提案の調整を行う。

・積算内訳

内容	予算額
①スタート支援コース	1,000千円
②ステップアップ支援コース	1,500千円
③協働コース（行政との協働）	3,000千円
③協働コース（行政以外との協働）	1,000千円
①、②伴走支援業務委託	996千円
③協働コーディネーター業務委託	500千円

2. 団体の成長や協働を促進する講座及び講演会の開催 100 千円

事業の更なる発展を望む団体を対象に、協働の実践理解を深める講座やNPO運営相談サポートテラスのネットワークを生かした講演会を開催する。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,096	10,596	11,596	11,596	41,884	

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	2-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,596					1,596
令和2年度	2,003					2,003
対前年度	△ 407					△ 407

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動等による美しいまちづくり事業 278 千円  
 地区内の公園、小・中学校、特別支援学校及びボランティア団体への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」、「あいさつ声掛け運動」を行い、自然とのふれあいや近所とのつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。  
 ・ 幼苗の育成及び花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）
2. 六会人材センター推進事業 1,053 千円  
 地域の人材発掘やボランティア先とのコーディネート事業等を行うとともに、学習支援などを通じて住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。  
 ・ 六会人材センター運営（委託料）
3. 六会まちおこし活動支援事業 262 千円  
 地域の子どもから高齢者、障がい者まで楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い、地域の学校や商店街等とともに、活気あるまちづくりを目指す。  
 ・ 六会日大前駅ロータリーにイルミネーションの設置（光熱水費・手数料）  
 ・ 六会ふるさと音頭の普及活動（使用料）
4. 交通不便地区解消検討事業 3 千円  
 西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るため、会議に参加するとともに、広報による周知を支援する。  
 ・ 広報作成用の用紙（消耗品費）



花の植栽活動等による美しいまちづくり事業



六会まちおこし活動支援事業  
(駅前イルミネーション点灯)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,596	1,597	1,597	1,597	6,387	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	2-3-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	2,132					2,132
令和2年度	1,918					1,918
対前年度	214					214

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円  
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。  
 ・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円  
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。  
 ・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 5 千円  
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。  
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 27 千円  
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。  
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）
5. 江の島道整備事業 242 千円  
 地域に関心を持ちながら散策できるよう、旧江の島道やその周辺に存する史跡や名所を紹介する「まち歩きマップ」を作成する。  
 ・「まち歩きマップ」の作成（印刷製本費）



江の島道整備事業（まち歩きマップ掲載候補地を調査）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,132	1,955	1,955	1,955	7,997	

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	2-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	543					543
令和2年度	908					908
対前年度	△ 365					△ 365

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 歴史・文化継承事業 424 千円  
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。  
 明治地区にある2013年に国登録有形文化財に登録された旧三觜八郎右衛門家住宅が解体予定であることから、現在の姿をVR化して残すことで、次世代への継承を図る。  
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）  
 ・旧三觜八郎右衛門家住宅VR化事業（賃借料）
2. 子育て支援充実事業 106 千円  
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにここに、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。  
 ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
3. 明治地区健康体操推進事業 13 千円  
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。  
 ・チラシ作成（印刷製本費）



歴史・文化継承事業  
(旧三觜八郎右衛門家住宅VR化事業)



子育て支援充実事業  
(明治発！子育て応援メッセ)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
543	543	543	543	2,172	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	2-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	480					480
令和2年度	601					601
対前年度	△ 121					△ 121

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業

480 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートの整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出を目指す。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・散策ルートの整備、地場産食材を使用した「食」の提供促進、地区のマスコットキャラクターを使用したPR活動等（補助金）



花の植栽活動



地場産食材を使用した「食」の提供促進  
(学校給食メニュー化)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
480	480	480	480	1,920	



総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	2-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	985				704	281
令和2年度	1,416				375	1,041
対前年度	△ 431				329	△ 760
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				704

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「“人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業  
 複数の地域団体が個別に行っている高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知する。
2. 自然環境推進事業 139 千円  
 地域と市が一体となり整備して都市公園となった「いけのかしら公園」において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市の開催を支援する。  
 環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあいながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。  
 ・遠藤朝市の実施（補助金）  
 ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
3. 遠藤魅力アップ推進事業 538 千円  
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計12基）を設置する。  
 史跡案内看板の維持補修を行う。  
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）  
 ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
4. 地域活動の広報充実事業 308 千円  
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマとしたポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。  
 地域活動や地域イベント情報を効果的に発信するため、多様な媒体を活用するとともに様々なニーズに対応するため、紙面でのまちづくりニュースを年1回発行する。  
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施に係る物品（報償金・消耗品費）  
 ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）  
 ・まちづくりニュースの発行（印刷製本費）
5. 道路環境整備事業  
 交通安全・防犯の観点から地区内道路等について自治会ごとに点検を行う。結果をとりまとめ、必要に応じて注意喚起・啓発等を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
985	985	985	985	3,940	

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	2-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	933					933
令和2年度	1,758					1,758
対前年度	△ 825					△ 825

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 120 千円  
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。  
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金）
2. 長後すくすく応援事業 108 千円  
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援する。  
 ・子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地域人材発掘・育成事業 22 千円  
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動・ボランティア活動に係る情報発信等を行う。  
 ・チラシの作成等（消耗品費）
4. ちよご見守りネットワーク事業 55 千円  
 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の推進を図る。  
 ・周知チラシ「ちよご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
5. 観光・歴史資源開拓事業 291 千円  
 観光・歴史資源の開拓を目的として、名所・旧跡の解説板の設置等を行う。  
 ・解説板の設置（施設修繕費）
6. 交通手段支援事業 208 千円  
 交通不便地域の解消のため、地域公共交通の導入に向けた取組を行う。  
 ・周知チラシの発行（印刷製本費）
7. 花いっぱい運動推進事業 96 千円  
 花があふれる地域づくりのため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等の活動を支援する。  
 ・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）
8. 地域活動支援事業 33 千円  
 環境美化活動への支援を行う。  
 ・環境美化活動に要する用具等（消耗品費）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
933	1,495	1,495	1,495	5,418	

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 07	辻堂市民センター
指針体系コード	2-3-81		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	970					970
令和2年度	1,293					1,293
対前年度	△ 323					△ 323

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 辻堂交流事業 453 千円  
 地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。  
 ・ 伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）  
 ・ 環境美化活動に関する用具、花苗等（消耗品費）  
 ・ 湘南ニコニコロードギャラリープロジェクト（消耗品費）  
 ・ チラシ作成（消耗品費）

2. 暮らし安心・安全事業 111 千円  
 災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。  
 ・ 防災に関する講演会講師謝礼（報償金）  
 ・ まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）  
 ・ チラシ作成（消耗品費）

- (新) 3. 福祉事業 306 千円  
 健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施する。  
 ・ 認知症に関する講演会講師謝礼（報償金）  
 ・ チラシ作成（消耗品費）

4. 広報・啓発事業 100 千円  
 辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すため、「辻堂プライド」を概念として取組を実施する。  
 ・ 子ども回覧板作成事業（印刷製本費）  
 ・ 湘南工科大学との連携による SNS 配信



辻堂交流事業  
(環境美化活動の実施)



暮らし安心・安全事業  
(防災に関する講演会)



広報・啓発事業  
(SNSの運営)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
970	970	970	970	3,880	

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	2-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,002					1,002
令和2年度	1,156					1,156
対前年度	△ 154					△ 154

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域ネットワーク構築事業 456 千円  
 郷土づくり推進会議の活動を地域住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに、周知・啓発を図る。  
 ・ 地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）  
 ・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 203 千円  
 坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段「のりあい善行」の運営を支援する。  
 ・ 地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）  
 ・ 地域移動支援情報リーフレットの作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 17 千円  
 藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支えあいの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。  
 また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進する。  
 ・ 地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 326 千円  
 善行駅周辺のバリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進するとともに、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。  
 ・ 地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）  
 ・ 地区内の回遊性を高めるための案内地図看板の更新（手数料）  
 ・ 駅前・商店街を中心とした地域活性化事業の実施（補助金）



地域共生社会の構築事業  
(団地の井戸端会議)



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業  
(善行駅前の案内看板)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,002	1,002	1,002	1,002	4,008	

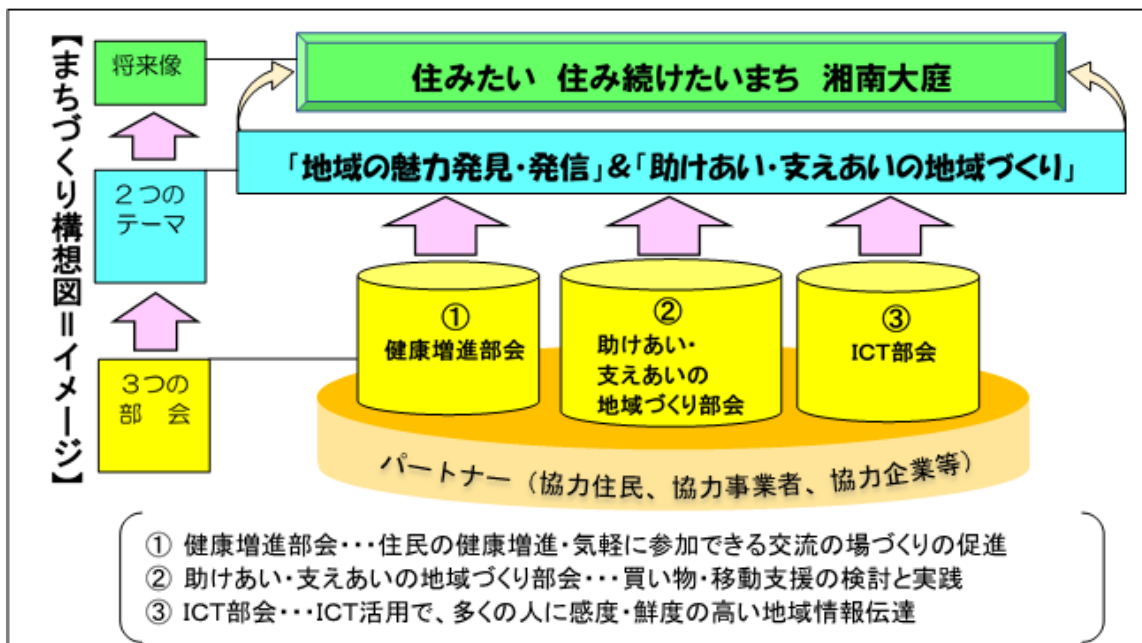
総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	2-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	380					380
令和2年度	453					453
対前年度	△ 73					△ 73

【事業概要】

湘南大庭地区郷土づくり推進会議において検討した地域課題の解決に必要な事業を実施し、地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」を実現する。

1. 健康なんでも相談事業 270 千円  
 地域で進展する高齢化の中で、地域と医療をつなぐための相談会や健康づくりに関する講習会等を実施し、心身の活力や生活機能の維持向上など、健康に対する地域住民の意識を高める。  
 ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）  
 ・健康増進講習会の講師謝礼（報償金）
2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 100 千円  
 地域内の3つの関係団体が連携して実施する地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、環境美化に対する住民意識の向上とともに、多世代の交流とつながりづくりを図る。  
 ・消耗品、事務費等（補助金）
3. 健康体操普及推進事業 10 千円  
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及と気軽に参加できる場づくりを広める。  
 ・消耗品等（消耗品費）



【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
380	380	380	380	1,520	

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	2-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	33,562				10,253	23,309
令和2年度	1,270				1,270	0
対前年度	32,292				8,983	23,309
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				9,185
	(その他)	広告料収入				1,068

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 18 千円  
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 in 湘南台」を開催する。  
 ・ ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 130 千円  
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。  
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）  
 ・ 緑の回遊路案内マップ作成（印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 218 千円  
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。  
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 2 千円  
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「はじめよう！地域ボランティア塾」を開催する。  
 ・ 地域サポーター養成講座開催経費（消耗品費）
5. 文化創造事業 700 千円  
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。  
 ・ 駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）
- (新) 6. 湘南台駅地下アートスクエア整備事業 32,494 千円  
 湘南台駅地下広場を、住民参加型の音楽とアートの文化拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備する。  
 ・ 路面及び柱整備（工事請負費）  
 ・ 壁画設置補助（補助金）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
33,562	2,089	1,057	1,057	37,765	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	2-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,791					1,791
令和2年度	2,133					2,133
対前年度	△ 342					△ 342

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 764 千円  
 地域の子もたちの豊かな人間性を育むため、地域のボランティアスタッフとの様々な学習や体験、運動等を通じて、児童の放課後の居場所づくりを行う。  
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。  
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費  
 （報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料）
- 認知症等啓発事業 195 千円  
 誰もが安心して住み続けることができる地域づくりをめざし、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。  
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品、チラシ作成（報償金・消耗品費・印刷製本費）
- 歴史・文化継承事業 648 千円  
 鶴沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鶴沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。  
 ・鶴沼郷土資料展示室の運営（委託料）  
 ・鶴沼郷土資料展示室の資料整理（報償金・消耗品費）
- 鶴（くぐい）まつり事業 184 千円  
 地域活性化を図るため、八部公園（鶴沼運動公園）芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりの開催を支援する。  
 ・会場運営費（補助金）



鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業  
 （元気塾・元気ひろば：夏のデイトリップ）



歴史・文化継承事業  
 （鶴沼郷土資料展示室：長谷川路可展）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,791	2,067	2,037	2,067	7,962	

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	2-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	2,112					2,112
令和2年度	2,587					2,587
対前年度	△ 475					△ 475

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、藤沢地区郷土づくり推進会議において検討されている地域課題の解決と、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業 2,112 千円

藤沢宿の歴史的資源を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。また、歴史的な街なみを落書き等から守るために実施したトランスボックスラッピングの維持管理や藤沢宿の伝承・継承を目的として、未来を担う子どもたちが藤沢宿に関心を持つような取組を行う。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・地域内トランスボックスの一部ラッピング再掲載（使用料）
- ・子ども向け藤沢宿紹介冊子「藤沢宿通行手形」の改訂と増刷（印刷製本費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,112	2,112	2,112	2,112	8,448	



総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	2-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,373					1,373
令和2年度	2,278					2,278
対前年度	△ 905					△ 905

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 275 千円  
暮らしのマナーやモラル向上を図るため、ごみのポイ捨て、ペットのフンの放置、落書き等の迷惑行為に関するマナーアップ啓発を行うとともに、スタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。  
・スタントマン謝礼（報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 199 千円  
あいさつ運動の充実を図るため、あいさつ運動啓発用横断幕の設置や、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。  
・啓発物品の作製等、コンクール記念品及び審査員謝礼（消耗品費・報償金）
3. 地域防災力強化事業 32 千円  
地域防災力の強化を図るため、防災関連講座を開催する等、防災啓発を行う。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。  
・防災関連講座物品及び電波利用料（消耗品費・負担金）
4. 村岡美化活動事業 126 千円  
美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。  
・講習会指導謝礼、ごみ袋の購入（報償金・消耗品費）
5. 歴史継承事業 29 千円  
地域の歴史的資産を継承していくため、今昔探訪ウォーキング等の事業を実施する。  
・ウォーキング事業用資料印刷（印刷製本費）
6. 地域情報発信事業 516 千円  
地区内の住民等に対し、生活に役立つ地区内情報を提供するため、村岡地区便利帳を配布する。  
・村岡地区便利帳の改訂（印刷製本費）
7. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 196 千円  
まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。  
・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,373	2,250	2,250	2,509	8,382	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課・善行市民センター				
指針体系コード	2-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	568,853			420,700	140,300	7,853
令和2年度	85,266			61,800	23,466	0
対前年度	483,587			358,900	116,834	7,853
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				420,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				140,300

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

令和2年度に竣工した市民センター棟につづき、健康プラザ棟の改築工事（第2期工事）を行う。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. 改築工事<br>健康プラザ棟の建設  | 547,910 千円 |
| 2. 工事監理委託             | 13,090 千円  |
| 3. 事務経費（初度調弁に係る経費を含む） | 7,853 千円   |

<スケジュール概略>

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	改築工事（第1期） 市民センター棟・地域利用倉庫建設、西側駐車場整備、旧施設解体		改築工事（第2期） 健康プラザ棟建設
	市民センター棟供用開始 ★	文化財調査 家屋調査	健康プラザ棟供用開始 ★



現況写真



イメージパース図

（1、2の事業は令和2年度9月補正で債務負担行為を設定）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
568,853	20,500	0	0	589,353	

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01	市民自治推進課・辻堂市民センター				
指針体系コード	2-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,255,614			863,900	307,959	83,755
令和2年度	1,773,479			1,322,500	450,979	0
対前年度	△ 517,865			△ 458,600	△ 143,020	83,755
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				666,900
	(地方債)	消防施設整備事業債				197,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				305,563
	(その他)	森林環境譲与税基金繰入金				2,396

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点から、南消防署辻堂出張所は、より迅速な出動態勢の確立などの観点から、ともに移転し、合築により建て替えを行う。

平成30年度に完了した改築設計に基づき、令和元年度から3カ年度で進める改築工事の3年目として、市民センター・公民館及び消防出張所の建設工事を行う。

1. 事業費

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| (1) 改築工事（令和元年度～令和3年度の継続費）   | 1,123,324 千円 |
| (2) 工事監理委託（令和元年度～令和3年度の継続費） | 19,586 千円    |
| (3) 事務経費（初度調弁に掛る経費を含む）      | 83,755 千円    |
| (4) 辻堂414号線道路改良工事（南側道路舗装工事） | 9,306 千円     |
| (5) 家屋事後調査委託                | 17,369 千円    |
| (6) 現市民センター・公民館アスベスト調査委託    | 2,274 千円     |

2. 施設概要

- |          |  |           |
|----------|--|-----------|
| (1) 構造等  | 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造  | 3階建て      |
| (2) 延床面積 | 市民センター・公民館   | 4,059.74㎡ |
|          | 消防出張所  | 1,091.22㎡ |
| (3) 付帯施設 | テニスコート2面、駐車場（公用車含む21台分）、<br>駐輪場（消防出張所用含む62台分）、バイク・スクーター置場（8台分） |           |

<継続費年割額>

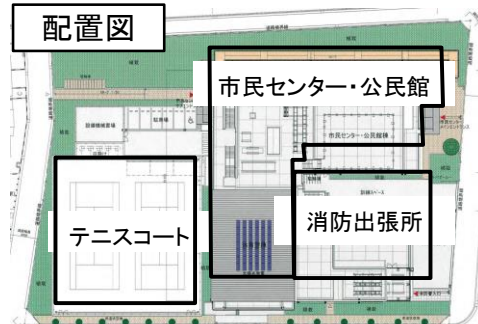
(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
工事請負費	16,714	1,733,272	1,123,324	2,873,310
工事監理委託費	301	30,207	19,586	50,094

<スケジュール概略>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本構想	基本・実施・解体設計			建設工事・テニスコート整備		
		既存建物解体工事				★ 供用開始

配置図



施設イメージ(北東側)



(1. (3) の事業の一部及び (4) の事業は令和2年度12月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,255,614				1,255,614	

教育費

事業名	村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 03 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	2-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	39,084			22,400	16,428	256
令和2年度	2,141			0	0	2,141
対前年度	36,943			22,400	16,428	△ 1,885
特定財源の内訳	(地方債)	社会教育施設等整備事業債				22,400
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				16,428

【事業概要】

老朽化とバリアフリー環境の改善を図るため、藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき複合施設として移転し、再整備を行う。

令和3年度は、浸水対策及び配置・平面計画等、基本設計の内容を精査した後、実施設計業務に着手する。

1. 事業費

- (1) 基本・実施設計委託（令和2年度から令和4年度の継続費） 38,828 千円
- (2) その他事務経費 256 千円

〈継続費年割額〉

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
基本・実施設計委託費	19,472	38,828	58,300	116,600

(この事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
39,084	891,000	512,000	2,060,000	3,502,084	

教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04			教育総務課		
指針体系コード	3-1-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	460,373					460,373
令和2年度	404,733					404,733
対前年度	55,640					55,640

【事業概要】

GIGAスクール構想等により導入された1人1台端末の活用を推進するとともに、ICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境整備を実施する。

- (括) 1. 学校におけるICT環境整備事業 400,525 千円  
 学習で使用するためのICT機器環境等の整備を行う。  
 ・ネットワーク管理費 13,551 千円  
 ・デジタル教科書使用料 8,800 千円  
 ・オンライン学習ドリル利用料 11,706 千円  
 ・授業目的公衆送信補償金 4,746 千円  
 ・学習用ICT機器等整備費 361,722 千円
- (括) 2. ICT機器活用サポート業務委託 55,367 千円  
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員の派遣や、さまざまな契約により導入された機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務を行う。
3. ICT周辺機器等整備事業 4,481 千円  
 普通教室用マグネットスクリーン等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



児童・生徒1人1台端末

1人1台端末を活用した授業

(この事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
460,373	558,632	557,216	566,556	2,142,777	

教育費

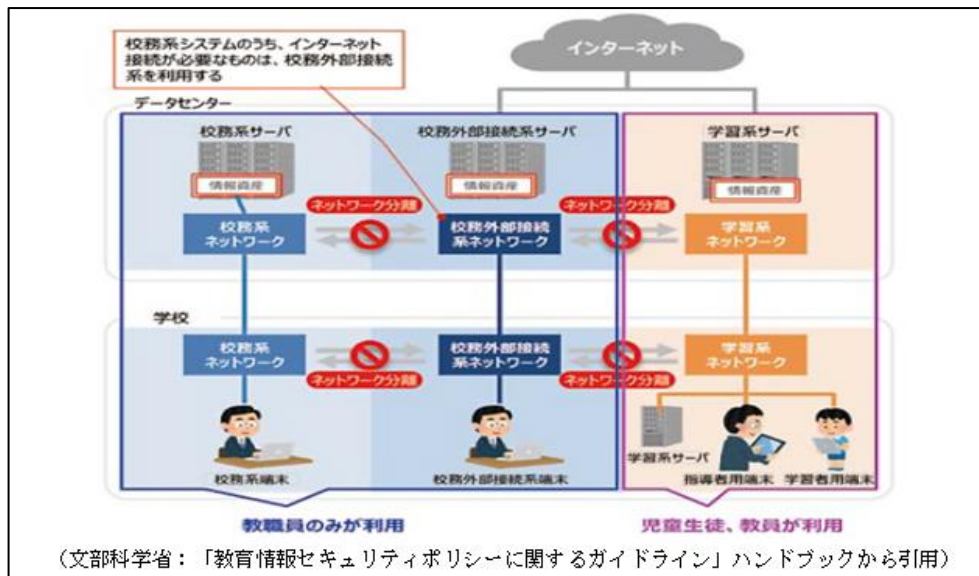
事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10	教育総務課				
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	118,640					118,640
令和2年度	107,277					107,277
対前年度	11,363					11,363

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるようなICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアを使い、校内外の連絡を円滑にすることで、教職員の働き方改革を推進する。

1. 学校ICT基盤の運用 86,125 千円
- (括) 2. 学校回線使用料 14,652 千円  
GIGAスクール構想等により導入された1人1台端末等で利用する回線の使用料
3. セキュリティ対策ソフトの運用 5,280 千円
4. 学校グループウェアの運用 7,315 千円  
学校グループウェアを活用し、学校内、学校間、学校と教育委員会の情報連携を円滑にして校務の効率化を推進する。
5. 学校ホームページの運用 5,254 千円  
保護者や地域住民等へ学校の活動状況を報告するとともに、緊急時の連絡ツールとして活用する。
6. 先進ICT整備研究旅費 14 千円



ネットワーク分離イメージ図

(この事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
118,640	134,757	134,757	134,757	522,911	

事業名	(新) 学校運営協議会推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	150					150
令和2年度	0					0
対前年度	150					150

**【施策等を必要とする背景】**

学校運営協議会については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成29年に改正され、設置が努力義務となり、国の第3期教育振興基本計画においても、全ての公立学校に学校運営協議会制度を導入することをめざす、とされている。このことを踏まえ、本市においても学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを推進していく必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 令和2年 3月 本市の教育振興基本計画（第3期）に、学校運営協議会制度の導入について記載。
- 令和2年 5月 「学校運営協議会検討会議」を設置し、導入に向けた検討を開始。
- 令和2年 7月 小学校長会及び中学校長会において、制度導入について説明及び意見聴取。
- 令和2年 9月 市民センター長・公民館長会議において、説明及び意見聴取。
- 令和2年 11月 学校・家庭・地域連携推進会議会長会において、説明及び意見聴取。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

**【藤沢市教育振興基本計画（第3期）】**

藤沢市教育振興基本計画（第3期）における「学校・家庭・地域連携協力体制推進事業」の方向性の中に、学校運営協議会制度の導入に向けた体制づくり等について記載している。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

(1) 組織的・継続的な体制の構築

学校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって学校と地域との組織的な連携・協働体制が継続できる「持続可能な仕組」ができる。

(2) 学校と地域の目標・ビジョンの共有

学校運営協議会における熟議の場を通して、学校と地域が子どもたちを取り巻く課題を認識しながら、子どもたちをどう育て、何を実現していくのかといった目標・ビジョンを共有できる。

2. 将来にわたる費用

学校運営協議会委員報酬 日額1千円

- ・学校運営協議会制度を小・中・特別支援学校へ導入した場合の年額

日額1千円×協議会開催数（5回）×委員数（10人）×小・中・特別支援学校数（55校）  
=2,750千円

※協議会開催数及び委員数については、目安

**【事業概要】**

学校運営協議会を小・中・特別支援学校に設置し、保護者及び地域住民等が協議会委員として学校運営に参画できる場を設けることで、学校と地域の信頼関係を深め、学校と地域が一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことができる体制を構築する。

- 1. 学校運営協議会委員報酬

150千円

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
150	2,750	2,750	2,750	8,400	

教育費

事業名	特別支援教育整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04			教育指導課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	4,837					4,837
令和2年度	7,565					7,565
対前年度	△ 2,728					△ 2,728

【事業概要】

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

- (拡) 1. 大清水小学校特別支援学級開設の準備 3,987 千円  
 令和4年4月より大清水小学校に特別支援学級を開級するため、教室等の整備を行う。
2. 既存特別支援教室の整備 850 千円  
 特別支援教室の適切な教育環境維持のため、既存教室等の整備・修繕を行う。
- ・特別支援教室設置数（令和3年度学級開設予定を含む。）
  - 小学校 20校
  - 中学校 14校

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
4,837	11,650	11,650	11,650	39,787	



教育費

事業名	諸整備事業費（特別支援学校）					
予算科目	款 1 1 項 4 目 2 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	13,129			7,000		6,129
令和2年度	2,600			0		2,600
対前年度	10,529			7,000		3,529
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				7,000

【事業概要】

白浜養護学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 1. 空調設備更新等工事設計委託         | 9,393 千円 |
| 2. 施設修繕費                 | 1,300 千円 |
| 3. 児童生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 | 2,436 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
13,129	249,865	542,316	30,529	835,839	特別支援学校

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課・教育指導課		
指針体系コード	3-1-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,280,735	95,515	9,852	856,200	313,594	5,574
令和2年度	22,880	0	0	0	22,880	0
対前年度	1,257,855	95,515	9,852	856,200	290,714	5,574
特定財源の内訳	(国庫支出金)	公立学校施設整備費負担金				31,910
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				19,705
	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				43,900
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				9,852
	(地方債)	公立保育園整備事業債				454,700
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				26,200
	(地方債)	大規模改造事業債				375,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				313,594

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。また、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブについても、施設の老朽化や津波避難対策に課題があるため、複合化により一体整備し、あわせて近隣住民を含めた津波避難対策の強化を図る。

- 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理等委託【継続費】 24,718 千円
- 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費】 1,250,443 千円
- 屋内運動場改築に伴う初度調弁 5,574 千円
  - ・消耗品 4,284 千円
  - ・備品 1,290 千円
- 仮設校舎賃借料【債務負担行為の設定】 ( 401,720 千円)

<継続費年割額>

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理等委託	10,239	24,718	353	35,310
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）	525,955	1,250,443	23,202	1,799,600

<スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R3	鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費：2年目】 【屋内運動場棟・保育園棟建設】											
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"></div> <div style="width: 35%;"> <p>屋内運動場棟使用開始</p> <p>保育園棟使用開始</p> <p>【旧屋内運動場等解体】</p> </div> </div>											
	仮設校舎建設工事											
R4	鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費：3年目】 【旧屋内運動場等解体】											
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"></div> <div style="width: 60%;"> <p>仮設校舎賃借開始</p> </div> </div>											

(この事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,280,735	316,376	2,195,265	1,134,786	4,927,162	

民生費

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 07			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	147,754	92,945	0			54,809
令和2年度	288,402	177,860	16,596			93,946
対前年度	△ 140,648	△ 84,915	△ 16,596			△ 39,137
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育所等整備交付金				92,945

【事業概要】

既存保育施設における保育環境の向上及び保育需要への対応として、法人立認可保育所の整備にかかる経費を助成する。

1. 既存認可保育所の再整備 147,564 千円  
 昭和43年に建築した遠藤保育園園舎について、保育環境の維持・向上を図るため、建て替えを行う。
  - ・設置運営法人 社会福祉法人 六会・遠藤福祉会
  - ・所在地 遠藤2469
  - ・定員 114人（建て替え後、120人に増員予定）
  - ・整備期間 令和2年4月～令和3年12月（予定）
  
2. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 190 千円  
 公募の審査選定を行う保育所等設置運営者選考委員会の専門委員に対する報酬

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
147,754	0	0	0	147,754	

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課		
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	2,587,681	214,503	241,883		90,480	2,040,815
令和2年度	2,338,992	168,470	135,442		90,480	1,944,600
対前年度	248,689	46,033	106,441		0	96,215
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				78,383
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				134,531
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				1,589
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金				12,871
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				78,383
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				122,259
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				19,229
	(県支出金)	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				6,591
	(県支出金)	短時間保育士雇上事業費補助金				2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				90,284
(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196	

＜拡充事業＞ 保育士人材確保策の強化（保育士就労奨励助成金の新設、保育士奨学金返済補助金の対象拡大、及び子育て支援員研修事業の実施）

【施策等を必要とする背景】

現在、本市では待機児童の解消に向けて、藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）に基づき保育の受け皿確保を図るとともに、保育の担い手の確保に向けた保育士確保策を進めている。

保育士確保策については、これまでも様々な取組を行ってきたが、依然として保育士不足が生じていることから、既存事業の拡充とともに、よりインパクトのある方策が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 潜在保育士の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業の実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数及び保育士等確保事業補助金の補助上限額を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布
- 令和 2年 4月 保育士就職支援補助金を新設、保育士奨学金返済補助金及び保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の対象要件等を拡大

保育士確保策として上記取組を行ってきたが、現状では依然として保育士不足が生じている。令和3年度に向けては、市内認可保育施設で働く保育士へのアンケート調査の結果及び関係団体からの要望を踏まえ、新たな人材確保策や既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）＜令和2年度～令和6年度＞

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
 

保育士が安定的に確保されることにより、待機児童の解消が図られるとともに、保育の質の確保とその向上につながる。
2. 将来にわたる費用
 

事業の拡充に係る費用は、保育士不足が一定程度解消されるまで継続的な支出が必要となる。

**【事業概要】**

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育環境の充実を図るため、市内の法人立認可保育所の設置運営法人に対して、人件費・施設管理費などの運営費を助成するとともに、保育士の確保に向けた各種支援事業等を実施する。

- |     |  |              |
|-----|--|--------------|
| 1.  | 法人立保育所等の運営に係る業務委託<br>市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等  | 1,964,503 千円 |
| 2.  | 保育士確保に向けた事業  | 120,767 千円   |
|     | ＜保育士への支援事業＞  |              |
| (新) | ・保育士就労奨励助成金<br>保育所等へ就労していない保育士資格を有する人を対象に、市内の法人立認可保育施設への1年以上の就労を条件に助成金を支給する。<br>(助成額) 常勤職員 7万円<br>非常勤職員(1日6時間以上、且つ月20日以上勤務) 5万円<br>非常勤職員(1日6時間未満、又は月20日未満勤務) 3万円 | 12,930 千円    |
| (拡) | ・保育士奨学金返済補助金<br>奨学金の返済に要した費用の1/2(上限20万円)を補助する。令和3年度から補助対象期間を3年間から5年間に拡大する。   | 1,575 千円     |
|     | ・潜在保育士保育体験費用補助金  | 50 千円        |
|     | ・保育士就職支援補助金  | 1,350 千円     |
|     | ＜保育所等への支援事業＞   |              |
|     | ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金  | 77,490 千円    |
|     | ・保育士等確保事業補助金   | 23,802 千円    |
|     | ＜その他の事業＞   |              |
|     | ・保育士募集案内用リーフレット等の作成  | 391 千円       |
| (新) | ・子育て支援員研修事業<br>保育人材を確保し、保育士の負担軽減を図るため、保育士資格を有しない人を対象に、保育の担い手となる「子育て支援員」を養成する研修事業を委託により実施する。  | 3,179 千円     |
| 3.  | 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金<br>感染症拡大防止に係る必要備品の購入等の経費を補助する。  | 43,700 千円    |
| 4.  | 法人立保育所特別経常費補助金<br>施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、その経費の一部を補助する。  | 56,874 千円    |
| 5.  | 法人立認可保育所の設置運営に係る経費の補助<br>土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。   | 274,559 千円   |
|     | ・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金  | 19,661 千円    |
|     | ・分園設置運営補助金   | 5,000 千円     |
|     | ・保育所建物設置賃借料補助金   | 249,898 千円   |
| 6.  | 認可保育所事務負担軽減補助金   | 18,028 千円    |
| 7.  | 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料   | 96,973 千円    |
| 8.  | 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費  | 8,912 千円     |
| 9.  | その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費   | 3,365 千円     |

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,953	10,953	10,953	10,953	43,812	病児保育

民生費

事業名	市立保育所運営費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 01			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	614,253	7,682	2,150		343,404	261,017
令和2年度	365,202	0	0		348,958	16,244
対前年度	249,051	7,682	2,150		△ 5,554	244,773
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,150
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				5,532
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,150
	(その他)	公立保育所使用料				218,981
	(その他)	特別延長保育使用料				12,116
	(その他)	一時預かり使用料				20,525
	(その他)	病児保育使用料				200
	(その他)	他市児童保育受託料				9,308
	(その他)	光熱水費実費収入				353
	(その他)	保育士給食費実費収入				32,837
(その他)	公立保育所給食食材料費				49,084	

<拡充事業> 公立保育園（藤が岡保育園）における病児保育事業の実施

**【施策等を必要とする背景】**

本市では、これまで病気の回復期の児童を対象とした病後児保育事業を実施しているが、病気の回復期に至っていない児童を対象とした病児保育事業の実施を求める声が寄せられるなど、一定のニーズがある。

**【提案に至るまでの経緯】**

平成29年8月に採択された藤が岡二丁目地区再整備事業の提案に基づき、東南地区に位置する再整備後の藤が岡保育園において、併設される小児科クリニックに健康管理業務の一部を委託することにより、病児保育事業を実施することとし、事業開始に向けて調整を進めてきた。

なお、北部地区に位置する小児科クリニックからの提案を受けて、令和2年10月から医療機関を運営主体とした病児保育事業を開始した。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

病児保育事業を実施することで、これまで病気の回復期に至っていない児童を預けられなかった保護者に対して、保育サービスを提供することができ、保育の供給体制の充実につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込み額は次のとおり

令和4年度以降 病児保育事業に係る健康管理業務委託料（年間） 5,400千円

**【事業概要】**

市立保育所14園において、運営に必要な物品等の購入や施設の修繕等の維持管理を行うことで良好な保育環境を提供する。

1. 市立保育所14園の運営

609,753 千円

・嘱託医報酬	10,959 千円
・研修会講師謝礼	130 千円
・消耗品等の購入及び物品・施設の修繕	40,166 千円
・光熱水費	65,565 千円
・給食賄材料の購入	134,865 千円
・電話料、保険料、各種手数料	12,860 千円
・機械警備、保守点検、清掃等の業務委託	7,242 千円
・その他業務委託	92,072 千円
・土地建物、通信機器等の賃貸借及び使用料	105,095 千円
・補修用木材等原材料の購入	1,286 千円
・備品の購入	2,511 千円
・公有財産の購入	136,173 千円
・負担金	815 千円
・公課費	14 千円

(新) 2. 病児保育事業の実施

4,500 千円

再整備後の藤が岡保育園において、令和3年6月から、併設される小児科クリニックに健康管理業務の一部を委託し、病児保育事業を実施する。

(前年度の市立保育所関係費を統合した事業)

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
4,500	5,400	5,400	5,400	20,700	病児保育

事業名	(新) 妊娠・出産包括支援事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 05			子ども健康課 (新課名：健康づくり課)		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	261,275	13,960				247,315
令和2年度	0	0				0
対前年度	261,275	13,960				247,315
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子保健衛生費補助金				13,960

**【施策等を必要とする背景】**

核家族化や出産年齢の高齢化、支援者家族の高齢化等により、出産・育児の負担が増加する中、子育てにおける母親の心身の負担の軽減と休息の機会を確保するため、医療・保健・教育・福祉が連携し、社会全体で切れ目なく支える環境整備が求められており、国においては、第4次少子化対策大綱により、産後ケア事業については、令和6年度末までの全国展開を目指しているものである。

**【提案に至るまでの経緯】**

令和元年12月6日に母子保健法の一部が改正され「産後ケア」が法制化された。心身のケアや育児のサポート等について、各市町村で実施することが努力義務として規定されたことにより、本市の助産院・出産取扱医療機関の実態を考慮し、サービスの調整を図りながら段階的に実施を検討・計画するに至った。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

子ども子育て支援事業計画に位置づけられる母子保健計画で、親子の健康の確保及び増進を目標に、妊産婦・乳幼児期への切れ目ない保健対策の推進の一環として、安全な妊娠・出産・育児期をとおして、母子の包括的な支援へ取り組むための事業として位置付けている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が可能となる。  
また、施設での個別ケアやコミュニティでの交流が可能となることにより、母親の心身の安定から子育てにも前向きになれるなど、子育てしやすいまちづくりに寄与することができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和3年度 261,275千円  
令和4年度以降 307,282千円



**【事業概要】**

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行い、安全・安心で健やかな妊娠・出産、産後をサポートするため、妊産婦の健康診査の費用助成及び産後ケア事業を実施する。

1. 妊産婦健康診査 258,045 千円  
積極的な妊産婦健康診査の受診を促し、妊産婦の健康確保を図るため、16回の公費負担を実施する。また、里帰り出産等について、安心して妊産婦健康診査が受診できるよう、償還払いにより公費負担を実施する。

2. 産後ケア事業の実施 1,670 千円  
おおむね産後4カ月までを中心に、産後1年までで必要とされる母親を対象に、産後ケア事業として、デイサービスを提供する。  
日中の育児相談や乳房管理等、日々の不安の解消を目的に、安心できる場所における産後ケアの提供を行う。

	補助額	自己負担額	人数	回数	総回数	予算額
一般	3,500円	1,500円	150人	3回	450回	1,575千円
うち多胎	一児毎加算分500円補助	—	—	—	10回	5千円
市民税非課税世帯等	4,500円	500円	—	—	20回	90千円

3. その他事務経費 1,560 千円

(前年度の乳幼児健診等事業費の一部を統合した事業)

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
261,275	307,282	307,282	307,282	1,183,121	

民生費

事業名	少年の森整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 03 説明 02			青少年課		
指針体系コード	3-2-51		まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		
			重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	6,920					6,920
令和2年度	3,864					3,864
対前年度	3,056					3,056
<p>&lt;拡充事業&gt; 北部地域の活性化に向けた少年の森再整備</p> <p><b>【施策等を必要とする背景】</b>            少年の森は青少年の健全育成のための野外活動施設として昭和55年に開園した施設で開園以降大規模な施設修繕や施設改修等を実施せず、今日に至っている。            健康と文化の森地区のまちづくりやいずみの線延伸に向けた取組のほか、綾瀬市における綾瀬スマートインターチェンジの整備等、市北部地域活性化に資する動きがある中で、少年の森を中心とした御所見・遠藤地区の地域資源を観光資源として転換し、交流人口の増加と関係人口の創出を目的とした施設の再整備について検討を行う。</p> <p><b>【提案に至るまでの経緯】</b>            平成28年3月 御所見地区郷土づくり推進会議から「御所見まると田園パーク構想の実現に向けた要望書」提出            令和2年9月 市議会定例会にて「北部地域の活性化について」一般質問            令和2年10月 子ども青少年部若手職員によるワーキンググループを発足</p> <p><b>【市の策定する計画や条例との整合性】</b>            少年の森条例            少年の森条例施行規則</p> <p><b>【将来にわたる効果及び費用】</b>            1. 将来にわたる効果            市北部の観光資源として活用することにより、北部地域の活性化に資することが見込める。            2. 将来にわたる費用            民間活力を導入して再整備を図ることにより、運営に必要な費用の縮減を図る。</p> <p><b>【事業概要】</b>            青少年の健全育成のための野外活動施設である少年の森の施設環境の整備を進め、施設利用者の安全性の確保及び快適性の向上を図るとともに、本施設の再整備のため、先進事例の調査を実施する。</p> <p>1. 施設修繕 <span style="float: right;">3,746 千円</span>            (1) 多目的広場脇水路土留め修繕            (2) みどりの泉修繕            (3) 駐車場フェンス設置修繕</p> <p>(拡) 2. 先進事例等調査費 <span style="float: right;">3,174 千円</span>            (1) 先進事例等調査業務委託            (2) 先進事例視察等にかかる費用</p> <p><b>【事業費（事務事業中の重点事業分）】</b></p>						
令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考	
6,920	6,920	6,920	6,920	27,680		

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	9,682	2,265	1,691	1,800	476	3,450
令和2年度	8,618	2,266	2,266	0	0	4,086
対前年度	1,064	△ 1	△ 575	1,800	476	△ 636
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				1,500
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				765
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				1,500
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				191
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				1,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				476

【事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、放課後児童クラブの整備等を行う。

- 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 59 千円  
令和4年4月の新林小学校区放課後児童クラブ開所に向け、放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者等に対し選考委員会委員報酬を支払う。
- 石川小学校区放課後児童クラブ整備費用 3,232 千円  
環境事業センターの改築工事に伴い、複合化する石川小学校区放課後児童クラブの整備に係る費用負担
- (公財)藤沢市みらい創造財団が実施する整備に係る負担金 6,381 千円

小学校区	整備内容	予算額
鵜南	新設する2つ目の放課後児童クラブの開所に係る準備経費	1,981千円
	よつば児童クラブの移転に要する経費等	2,100千円
大道	チンチロ児童クラブの移転に伴う旧施設の原状回復に要する経費	2,300千円
- 鵜南小学校内の放課後児童クラブに設置する消火器の購入費 10 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
9,682	73,885	89	89	83,745	

民生費

事業名	放課後児童健全育成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-2-71	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	851,578	191,151	191,151			469,276
令和2年度	815,933	190,270	190,270			435,393
対前年度	35,645	881	881			33,883
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				191,151
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				191,151

<拡充事業> 長期休暇対策事業の実施

【施策等を必要とする背景】

令和2年4月の放課後児童クラブの入所児童数は、3,758人で「第1期藤沢市放課後児童クラブ整備計画」を定めた平成27年と比較すると981人増加している。令和元年に実施した「藤沢市放課後児童クラブに関する利用希望把握調査」では、放課後児童クラブの利用ニーズは、小学校4年生までの保護者の過半数、小学校5年生以上の保護者では約3割と非常に高い状況が続いている。

子ども・子育て支援法の施行により利用対象児童を小学校全学年へ拡大したこと、共働き世帯の増加などから需要が増加しているが、児童クラブとして適した物件の不足、人材確保の困難等により第1期整備計画で目標としていたクラブ数の整備に至らず、入所を待機となっている児童が発生している。

このようなことから放課後児童クラブ整備と並行して児童クラブ以外の子どもの居場所を拡充し、多様な機会の提供により、待機児童解消を図るもの。

【提案に至るまでの経緯】

本市の放課後児童健全育成事業については、令和2年4月1日時点で、46人の児童が入所できず待機児童となった。整備計画に基づき児童クラブの整備を進め、入所定員数を増加させているが、一方で8月以降に退所する児童が多い状況であり、4年生以上の学年については夏期休暇期間中の子どもの居場所に対するニーズが高いことが判明した。このことから夏期休暇期間中の子どもの居場所を確保し、放課後児童クラブ以外の選択肢を増やすことにより放課後児童クラブのニーズの分散を図るため、サマースクール事業を実施する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市子どもの居場所づくり推進計画

【将来にわたる効果及び費用】

夏期休暇期間中の子どもの居場所確保

放課後児童クラブへのニーズが分散することにより、新規整備を抑制し、整備負担、運営費負担の圧縮が図られる。

	R4年度	R5年度	R6年度
実施数	2カ所	3カ所	4カ所
予算額	10,000千円	15,000千円	20,000千円

**【事業概要】**

保護者が就労等により放課後不在となる家庭等の児童の健全育成と、保護者の就労と子育てを支援するため、児童に居場所や生活の場を提供する放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を行う。

また、児童クラブの安定的な運営とより質の高い人材確保等に向けて、児童クラブ指導員の処遇改善事業を実施する。

1. 放課後児童健全育成事業運営費負担金 845,889 千円  
 ・ 法人が運営する71クラブの運営費の負担金 777,597千円  
 ・ 放課後児童支援員等処遇改善事業負担金 68,292千円

2. その他経費 689 千円  
 ・ 除草作業

(拡) 3. 長期休暇対策事業の実施 5,000 千円

小学校の夏期休暇期間中に子どもの居場所確保策としてサマースクール事業を実施する。

- ・ 実施予定 小学校夏期休暇期間（日曜日・祝日は閉所）
- ・ 対象者 市内在住の小学校4・5・6年生

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
851,578	856,578	861,578	866,578	3,436,312	

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	29,777		1,044			28,733
令和2年度	29,006		0			29,006
対前年度	771		1,044			△ 273
特定財源の内訳	(県支出金)	地域就職氷河期世代支援加速化交付金				1,044

【事業概要】

就労支援事業として、働くことに不安や困難を抱える若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と、求職者や勤労者を対象とした就労支援及び資格取得講座を実施する。  
また、地域の雇用状況の改善を図るため、合同企業説明会及び広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,411 千円  
 自立や就労に困難を有する若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加・就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象にセミナーや相談会を実施する。
  - (1) 対象者  
市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から44歳の若者とその家族
  - (2) 支援内容
    - ①個別相談
    - ②就労準備応援
      - ・サークル活動プログラム
      - ・社会参加プログラム
      - ・就労準備セミナー
      - ・職業訓練プログラム
    - ③就労応援
      - ・就労支援プログラム
      - ・社会体験（ボランティア体験）プログラム
      - ・就労体験
    - ④就労後応援・家族応援
      - ・自立や就労後の定着支援・フォローアップ
      - ・家族交流会や保護者セミナーの実施
2. 就労支援・資格取得講座 11,305 千円  
 就職氷河期世代、女性、障がい者などを対象とした就労支援セミナー及び資格取得講座、キャリアカウンセリングなど就労支援事業を実施する。
3. 湘南合同就職面接会 291 千円  
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。
4. 合同企業説明会 770 千円  
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による厳しい雇用情勢の中、合同企業説明会を継続して開催することにより、求職者に対して、再就職、就職につながる機会を提供する。

(この事業は令和2年度12月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
29,777	29,007	29,007	29,007	116,798	

衛生費

事業名	環境事業センター整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 07			環境事業センター		
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	373,724			196,800	65,742	111,182
令和2年度	28,301			20,900	7,061	340
対前年度	345,423			175,900	58,681	110,842
特定財源の内訳	(地方債)	環境事業センター整備事業債				196,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				65,742

【事業概要】

昭和55年竣工の施設で老朽化が著しく、早期の改築が必要となっていることに加え、2拠点体制で行う必要が薄れたごみ収集体制を見直し、より効率的な収集を行うため、南北収集事務所を統合した収集事務所として改築を行うとともに、待機児童が見込まれる石川小学校区に新たな放課後児童クラブを設置する必要があることから、複合化により一体整備を行う。

令和3年度から2カ年継続で建設工事を行うとともに、工事監理委託を行い、工事期間中の業務については仮設事務所で行う。

1. 事業費	373,724 千円
(1) 建設工事(令和3年度～令和4年度の継続費)	259,664 千円
(2) 工事監理委託(令和3年度～令和4年度の継続費)	2,878 千円
(3) 仮設事務所賃貸借(令和5年度までの債務負担行為を設定)	99,000 千円
(4) その他経費	12,182 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階建て
- (2) 延床面積 2,629.61㎡(複合施設を含む)
- (3) 複合施設 石川小学校区新設放課後児童クラブ

<継続費年割額>

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	合計
工事請負費	259,664	1,660,939	1,920,603
工事監理委託費	2,878	19,089	21,967

<スケジュール概略>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
仮設事務所建設			[建設工事]	[仮設事務所での業務]	[解体・復旧工事]
新事務所建設		[基本・実施設計]	[建設工事]		[供用開始]

(1 (3) の事業は令和2年度6月補正で債務負担行為を設定)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
373,724	2,032,061	28,194	0	2,433,979	

衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	6,318,637	2,118,082		3,549,900	650,025	630
令和2年度	819,525	160,065		499,100	159,660	700
対前年度	5,499,112	1,958,017		3,050,800	490,365	△ 70
特定財源の内訳	(国庫支出金)	廃棄物処理施設整備交付金				2,118,082
	(地方債)	焼却施設整備事業債				3,549,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				650,025

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。

また、同計画に基づき、石名坂環境事業所の新1号炉について、令和9年度の稼働を目標とした大規模整備を行うために、石名坂環境事業所整備基本構想の策定を行う。

1. 工事請負費 6,210,000 千円
  - ・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事
  - 期間 平成30年度から令和4年度
  - 総額 11,383,578千円（契約金額）
  - 敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日
  - 令和3年度は、引き続き建設工事を進める。
2. 委託料 108,007 千円
  - ・藤沢市北部環境事業所新2号炉施工監理等委託 44,820 千円
  - 期間 平成30年度から令和4年度
  - 総額 180,360千円（契約金額）
  - 設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等
  - ・石名坂環境事業所整備基本構想策定委託 63,187 千円
  - 施設規模の設定及びごみ処理計画の見直し、耐震劣化診断調査、施設整備概算事業費の算出、施設整備方法の選定、施設整備スケジュール等
3. 役務費 189 千円
  - ・クローズドコンテナ装置点検手数料
4. 一般廃棄物中間処理施設整備事業事務経費 441 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	～	R24年度
建設工事		H30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■■■■							
建設工事	新2号炉建設				■■■■■■■■■■					
試運転	プラント単体 総合試運転						■■■■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■■■■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■■■■■■■■■■		
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	H30年3月 契約	■■■■							

(2の事業の一部は令和2年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
6,318,637	3,359,610			9,678,247	



土木費

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01			都市整備課		
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,063	0				1,063
令和2年度	139,922	4,500				135,422
対前年度	△ 138,859	△ 4,500				△ 134,359

【事業概要】

村岡・深沢地区全体整備構想（案）の実現に向け、神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら、まちづくりの具体化等の調整を行う。

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1. 負担金                    | 140 千円 |
| ・湘南地区整備連絡協議会負担金<br>会運営費   | 100 千円 |
| ・村岡新駅（仮称）設置協議会負担金<br>会運営費 | 40 千円  |
| 2. 村岡地区都市拠点総合整備事業事務経費     | 923 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,063	4,547,100	1,129,600	1,275,810	6,953,573	

土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	27,785	2,180		16,100		9,505
令和2年度	20,099	500		12,700		6,899
対前年度	7,686	1,680		3,400		2,606
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,180
	(地方債)	道路整備事業債				16,100

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関との協議・調整及び事業化に向けた検討を進める。また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向け、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地取得等を行う。

1. 長後725号線歩道整備事業 27,621 千円
  - ・施設修繕費（事業用地修繕） 1,488 千円
  - ・役務費（不動産鑑定・分筆登記） 1,191 千円
  - ・委託料（用地測量） 4,609 千円
  - ・公有財産購入費（用地） 14,133 千円
  - ・補償補填及び賠償金（移転補償） 6,200 千円
  
2. 長後地区整備事業事務経費（旅費・消耗品・印刷製本費） 164 千円



事業位置図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
27,785	56,000	357,000	308,000	748,785	

土木費

事業名	公園改修費 <<再掲>>					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
	4-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	148,637			112,600		36,037
令和2年度	224,958			149,100		75,858
対前年度	△ 76,321			△ 36,500		△ 39,821
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				112,600

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、土砂災害警戒区域内に指定された公園等の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策工事を行う。

また、鶴沼海浜公園の改修に向けて、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用するにあたり、藤沢市都市公園公募対象公園施設設置等予定者選定委員会において、事業者（＝設置等予定者）の選定を行う。

1. 公園施設の老朽化対策等 35,826 千円
  - (1) 委託料 3,077千円
    - ・都市公園遊具点検業務委託（271公園）  
遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
  - (2) 施設修繕費 21,672千円  
劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
  - (3) 役務費 11,077千円  
公園の適正な維持管理を行うために、老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花であるフジについて、剪定等の管理を実施し、保護及び育成を図る。
2. 法面对策工事（御所ヶ谷緑地第1期工区） 112,684 千円  
土砂災害警戒区域内の法面について、対策工事を行う。
3. 藤沢市都市公園公募対象公園施設設置等予定者選定委員会の開催 127 千円  
前年度に引き続き、選定委員会を開催し、事業者（＝設置等予定者）の選定を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
127	150,000	0	0	150,127	鶴沼海浜公園

土木費

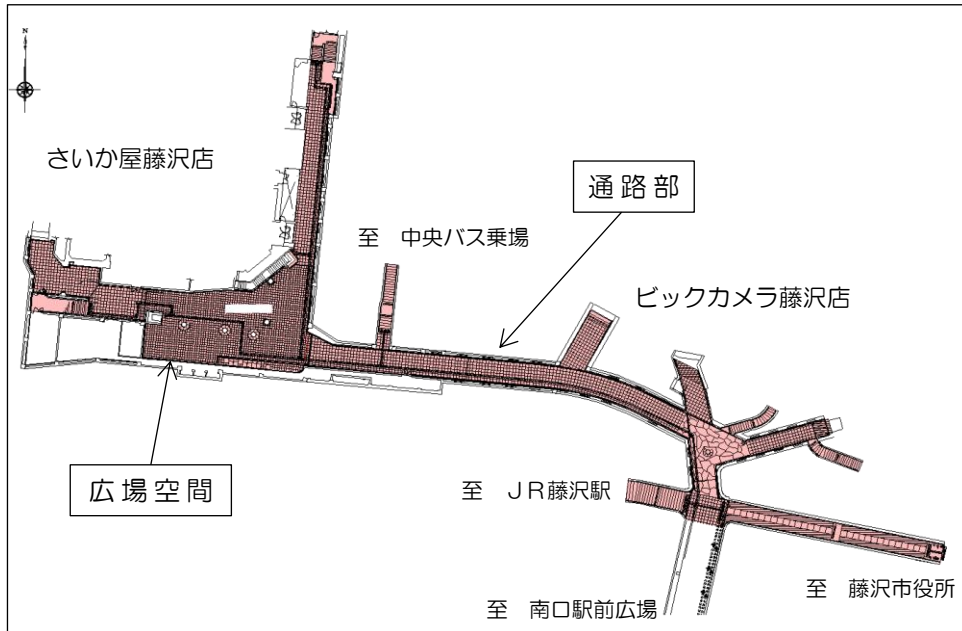
事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	673,978	0	12,903	538,200	20,000	102,875
令和2年度	1,017,487	156,040	2,010	410,900	16,780	431,757
対前年度	△ 343,509	△ 156,040	10,893	127,300	3,220	△ 328,882
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				12,903
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				538,200
	(その他)	藤沢駅東西地下通路再整備工事負担金				20,000

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備について、現在実施中の藤沢駅東西地下通路再整備工事の完成を目指すとともに、藤沢駅南北自由通路の拡幅に向け、令和2年度に小田急電鉄・JR東日本が実施した基本設計について、妥当性を確認するための設計検証業務を行う。また、令和3年度からの藤沢市藤沢駅前広場条例の施行に伴い、藤沢駅前広場の指定管理料等を計上するとともに、各プロジェクトの推進を図る。

- 1. 委託料 63,680 千円
  - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備に関する設計検証業務委託
  - ・ 藤沢駅前広場指定管理料 等
- 2. 工事請負費 607,090 千円
  - ・ 藤沢駅東西地下通路再整備工事【継続費】
- 3. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費等 3,208 千円  
 <継続費年割額> (単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	合計
藤沢駅東西地下通路再整備工事	471,020	607,090	1,078,110



藤沢駅東西地下通路再整備工事平面図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
673,978	613,946	965,254	3,406,500	5,659,678	

土木費

事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	4-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	83,301	6,900				76,401
令和2年度	121,156	0				121,156
対前年度	△ 37,855	6,900				△ 44,755
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				6,900

【事業概要】

本市の都市拠点の一つに位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、昨年9月に設立された地権者組織である「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会」などの関係者とともに、土地区画整理事業の実施に向けた取組を進めている。引き続き、本市の新たな活力創造の場を創出する都市拠点としてふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

- |  |                  |
|--|------------------|
| <p>1. 健康と文化の森地区まちづくり<br/>・健康と文化の森地区まちづくり事業推進委託</p> | <p>80,751 千円</p> |
| <p>2. 健康と文化の森地区浸水対策<br/>・仮設調整池維持管理費</p>            | <p>2,550 千円</p>  |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
83,301	118,986	429,154	402,600	1,034,041	

土木費

事業名	市道新設改良費 <<再掲>>					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	134,345	17,410	0	82,400		34,535
令和2年度	435,687	61,154	5,900	220,000		148,633
対前年度	△ 301,342	△ 43,744	△ 5,900	△ 137,600		△ 114,098
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				17,410
	(地方債)	道路整備事業債				82,400

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、自転車走行空間の整備を行う。

- 1. 道路の新設改良事業 83,472 千円
  - ・ 六会554号線（工事、補償）
  - ・ 辻堂429号線〔羽鳥立体〕（工事）
  - ・ 湘南台308号線（工事）
- 2. 自転車走行空間整備事業 33,200 千円
  - ・ 鵜沼奥田線（工事）
  - ・ 藤沢村岡線（工事）
  - ・ 藤沢駅周辺（工事）
- 3. 市道新設改良事務経費 17,673 千円
  - ・ 旅費、需用費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金

<継続費>

(1) 六会554号線道路改良工事 (単位：千円)

年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	28,670	28,673	57,343

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	184,000	71,500	419,000	674,500	藤沢652号線

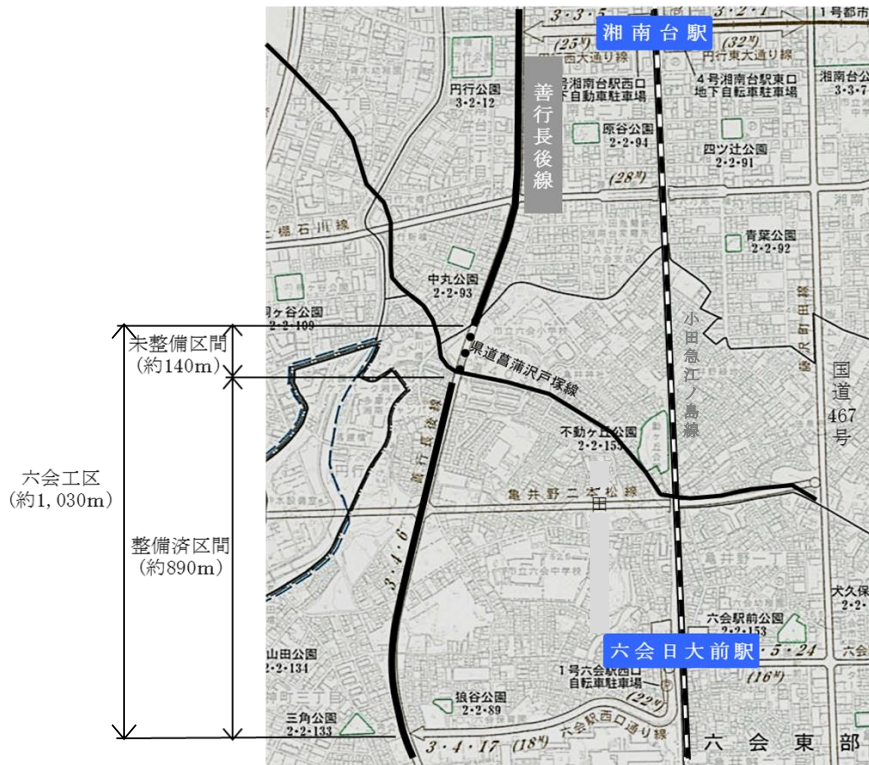
土木費

事業名	善行長後線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 03			道路整備課		
指針体系コード	4-1-101	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	93,690	1,000		80,900		11,790
令和2年度	0	0		0		0
対前年度	93,690	1,000		80,900		11,790
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,000
	(地方債)	都市計画街路事業債				80,900

【事業概要】

都市計画道路善行長後線六会工区の未整備区間（約140m）について、街路築造に必要な路床改良の検討及び事業用地の取得を行う。

- 1. 委託料 5,500 千円
  - ・路床改良検討委託
- 2. 公有財産購入費 80,550 千円
  - ・事業用地取得
- 3. 善行長後線街路新設事務経費 7,640 千円
  - ・役務費、補償補填及び賠償金



【位置図】

(この事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
93,690	156,600	71,000	64,100	385,390	

土木費

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 02			住宅政策課		
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	2,967	450				2,517
令和2年度	3,388	450				2,938
対前年度	△ 421	0				△ 421
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				450

【事業概要】

藤沢市空家等対策計画に基づき、空家の発生抑制の啓発、空家の適正管理の促進、特定空家の認定と措置及び空家の利活用の推進などの空家対策を行う。

1. 空家の発生抑制・適正管理の促進 86 千円  
 広報やホームページ等を活用し、空家の発生抑制及び適正管理に関する意識啓発を行う。  
 また、空家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行う。
  - ・ 訪問等調査に係る旅費 41 千円
  - ・ 空家対策に関する研修会参加負担金 45 千円
  
2. 特定空家の認定及び特定空き家審査会の開催 285 千円  
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空家等を特定空家として認定し、所有者等に対し法に基づく助言・指導等を行い是正を促す。
  - ・ 特定空き家審査会委員報酬
  
3. 空家の利活用の促進 1,347 千円  
 藤沢市空き家利活用マッチング制度、藤沢市空き家利活用事業補助金制度の実施により、空家の利活用の推進を図る。
  - ・ 空き家利活用事業審査会委員報酬 127 千円
  - ・ 空家移動相談会広告料 220 千円
  - ・ 空き家利活用事業補助金 1件 1,000 千円
  
4. 藤沢市空家等対策協議会の開催 727 千円  
 藤沢市空家等対策計画に基づき、これまでの施策の見直しや新たな施策の検討を行う。
  - ・ 空家等対策協議会委員報酬 711 千円
  - ・ 空家等対策協議会委員旅費 16 千円
  
5. 空家対策関係事務経費 522 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,967	6,498	6,498	6,498	22,461	



土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	1,185	131				1,054
令和2年度	484	130				354
対前年度	701	1				700
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				131

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進捗管理 92 千円  
 藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り事業の進捗管理を行う。また、藤沢市居住支援協議会の運営及び団地再生に向けた地域と連携した取組を実施する。  
 ・旅費、消耗品等

重点施策-1	居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援
重点施策-2	空き家の適正管理の促進と利活用の推進
重点施策-3	市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
重点施策-4	団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 393 千円  
 本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。  
 ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 293 千円  
 ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円
3. 藤沢市居住支援協議会の開催・運営 60 千円  
 居住支援協議会の会員及び不動産オーナー向けにセミナーを開催し、住宅確保要配慮者に対する理解の促進、支援体制の構築を図る。  
 ・セミナー講師謝礼
4. 湘南大庭の未来を考える会議の開催 640 千円  
 団地再生の取組として、湘南ライフタウンをモデル地区に、行政、地域住民、事業者等による協議体を設置し、地域の将来、再活性化について議論・検討し、多世代居住の観点も含めた大規模住宅団地の再生、持続可能なまちづくりの実現を図る。  
 ・湘南大庭の未来を考える会議委員報酬 376 千円  
 ・湘南大庭の未来を考える会議技術指導謝礼 150 千円  
 ・セミナー講師謝礼 60 千円  
 ・湘南大庭の未来を考える会議委員旅費 54 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,185	6,510	7,494	2,245	17,434	

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01	都市計画課				
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	37,958	4,900				33,058
令和2年度	23,666	3,200				20,466
対前年度	14,292	1,700				12,592
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				4,900

<拡充事業> 長後地区における地域公共交通導入に向けた検討の実施

【施策等を必要とする背景】

長後地区は、駅周辺の道路が狭いことから、路線バスは、主に幹線道路での運行となり、地域住民の日常生活における公共交通の利用がしにくい状況である。

また、幹線道路から離れた地域に交通不便（空白）地区が多く存在することから、駅までの日常生活を支える交通手段の確保が求められている。

このようなことから、住民組織による地域公共交通の検討を進めるため、乗合タクシーの実証運行等を実施するものである。

【提案に至るまでの経緯】

- ・平成29年度 郷土づくり推進会議に交通手段支援部会を設置し、具体的な検討を開始。
- ・平成29年10月 第1回アンケート実施  
(長後地区10,388世帯の移動実態や公共交通網の満足度を把握)
- ・平成30年10月 第2回アンケート実施  
(第1回調査で不便と回答の5,685世帯の移動実態や需要を把握)
- ・令和元年8月 長後地区郷土づくり推進会議から提言書が提出される。
- ・令和2年度 交通手段支援部会（全7回実施）で運行計画（素案）を検討。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

月に1回程度、定期的に交通手段支援部会を開催し、藤沢市は地域組織を運営主体とする地域公共交通の実現に向け、アドバイザーの立場で参加している。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・「藤沢市交通マスタープラン」において、展開する交通施策として位置づけ
- ・「藤沢市交通アクションプラン」において、地域公共交通（乗合タクシー等）の導入として位置づけ

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、持続可能な地域公共交通の導入が実現すれば、将来増加する高齢者の移動負担の軽減が図られるとともに、外出機会の増加により、地域活性化にもつながる。

2. 将来にわたる費用

将来の財政負担額については、実証運行の結果を踏まえ、利用者の推移、採算性等を総合的に検討していく。

**【事業概要】**

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

1. 委託料	32,110 千円
・公共交通利用転換事業に関する二酸化炭素削減効果測定業務委託	6,853千円
・藤沢市将来交通需要推計等業務委託	21,286千円
(拡)  ・長後地区地域公共交通実証運行に関する業務委託	3,654千円
(拡)  ・長後地区における地域公共交通のリーフレット他作成業務委託	317千円
2. 負担金補助及び交付金	3,241 千円
・神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費	180千円
・地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区）	3,049千円
・総合都市交通計画研修負担金	12千円
3. 総合交通体系推進業務事務経費	2,607 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
37,958	106,766	131,380	75,380	351,484	

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課 (新課名：観光課)		
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	31,548		5,315		16,660	9,573
令和2年度	68,379		4,773		22,625	40,981
対前年度	△ 36,831		542		△ 5,965	△ 31,408
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				5,315
	(その他)	江の島岩屋使用料				10,631
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				6,029

【事業概要】

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じ、観光客にとって安心・安全な観光地として観光客の誘客を図るため、観光ホームページによる情報発信やメディアを活用した観光情報の提供、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、誘客宣伝事業を行う。  
また、より一層効果的な誘客宣伝を図るため、観光客の動態調査を実施する。

1. 観光宣伝事業委託	26,171 千円
・メディアによる観光宣伝事業	759 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	2,400 千円
・松本市交流事業	220 千円
・北部観光振興事業	200 千円
・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	5,797 千円
・江の島イラストマップの作成	872 千円
・外国人観光客誘致対策事業	4,704 千円
・宝探し事業（エノシマトレジャー）	9,517 千円
・観光客実態調査事業	1,101 千円
・観光親善大使関連事業	601 千円
2. 海と山との市民交歓会開催委託 姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	1,091 千円
(新) 3. 観光客動態調査使用料 auスマートフォン使用者のGPS情報による動態分析	2,640 千円
4. 地域観光振興事業補助金 8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	500 千円
5. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金 1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	530 千円
6. 全日本ライフセービング選手権大会補助金 10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	300 千円
7. 誘客宣伝事業事務経費 特別旅費、撮影手数料	316 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
31,548	31,348	31,348	31,348	125,592	

商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02	観光シティプロモーション課 (新課名：観光課)				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	86,420		0	66,500	12,800	7,120
令和2年度	28,743		7,297	15,900	5,546	0
対前年度	57,677		△ 7,297	50,600	7,254	7,120
特定財源の内訳	(地方債)	観光施設整備債				66,500
	(その他)	江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業寄付金				12,800

【施策等を必要とする背景】

本市の観光の核となっている江の島サムエル・コッキング苑については、平成15年江の島頂上再整備に伴うリニューアル以降、入苑者数は増加傾向にあるが、認知度の高いイベントである「湘南キャンドル」や「湘南の宝石」が行われる秋・冬の夜間には来場者が多い一方、それ以外の時期や昼間の来場者が少ないのが課題となっている。

将来に渡り選ばれ続ける観光地として、昼間の誘客を促進する施設整備などにより、当該施設をリニューアル整備することにより、観光客の分散化や消費型観光を促す。

【提案に至るまでの経緯】

当該施設の指定管理者である江ノ島電鉄（株）と昼間の誘客をはじめとした課題について協議を重ねた結果、施設のリニューアル整備を実施し誘客を図るとともに、「ウィズコロナ」「ポストコロナ」を見据え、安心して来苑してもらうための対策が必要と見解が一致した。

これに伴い、同社はリニューアル整備に必要な投資を行う準備が整ったことから、整備を進めるもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市観光振興計画】	【基本方針】 藤沢の観光魅力づくり	【戦略プロジェクト】 観光施設の魅力向上	【事業期間】 令和3～4年度
【戦略プログラム】 観光客が快適に過ごせるハード・ソフト両面での環境整備			
【藤沢市観光振興計画における内容】 藤沢市観光振興計画における戦略プログラムにおいて、観光客が快適に過ごせるハード・ソフト両面での環境整備による観光施設の魅力向上に取り組むことを位置付け			

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業において、ファミリー層への魅力発信となる施設整備を実施することにより、課題となっている昼間の観光誘客が図られ、観光客の分散化や消費型観光が促進されることが期待できる。

2. 将来にわたる費用

リニューアル整備は、認知度の高い「湘南の宝石」などの観光イベントの実施に影響しないよう、2工区に分けて実施するため、第2期工事となる令和4年度においても、応分の費用負担が必要となる。

江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業負担金見込額

令和3年度 84,500千円

令和4年度 117,500千円

**【事業概要】**

将来に渡り魅力ある観光地とするため、本市の観光施設の核となっている江の島サムエル・コッキング苑のリニューアル整備を行う。事業実施にあたっては、コスト縮減及び工期短縮の観点から、同施設の指定管理者である江ノ島電鉄（株）と協定を締結し、同社が一体的な工事を行い、市が応分の費用を負担する。

(新) 1. 江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業（第一工区）

86,420 千円

来場者の少ない昼間にも楽しめるコンテンツを提供し、観光客の分散化及び消費型観光としての観光施設を目指しリニューアル整備を行う。

第一工区として、温室遺構エリアに新たな観光資源となる建物を建設する部分について、費用を負担するもの。

なお、事業実施にあたっては、クラウドファンディングを活用し、財源の一部に充てる。

設計・整備予定期間 令和3年5月～令和3年11月（第一工区）  
令和4年4月～令和4年11月（第二工区）



整備イメージ

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
86,420	119,150	0	0	205,570	

環境保全費

事業名	環境基本計画関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 02 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	23,143				21,340	1,803
令和2年度	987				0	987
対前年度	22,156				21,340	816
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				21,340

<拡充事業> 藤沢市環境基本計画等の改定

【施策等を必要とする背景】

現在の「藤沢市環境基本計画」は、2017年度（平成29年度）から2022年度（令和4年度）までを計画期間としているが、SDGsの目指す持続可能な社会や脱炭素社会の実現など、社会情勢や環境意識の変化に対応した内容へ、早期に改定する必要がある。そのため、計画期間の満了より1年間前倒しし、2022年度（令和4年度）から2030年度（令和12年度）の9年間を期間とした計画に改定するもの。

また、「藤沢市地球温暖化対策実行計画」、「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」、「藤沢市環境保全職員率先実行計画」についても、併せて改定するもの。

【提案に至るまでの経緯】

「藤沢市環境基本計画」は、1998年度（平成10年度）に「豊かな自然と都市機能が調和した安心して暮らせるまち」の実現を目指し、環境の保全、再生、創出に取り組んでいく上での指針として策定され、計画期間満了に伴い、2010年度（平成22年度）から3年ごとに改定を行った。

- 1998年度 計画策定 (計画期間1998年度から2010年度)
- 2005年度 計画改定 (計画期間2006年度から2010年度)
- 2010年度 計画改定 (計画期間2011年度から2022年度)
- 2013年度 計画改定 (計画期間2014年度から2022年度)
- 2016年度 計画改定 (計画期間2017年度から2022年度)

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「藤沢市環境基本計画」改定素案について、パブリックコメントを実施し、市民から幅広く意見を募り、市民、事業者、学識経験者等で構成される藤沢市環境審議会の答申を経て計画改定を実施する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市環境基本条例】

藤沢市環境基本計画は、藤沢市環境基本条例に掲げる、環境の保全、再生、創出に関する総合的、長期的な目標、施策の推進を図るため策定されたもので、近年の環境行政や社会情勢の変化に対応するため、2022年4月1日施行を目指し計画改定するもの。また、藤沢市環境基本計画の改定に伴い、関連する諸計画（藤沢市地球温暖化対策実行計画、藤沢市エネルギーの地産地消推進計画、藤沢市環境保全職員率先実行計画）についても改定するもの。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果  
近年の環境を取り巻く社会情勢の変化に対応した内容に改定が図られる。
2. 将来にわたる費用  
令和3年度 21,340千円

**【事業概要】**

多様化する環境問題や今後の新たな課題に対し、良好な環境を次世代へ継承していくことを目的として市民、事業者、行政が一体となって各種施策を推進する。

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 藤沢市環境審議会の運営                             | 1,291 千円 |
| 藤沢市環境基本計画改定の答申及びふじさわ環境白書（藤沢市環境基本計画年次報告）の発行 |          |
| ・審議委員謝礼    6回開催                            | 1,251 千円 |
| ・審議委員交通費                                   | 40 千円    |

- |  |           |
|--|-----------|
| (拡) 2. 藤沢市環境基本計画等の改定   | 21,340 千円 |
| 藤沢市環境基本計画、藤沢市地球温暖化対策実行計画、藤沢市エネルギーの地産地消推進計画、藤沢市環境保全職員率先実行計画を改定する。 |           |
| ・計画改定業務委託料   |           |

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 3. 環境基本計画関係費事務経費 | 512 千円 |
| 消耗品、旅費ほか         |        |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
23,143	987	987	23,143	48,260	



環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	35,673				34,150	1,523
令和2年度	33,052				31,450	1,602
対前年度	2,621				2,700	△ 79
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				34,150

<拡充事業> (仮称) 企業と藤沢市が連携した地球温暖化対策研究会の新設ほか

【施策等を必要とする背景】

1. (仮称) 企業と藤沢市が連携した地球温暖化対策研究会の新設  
藤沢市域の温室効果ガス排出量の約8割は製造業、オフィスビル、商業施設、運輸業などが占めていることから、企業と藤沢市が温暖化対策について、協働して調査・研究することを目的に新設するもの。
2. 電気自動車導入補助金インセンティブの新設  
国は脱炭素社会の実現に向けて、2030年代半ばを目途にガソリン車の新車販売を取りやめ、電気自動車などの電動車を主力とすることを目指している。  
このような国の動向を踏まえ、本市で実施している地球温暖化対策設備補助事業の一つである電気自動車導入補助額の10万円について、太陽光発電システムを設置している個人及び事業者を対象に、さらに10万円の補助額を上乗せするインセンティブを新設し、電気自動車の導入促進を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

1. 藤沢商工会議所を通じて製造業等、業種ごとに分かれている各部会の企業と協働し調査・研究した内容について、市民、事業者、学識経験者で構成する藤沢市環境審議会において精査する。
2. 市民及び事業者が補助対象

【将来にわたる効果及び費用】

1. 企業の社会的立場からできる手法を検討・研究することで、温室効果ガス排出量削減の推進が図られる。  
令和3年度以降 63千円
2. これまで実施している補助事業に新たなインセンティブを設けることにより、電気自動車導入の促進が図られる。  
令和3年度以降 500千円

**【事業概要】**

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化に対応するため、住宅用太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

(括) 1. (仮称) 企業と藤沢市が連携した地球温暖化対策研究会の運営 63 千円  
 自然環境や都市環境に応じた地球温暖化における諸課題について企業、学識経験者、行政が協働して調査・研究を行う。  
 ・ 研究員謝礼（学識経験者分） 3 回開催

(括) 2. 地球温暖化対策設備に関する補助事業 34,150 千円  
 地球温暖化対策を目的として、市民及び事業者を対象に、さまざまな設備の導入に対し補助金を交付するもの。

	対象	金額	予定件数 (令和3年度)	予算額 (令和3年度)
1	住宅用太陽光発電システム	個人住宅1kWあたり 15,000円 (上限50,000円)	150件	13,500千円
		家庭用燃料電池システムと同時 50,000円の増額	内70件	内6,000千円
		家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電池と同時 100,000円の増額	内50件	内5,000千円
2	家庭用燃料電池システム (エネファーム)	1件 50,000円	200件	10,000千円
3	定置用リチウムイオン蓄電池	1件 50,000円	100件	5,000千円
4	雨水貯留槽	本件購入金額の1/2 (上限 15,000円)	30件	450千円
5	電気自動車(EV)	1台 100,000円	40件	4,500千円
		(括) 自宅、自社に太陽光発電システムを設置している 又は、同時に新設する場合 100,000円の増額	内5件	内500千円
6	燃料電池自動車(FCV)	1台 350,000円	2件	700千円

3. 地球温暖化対策関係団体等との連携 33 千円  
 地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。

4. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進  
 茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

5. 地球温暖化対策関係事務経費 1,427 千円  
 委員謝礼、消耗品費、旅費ほか

(2の事業は令和2年度6月補正で増額した事業)

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
35,673	35,673	35,673	35,673	142,692	

環境保全費

事業名	環境啓発推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 02	環境総務課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	10,645	5,000			900	4,745
令和2年度	8,925	5,000			1,160	2,765
対前年度	1,720	0			△ 260	1,980
特定財源の内訳	(国庫支出金)	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金				5,000
	(その他)	環境制度推進事業協力金				900

<拡充事業> 「ゼロカーボン推進週間」の制定

【施策等を必要とする背景】

「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と国が表明し、本市もその主旨に賛同し、環境省が「地球温暖化対策強化月間」として位置付けている12月に、地球温暖化対策の一つとして、ゼロカーボンに特化した推進週間を新たに制定し、さまざまな啓発施策を実施することにより、更なる市民意識の向上を図るもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「ゼロカーボン推進週間」に市民を対象として、講演会、街頭啓発キャンペーン、パネル展示、大学生との意見交換会などを実施するもの。

【将来にわたる効果及び費用】

- 将来にわたる効果  
地球温暖化対策に対する市民、事業者の意識の向上が図られる。
- 将来にわたる費用  
講師謝礼、啓発物品購入費（消耗品）など今後も継続した財政支援が必要となる。  
「ゼロカーボン推進週間」啓発施策実施見込額  
令和3年度 545千円  
令和4年度 545千円  
令和5年度以降 185千円

**【事業概要】**

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化防止のため、環境フェアの開催、「ゼロカーボン推進週間」環境施策の実施、エコライフアドバイザー派遣事業など啓発施策を実施する。

1. 環境実践活動啓発関係 3,994 千円  
 啓発イベントとして、市民・環境団体・NPO法人・大学・環境関連企業等が連携し、環境活動の展示や発表を行う環境フェアを開催する。  
 また、本市が取り組んでいるさまざまな環境施策を発信することを目的にウェブサイト「ふじさわエコ日和」を運営する。  
 ・環境フェア開催関係費 1,309 千円  
 ・ふじさわエコ日和運営委託費 2,685 千円

2. エコライフアドバイザー派遣事業の実施  
 日常生活の中でできる省エネの取組等の講座を市内各地で開催する。  
 ・エコライフアドバイザー派遣事業費

3. CO2排出削減促進事業の実施 5,145 千円  
 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」（賢い選択）と連携し、環境イベント等を通じて、CO2排出削減に向けた普及啓発を推進する。  
 ・CO2排出削減促進事業関係費

- (括) 4. 「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施 545 千円  
 ゼロカーボン推進に特化したさまざまな施策を実施し、市民、事業者の意識向上を図る。  
 ・講演会事業費 135 千円  
 ・街頭啓発キャンペーン物品購入費 90 千円  
 ・パネル展示  
 ・大学生との意見交換会  
 ・公用車での啓発消耗品費 320 千円  
 ・「COOL CHOICE」動画作成（費用は上記3に含む）  
 ・リサイクルプラザの体験講座（費用はリサイクルプラザ環境啓発事業費に含む）

5. 環境啓発推進事務経費 961 千円  
 環境教育教材等消耗品費ほか



環境フェアの様子



環境パネル展の様子

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,645	4,064	3,953	3,704	22,366	

環境保全費

事業名	海岸美化関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 02 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	58,597		22,785			35,812
令和2年度	54,706		22,575			32,131
対前年度	3,891		210			3,681
特定財源の内訳	(県支出金)	神奈川県海岸漂着物等対策事業費補助金				22,785

【事業概要】

近年、海洋プラスチックごみや微細なプラスチック類であるマイクロプラスチックが、生態系に与える影響等について国際的に関心が高まり、プラスチックごみ削減及び海洋プラスチックごみ対策は世界全体で取り組むべき課題となっている。

また、東京2020オリンピック競技大会の開催地に選ばれたことから、海岸美化の重要性が高まっており、市区域内海岸の自然環境の保全を図るとともに、利用者にとって快適な環境と安全性を確保するため、(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金の拠出、江の島島内及び海岸追加清掃、ゴミゼロクリーンキャンペーン等を行う。

1. (公財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金の拠出 34,159 千円  
海岸清掃を一元化するために、県・関係市町・企業等により設立された(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金。(公財)かながわ海岸美化財団が海岸清掃を行う。
2. 江の島島内及び海岸追加清掃の実施 24,209 千円  
・江の島島内清掃、弁天橋喫煙所灰皿清掃、江の島岩礁部緊急清掃  
・夏期(7～8月)の海岸屑籠清掃、片瀬東浜・西浜追加清掃
3. ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施 229 千円  
海岸をきれいにするとともに、海岸美化への意識啓発を目的として、毎年5月30日(ゴミゼロ)直近の日曜日に、藤沢市域海岸一帯のボランティア清掃として、ゴミゼロクリーンキャンペーンを開催する。

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
58,597	58,597	58,597	58,597	234,388	

衛生費

事業名	ごみ減量推進事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課・環境事業センター				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	263,874				256,626	7,248
令和2年度	259,595				249,938	9,657
対前年度	4,279				6,688	△ 2,409
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				248,485
	(その他)	生ごみ処理容器売払収入				456
	(その他)	環境基金繰入金				6,695
	(その他)	広告料収入				990

【事業概要】

ごみの排出抑制や減量、再使用及び再生利用の促進を図るため、ごみ処理有料化制度の継続や生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成、ごみの減量・資源化の啓発を行う。食品ロスの削減に向けた取組の推進及びプラスチックごみ削減に関する啓発等を実施する。

- |  |            |
|--|------------|
| 1. 指定収集袋の流通システムの運営                       | 250,255 千円 |
| 家庭及び小規模事業所から排出する際に用いる指定収集袋の流通システムの運営を行う。 |            |
| ・ 指定収集袋製造・保管及び配送業務委託料                    | 167,116 千円 |
| ・ 指定収集袋流通管理等業務委託料                        | 15,544 千円  |
| ・ 指定収集袋取扱手数料                             | 65,825 千円  |
| ・ 免除対象者用引換券関係経費                          | 1,770 千円   |
| 2. 生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成             | 6,023 千円   |
| ・ 生ごみ処理器購入費助成                            | 2,478 千円   |
| ・ 家庭用電動生ごみ処理機購入費補助金                      | 3,425 千円   |
| ・ 生ごみ処理器等申し込み用リーフレット                     | 120 千円     |
| 3. ごみ減量・資源化啓発事業の実施                       | 344 千円     |
| ・ 市内小学4年生及び保育園児・幼稚園児を対象としたごみ体験学習会の実施     |            |
| ・ ごみ減量推進店の認定                             | 344 千円     |
| 4. ごみNEWSの作成及び回覧                         | 449 千円     |
| ごみNEWS（年1回）を作成し、各世帯に回覧                   |            |
| 5. ごみ検索システム・ごみ分別アプリの運営・管理                | 792 千円     |
| 6. 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の運営                     | 855 千円     |
| 7. プラスチック製容器包装再商品化経費                     | 3,906 千円   |
| 8. ごみ減量推進事業事務経費                          | 1,250 千円   |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
7,327	10,770	10,770	10,770	39,637	プラスチックごみ削減等

環境保全費

事業名	緑地保全事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 01	みどり保全課				
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	160,878		304		52,212	108,362
令和2年度	149,496		302		36,912	112,282
対前年度	11,382		2		15,300	△ 3,920
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				94
	(県支出金)	森林病虫害等防除事業補助金				110
	(県支出金)	自然環境事務委託金				100
	(その他)	みどり基金繰入金				15,822
	(その他)	森林環境譲与税基金繰入金				36,288
	(その他)	(公財)かながわトラスのみどり財団樹木保全事業助成費				100
	(その他)	その他証明閲覧手数料				2

【事業概要】

市有山林・憩いの森など樹林地の維持管理及び有効利用を図るとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民等が所有する樹林・樹木・生垣の保存指定を行う。

また、緑地の保全活動を市民と協働で行い、市民ボランティアの育成を図り、活動に携わった市民の郷土愛や地域コミュニティの醸成、豊かな自然環境の復元及び防犯性の向上を目的に事業を実施する。

1. 市有山林、緑地等の維持管理 117,562 千円
  - ・緑地等修繕費等 21,490 千円
  - ・緑地下草刈り等関係委託 56,545 千円
  - ・緑地境界測量業務委託 913 千円
  - ・緑地パトロール業務委託 1,167 千円
  - ・樹林地復元業務委託 36,288 千円
  - ・憩いの森、自然環境保全地賃借料 1,159 千円
2. 藤沢市みどり保全審議会の開催 567 千円  
 緑の保全及び緑化の推進について必要な事項を調査審議するため、審議会を開催する。  
 (開催予定数 4回)
3. 保存樹木等関係費 36,000 千円  
 保存樹林・保存樹木・保存生垣の所有者に対し、奨励金を交付する。
4. 緑地保全事業事務経費 1,367 千円  
 消耗品費、負担金等
5. 藤沢市みどり保全協働事業負担金 5,382 千円  
 緑地保全活動事業、養成講座事業、環境調査事業、普及啓発事業、支援活動事業の5事業を実施する協働事業活動団体との基本協定に基づく負担金



藤沢市みどり保全協働事業 作業風景



藤沢市みどり保全審議会状況

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
36,288	36,288	46,961	46,961	166,498	樹林地復元

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04			みどり保全課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	7,009				4,524	2,485
令和2年度	8,809				5,086	3,723
対前年度	△ 1,800				△ 562	△ 1,238
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				4,524

【事業概要】

藤沢市生物多様性地域戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等の生物多様性に対する関心や認識を高めるための啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発を図る。

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業      | 5,809 千円 |
| ・生物多様性普及啓発講座             | 150 千円   |
| ・長久保公園管理棟施設修繕            | 2,145 千円 |
| ・ビオトープ等維持管理              | 3,174 千円 |
| ・乾燥標本室維持管理               | 340 千円   |
| 2. 建物緑化事業                | 1,200 千円 |
| ・建物緑化への助成<br>建物緑化助成事業交付金 |          |



ビオトープ要素の導入～生物多様性の質を高める樹林地管理～  
(稲荷の森)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	10,000	10,000	20,000	40,000	生物多様性地域戦略



下水道事業費

事業名	下水道事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	下水道総務課 ほか3課
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	19,937,416	648,497		2,992,700	4,322,901	11,973,318
令和2年度	20,210,070	614,905		2,750,200	4,537,602	12,307,363
対前年度	△ 272,654	33,592		242,500	△ 214,701	△ 334,045
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				648,497
	(地方債)	公共下水道債				2,985,800
	(地方債)	流域下水道債				6,900
	(その他)	一般会計負担金				4,322,901

【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全を図るため、下水道の整備及び維持管理を行う。

また、安全で安定した下水道サービスの確保、継続的な経営改善と経営基盤の強化を図るため、令和5年度のアセットマネジメント運用に向けた段階的な導入作業を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査及び修繕・改築工事を行う。

1. 収益的支出の主な事業 11,858,099 千円

(1) 管渠維持管理事業 1,039,080 千円

管渠及び取付管修繕、マンホール蓋の交換 300カ所ほか  
 下水道管路の調査及び浚せつ清掃等業務委託 管渠調査延長 330km、  
 ストックマネジメント計画実施に伴う管路調査・診断委託ほか

(2) ポンプ場維持管理事業 979,462 千円

ポンプ場15カ所等の維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、電気使用料ほか

(3) 浄化センター維持管理事業 2,877,096 千円

辻堂及び大清水浄化センターの維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、電気使用料ほか

(4) 水洗便所普及促進事業 21,481 千円

「下水道の日」作品コンクールなどの下水道PR活動、水洗化促進  
 令和3年度末見込み 水洗化率 98.4%

(5) 減価償却費、支払利息等 6,940,980 千円

2. 資本的支出の主な事業 8,079,317 千円

(1) 南部処理区管渠建設事業 1,047,103 千円

辻堂南部放流管築造工事(その2) (令和元年度～令和3年度)

合流管路(新設)延長188m

辻堂南部放流管築造工事(その3) (令和2年度～令和3年度)

合流管路(新設)延長66m

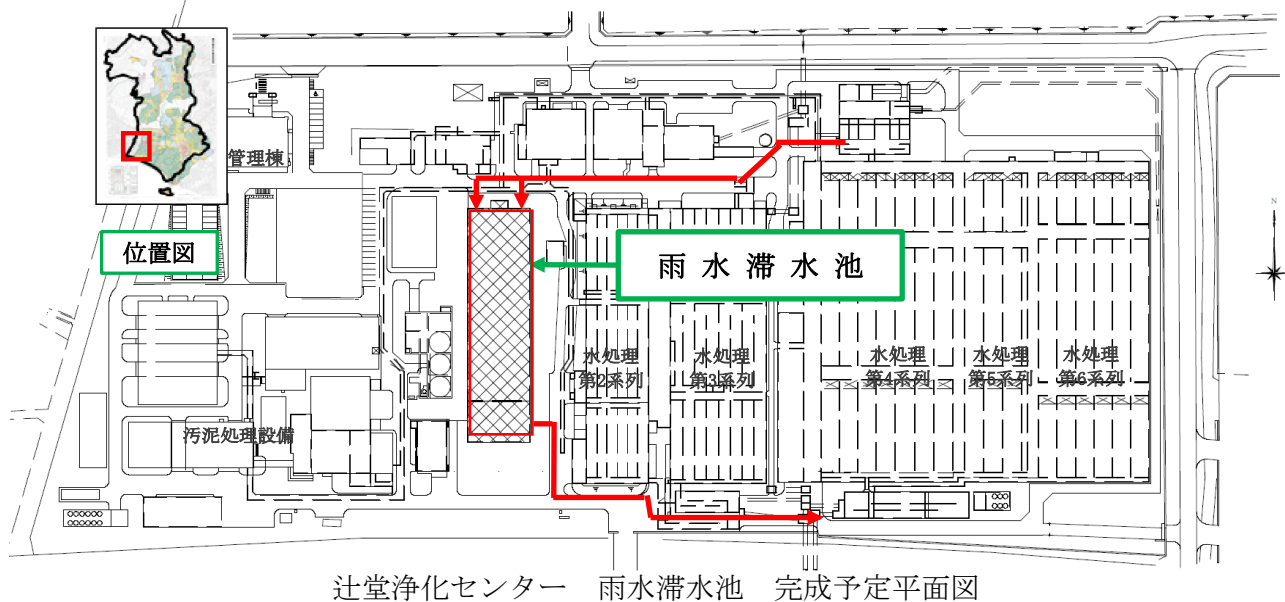
本町一丁目地内管渠更生工事 合流管路(改築)延長184mほか

(2) 東部処理区管渠建設事業 416,976 千円

円行第二排水区雨水管渠築造工事 (令和3年度～令和4年度)

雨水管路(新設)延長153mほか

- (3) 南部処理区ポンプ場建設事業 178,667 千円  
大庭ポンプ場負荷設備他改築電気工事（令和3年度～令和4年度）ほか
- (4) 東部処理区ポンプ場建設事業 1,058 千円  
下水道施設耐水化計画策定委託
- (5) 辻堂浄化センター建設事業 1,625,378 千円  
雨水滞水池建設工事委託ほか
- (6) 大清水浄化センター建設事業 373,503 千円  
管理棟受変電設備他改築工事（令和3年度～令和4年度）ほか
- (7) 新市街地下水道建設事業 159,946 千円  
土地区画整理事業施行地域における汚水及び雨水管渠築造工事  
北部第二（三地区） 汚水管路（新設）延長 5 3 2 m  
雨水管路（新設）延長 5 2 0 m
- (8) 相模川流域下水道建設事業 166,449 千円  
打戻地内汚水管渠築造工事 汚水管路（新設）延長 5 2 8 mほか
- (9) 水洗便所普及促進事業（貸付金） 5,500 千円  
水洗便所改造等工事資金の貸付  
水洗便所改造等資金貸付金 1 0 件 区域外水洗便所改造等資金貸付金 1 件
- (10) 企業債償還金等 4,104,737 千円



「下水道の日」作品コンクール 優秀作品の展示

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,265,281	2,413,480	2,830,370	2,811,520	10,320,651	辻堂浄化センター雨水滞水池等

事業名	(新) デジタル推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 02 説明 01			行政総務課・IT推進課・企画政策課 (新課名：デジタル推進室)		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	39,935					39,935
令和2年度	0					0
対前年度	39,935					39,935

**【施策等を必要とする背景】**

現在国は、新型コロナウイルス感染症への対応において明らかになった行政のデジタル化の遅れに対し、「デジタル庁」の創設、国や自治体のシステム統一・標準化やマイナンバーカードの普及促進、行政手続のオンライン化等、さまざまな施策を打ち出し、急速な改革を進めているところである。

また、本市においても厳しい財政状況の中で、直面する高齢者の急激な増加や担い手の減少・労働力不足、インフラコストの増大に対応するためには、急激な発展を遂げているテクノロジー（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用し、まちのスマート化、行政のデジタル化を進め、持続可能な市政運営への転換を図る必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

- ・国  
平成28年：「官民データ活用推進基本法」  
平成29年：「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」  
平成30年：「デジタル・ガバメント実行計画」  
令和元年：「改正デジタル手続法」  
令和2年：「デジタル・ガバメント実行計画」の改定  
「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」
- ・本市  
令和2年：「藤沢市官民データ活用推進指針」策定

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

1. 市政運営の総合指針における重点施策として位置付けている
2. 藤沢市官民データ活用推進指針

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
デジタル市役所の実現、スマートシティを推進することにより、市民サービスの質的向上・利便性の向上、まちの機能の効率化・高度化、地域の支えあい・活性化、行政コストの削減につながる。
2. 将来にわたる費用  
令和4年度以降の予算額については令和3年度の進捗状況、社会情勢により増加する可能性がある。  
新たに創設されるデジタル庁による交付金や助成金等、国・県の支援策の活用を検討予定。

**【事業概要】**

利用者の利便性向上と行政の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの利活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所及びスマートシティの実現を推進する。

1. 行政手続等オンライン化の推進とICTの利活用による内部事務効率化 7,873 千円
  - ・行政手続等のオンライン化に向けた課題整理を行うため、各課等が所管する手続の棚卸調査、分析、検証等を業務委託する。
  - ・各課の行政手続のオンライン化を支援するとともに、県及び県内市町村で組織する「神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会」に参加し、オンライン申請に必要なe-kanagawa電子申請システム等を活用する。
  - ・職員間の情報共有や事務効率化を目的とした庁内情報共有ツール（ビジネスチャットツール）について効果検証のために試行導入する。
  
2. Web会議環境の整備 3,757 千円
 

Web会議用端末を増設し、更なる利活用の推進を図るとともに、ウェビナーを導入しオンラインによる講演会等の開催ができるように整備する。

※ウェビナー：オンライン上で行うセミナーまたは実施するためのツールのこと
  
3. デジタル人材の育成 8,938 千円
 

ICTを業務に適用させるために、各業務における課題の整理、解決方法を習得し、新たなアイデアや業務プロセスの再構築を行うことができる、行政のデジタル化を主導する人材の育成について業務委託する。
  
4. ITガバナンスの推進 14,025 千円
 

各課等のシステム調達に対する相談・支援業務を委託化することにより、情報システムに関する専門的な知見を反映させることで効果的なシステムの導入及び経費縮減を図る。
  
5. デジタル・デバイド対策事業 1,509 千円
 

デジタル・デバイド対策、市民のICTリテラシー向上を目的とした事業を実施する。
  
6. 藤沢市LINE公式アカウント運用の拡大 2,398 千円
 

市民サービスにおけるLINEの活用を更に進めるため、機能を拡張するためのソフトウェアを導入する。
  
7. 事務経費 1,435 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
39,935	51,354	52,354	52,354	195,997	

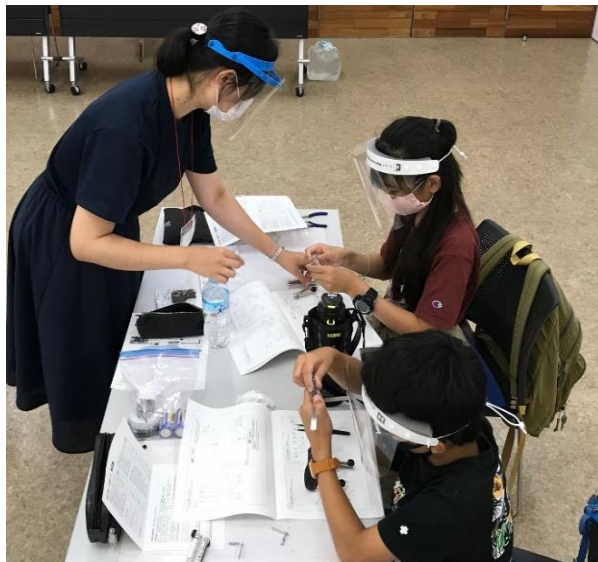
総務費

事業名	ロボット未来社会推進事業費 (前年度事業名：ロボット産業推進事業費)					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 03 説明 01			産業労働課 (新課名：デジタル推進室)		
指針体系コード	5-2-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	28,736		8,781			19,955
令和2年度	32,259		8,884			23,375
対前年度	△ 3,523		△ 103			△ 3,420
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				8,781

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの利活用と普及啓発等を図る。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 24,456 千円  
地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等をより一層充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- ロボットに関する次世代人材の育成 2,391 千円  
子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 1,889 千円  
行政が抱えるさまざまな課題を把握し、その課題を解決するために適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



少年少女ロボットセミナー



小型低速ロボットによる  
自動配送の実証実験

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
28,736	31,847	31,847	31,847	124,277	

事業名	(新) 個人番号カード普及促進事業費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 07	市民窓口センター				
指針体系コード	5-2-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	40,479	40,479				
令和2年度	0	0				
対前年度	40,479	40,479				
特定財源の内訳	(国庫支出金)	個人番号カード交付事務費補助金				40,479

**【施策等を必要とする背景】**

国では、令和4年度末までにすべての国民にマイナンバーカードを普及させることをめざし、各自治体に対し、交付円滑化計画を策定し、普及促進を図るよう要請しているところである。特別定額給付金のオンライン申請やマイナポイント事業等で市民のマイナンバーカードに対する関心が高まり、現在、窓口では混雑が恒常化している。混雑緩和、北部住民の利便性向上、カード普及に伴う取得後の各種手続き等を行う窓口の拡大を行う必要があることから、藤沢市マイナンバーカード北部窓口を開設する。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 令和元年10月 マイナンバーカード交付円滑化計画の策定
- 令和2年 1月 本庁舎マイナンバーカード窓口の増設（4窓口→7窓口）
- 令和2年 5月 特別定額給付金のオンライン申請開始
- 令和2年 9月 マイナポイント事業開始
- 本庁舎マイナンバーカード窓口の増設（7窓口→9窓口）
- 令和2年10月 総務大臣から交付体制拡大の要請  
長後市民センターでの臨時出張窓口の開設  
マイナンバーカード交付円滑化計画の改訂
- 令和3年 1月 マイナンバーカード未取得者へ申請書の再送付開始  
マイナンバーカード交付予約システムの導入

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

- ・ 窓口増設に伴う普及促進の加速化  
北部窓口での申請及び交付受付想定数  
令和3年度 45,000枚  
令和4年度 54,000枚
- ・ 北部地域に居住する市民の利便性向上
- ・ 休日、夜間対応を実施することによる利便性向上
- ・ 窓口の拡大、分散による混雑緩和・待ち時間縮減

2. 将来にわたる費用

令和4年度 35,625千円（全額国庫補助予定）  
なお、本事業を実施する期間は、国庫補助が継続する間とする。

**【事業概要】**

マイナンバーカードの更なる普及促進を図るとともに、本庁窓口における混雑緩和、北部地域住民の利便性向上、またカード普及が進むことに伴うカード所有者の更新手続き等のサービス窓口を拡大することを目的として、藤沢市マイナンバーカード北部窓口を開設する。

1. 北部窓口の開設	40,479 千円
(1) 会場・事務什器等賃借料	33,392 千円
(2) 配線・電気工事等	4,551 千円
(3) 施設機械警備、カード運搬等セキュリティ便	1,146 千円
(4) 電話工事負担金、その他事務経費	1,390 千円

＜開設予定地＞

イトーヨーカドー湘南台店内

＜開設期間＞

令和3年5月～令和5年3月末

＜開設日・時間＞

水曜日、第3土曜日の翌日曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日  
9時30分から18時まで

＜取扱業務＞

- ・マイナンバーカード申請受付（再発行を含む）
- ・マイナンバーカード交付（事前予約制）
- ・マイナンバーカード記載事項変更
- ・電子証明書新規発行
- ・電子証明書有効期限更新
- ・電子証明書暗証番号再設定

（参考）北部窓口開設後の交付想定数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本庁	45,000枚	90,000枚	90,000枚
北部	/	45,000枚	54,000枚
年計	45,000枚	135,000枚	144,000枚
累計	130,000枚	265,000枚	409,000枚
交付率	30%	61%	94%

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
40,479	35,625	0	0	76,104	

総務費

事業名	職員採用関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 2 細目 01 説明 01	職員課				
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	11,823					11,823
令和2年度	9,091					9,091
対前年度	2,732					2,732

【事業概要】

社会情勢の変化に適応できる柔軟性や、魅力あるまちづくりを形成するための発想力、住民の参画意識を高めるためのコミュニケーション能力を持った優秀な人材を確保するため、採用情報の効果的な周知を図るとともに、本市の将来を担うことができる人材の採用につながる職員採用試験を実施する。

1. 採用情報の周知 1,106 千円  
就職情報サイトや求人広告等に採用情報を掲載する。
2. 採用案内冊子の作成 418 千円  
市政の紹介や試験情報等を掲載した案内冊子を作成し、採用説明会等で配布する。
3. 採用試験の実施 9,779 千円  
試験問題作成を専門業者に委託するほか、インターネット上で受験可能なWeb方式や全国の民間会場で受験可能なテストセンター方式など、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた効果的な試験手法の導入を図る。
4. 事務経費 520 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
11,823	11,823	11,823	11,823	47,292	



総務費

事業名	職員基本研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 01	職員課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	8,668					8,668
令和2年度	8,668					8,668
対前年度	0					0

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、藤沢市人材育成基本方針に基づき、職員一人一人の資質を向上させ、組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながるよう、職員の成長段階に応じた能力向上や自己啓発の推進のための基本研修及び職場研修等を実施する。

新型コロナウイルス感染症への対応として、動画や電子データを活用した非接触型の研修を中心に実施し、従来の集合型研修については、感染拡大防止対策を講じ慎重に実施する。

1. 基本研修の実施（報償費） 7,539 千円  
階層別研修及び合同研修を実施する。研修内容としては、地域課題の解決をテーマとした研修など、課題解決に挑戦する人材の育成を図る研修を実施する。
2. 職場研修の実施及び自主研修の支援 200 千円  
(1) 職場研修の実施  
職場の課題や職員に求められるスキルを的確に把握したうえで、職場研修を実施する。  
(2) 自主研修の支援  
自己啓発を行う職員に対して、資格取得や自主研究グループ活動の支援をする。
3. 事務経費 929 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,668	8,668	8,668	8,668	34,672	

総務費

事業名	職員専門研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 02	職員課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	7,006				600	6,406
令和2年度	6,346				600	5,746
対前年度	660				0	660
特定財源の内訳	(その他)	(公財) 全国市町村研修財団研修受講助成金				600

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、藤沢市人材育成基本方針に基づき、職員一人一人の資質の向上・組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修・派遣研修を実施する。

新型コロナウイルス感染症への対応として、動画や電子データを活用した非接触型の研修を中心に実施し、従来の集合型研修については、感染拡大防止対策を講じ慎重に実施する。

1. 専門研修の実施（報償費） 1,886 千円  
 デジタル時代を見据え、デジタルトランスフォーメーション（DX）の概念をはじめ、ICT利活用に係る幅広い知識を習得するための研修を実施する。
2. 派遣研修の実施 2,790 千円  
 研修専門機関が主催する研修への派遣のほか、民間企業への派遣研修を実施する。
3. 事務経費 2,330 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
7,006	7,006	7,006	7,006	28,024	

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	5-3-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	8,529		304			8,225
令和2年度	14,317		84			14,233
対前年度	△ 5,788		220			△ 6,008
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分) 事業費補助金				304

<拡充事業> 介護人材の確保等に向けた各種事業の充実

【施策等を必要とする背景】

少子超高齢社会の進展に伴い、生産年齢人口が減少し、働き手の確保が一層難しくなることが想定される一方、介護ニーズは今後も増加することが予想される。

そのため、国は、「介護現場革新会議」を発足し、介護現場の生産性向上を促進し、社会構造の変革に対応できるよう、人手不足の中でも質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築、ロボット・ICTの活用、介護業界のイメージ改善と人材の確保といったテーマを掲げて取組を進めている。

【提案に至るまでの経緯】

事業の充実に向けて、国の動向を注視しつつ、介護サービス事業者に対するアンケート調査や特別養護老人ホーム等の施設長会等での意見交換を踏まえながら検討してきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・いきいき長寿プランふじさわ
- ・藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

人材の確保・定着及び技能の向上により、多様化する利用者ニーズに対応した質の高い介護サービスが提供される。また、介護事業所が地域における安心の担い手としての役割を果たし続けることができる。

2. 将来にわたる費用

介護ニーズに応じて、継続的な支出が必要である。

【事業概要】

介護人材の確保等を図るため、介護職員初任者研修等の受講料の助成をはじめ、介護未経験者等の参入促進や、学生に対するイメージ改善等の取組を進めるとともに、介護サービス事業者に対して介護ロボット・ICT活用等の支援を行う。

1. 介護職員等研修受講料助成事業 400 千円

介護職員初任者研修又は介護支援専門員実務研修の受講修了者が市内の介護事業所等に6カ月以上就労した場合に、当該研修受講料の一部を助成する。

- (拡) 2. 外国人留学生又は技能実習生への住居・生活必需品費支援事業 990 千円

介護福祉士資格の取得をめざす外国人を新たに受け入れる特別養護老人ホームやグループホーム等を運営する法人に対し、住居及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。留学生と技能実習生を補助対象としていた要件について、令和3年度から、特定技能又は経済連携協定(EPA)による外国人も対象とする。

- (拡) 3. 介護職員等キャリアアップ研修支援事業 6,000 千円  
 介護職員等の資格取得又はスキルアップを図るため、介護事業所が講師を招いて行う研修や職員を外部に派遣する研修等に係る費用の一部を助成する。  
 (研修受講料等の2分の1以内・1法人当たり上限12万円)
- (新) 4. 介護の入門的研修 673 千円  
 介護分野への人材の参入を促進するため、介護に関心を持つ介護未経験者を対象に、介護業務に携わるうえでの不安を払拭することを目的とした基本的知識を身につける研修を実施する。
5. その他の介護人材育成支援事業 466 千円
- (1) 介護のしごと出前授業  
 市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問し、介護の仕事内容や体験、やりがいについての講演会等を実施する。
- (2) 介護現場の生産性向上プロジェクト事業  
 介護サービス事業者とともに、介護ロボット・ICTを先進的に取り組んでいる介護事業所への視察や開発メーカー等との意見交換等を行う。
- (3) 介護事業所の見学&仕事相談会 (バスツアー事業)  
 ハローワーク藤沢との共催により、バスで介護事業所を巡り、事業所内における見学と就職相談を行う事業を実施する。
- (新) (4) 介護の職場体験事業  
 介護業界に就職を希望する人、興味のある人、また、どのような介護事業所で働くかを迷っている人に対し、市が窓口となり、介護現場での見学及び仕事体験が受けられる機会を提供する。
- (新) (5) 新型コロナウイルス感染症対策研修  
 介護職員を対象に、感染症に関する知識や防護具着脱等の感染防止対策等を目的とした研修を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,529	8,409	8,409	8,409	33,756	

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費 <再掲>					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課		
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	2,587,681	214,503	241,883		90,480	2,040,815
令和2年度	2,338,992	168,470	135,442		90,480	1,944,600
対前年度	248,689	46,033	106,441		0	96,215
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				78,383
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				134,531
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				1,589
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金				12,871
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				78,383
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				122,259
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				19,229
	(県支出金)	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				6,591
	(県支出金)	短時間保育士雇上事業費補助金				2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				90,284
(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196	

<拡充事業> 保育士人材確保策の強化（保育士就労奨励助成金の新設、保育士奨学金返済補助金の対象拡大、及び子育て支援員研修事業の実施）

**【施策等を必要とする背景】**

現在、本市では待機児童の解消に向けて、藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）に基づき保育の受け皿確保を図るとともに、保育の担い手の確保に向けた保育士確保策を進めている。保育士確保策については、これまでも様々な取組を行ってきたが、依然として保育士不足が生じていることから、既存事業の拡充とともに、よりインパクトのある方策が求められている。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 潜在保育士の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業の実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数及び保育士等確保事業補助金の補助上限額を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布
- 令和 2年 4月 保育士就職支援補助金を新設、保育士奨学金返済補助金及び保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の対象要件等を拡大

保育士確保策として上記取組を行ってきたが、現状では依然として保育士不足が生じている。令和3年度に向けては、市内認可保育施設で働く保育士へのアンケート調査の結果及び関係団体からの要望を踏まえ、新たな人材確保策や既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
保育士が安定的に確保されることにより、待機児童の解消が図られるとともに、保育の質の確保とその向上につながる。
2. 将来にわたる費用  
事業の拡充に係る費用は、保育士不足が一定程度解消されるまで継続的な支出が必要となる。

**【事業概要】**

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育環境の充実を図るため、市内の法人立認可保育所の設置運営法人に対して、人件費・施設管理費などの運営費を助成するとともに、保育士の確保に向けた各種支援事業等を実施する。

- |     |  |              |
|-----|--|--------------|
| 1.  | 法人立保育所等の運営に係る業務委託<br>市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等  | 1,964,503 千円 |
| 2.  | 保育士確保に向けた事業  | 120,767 千円   |
|     | ＜保育士への支援事業＞  |              |
| (新) | ・保育士就労奨励助成金<br>保育所等へ就労していない保育士資格を有する人を対象に、市内の法人立認可保育施設への1年以上の就労を条件に助成金を支給する。<br>(助成額) 常勤職員 7万円<br>非常勤職員（1日6時間以上、且つ月20日以上勤務） 5万円<br>非常勤職員（1日6時間未満、又は月20日未満勤務） 3万円 | 12,930 千円    |
| (拡) | ・保育士奨学金返済補助金<br>奨学金の返済に要した費用の1/2（上限20万円）を補助する。令和3年度から補助対象期間を3年間から5年間に拡大する。   | 1,575 千円     |
|     | ・潜在保育士保育体験費用補助金  | 50 千円        |
|     | ・保育士就職支援補助金  | 1,350 千円     |
|     | ＜保育所等への支援事業＞   |              |
|     | ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金  | 77,490 千円    |
|     | ・保育士等確保事業補助金   | 23,802 千円    |
|     | ＜その他の事業＞   |              |
|     | ・保育士募集案内用リーフレット等の作成  | 391 千円       |
| (新) | ・子育て支援員研修事業<br>保育人材を確保し、保育士の負担軽減を図るため、保育士資格を有しない人を対象に、保育の担い手となる「子育て支援員」を養成する研修事業を委託により実施する。  | 3,179 千円     |
| 3.  | 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金<br>感染症拡大防止に係る必要備品の購入等の経費を補助する。  | 43,700 千円    |
| 4.  | 法人立保育所特別経常費補助金<br>施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、その経費の一部を補助する。  | 56,874 千円    |
| 5.  | 法人立認可保育所の設置運営に係る経費の補助<br>土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。   | 274,559 千円   |
|     | ・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金  | 19,661 千円    |
|     | ・分園設置運営補助金   | 5,000 千円     |
|     | ・保育所建物設置賃借料補助金   | 249,898 千円   |
| 6.  | 認可保育所事務負担軽減補助金   | 18,028 千円    |
| 7.  | 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料   | 96,973 千円    |
| 8.  | 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費  | 8,912 千円     |
| 9.  | その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費   | 3,365 千円     |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
120,767	124,641	128,708	116,871	490,987	保育士確保

事業名	(新) 幼稚園人材確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 06			保育課		
指針体系コード	5-3-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	3,520					3,520
令和2年度	0					0
対前年度	3,520					3,520

**【施策等を必要とする背景】**

本市では未就学児の教育ニーズが高い傾向にある中、幼稚園における教育・保育の担い手である幼稚園教諭の人材不足が慢性的に生じている。この要因は様々であるが、国が待機児童対策を進める中、課題である保育士不足を解消するため、自治体が積極的に保育士確保策を実施することで、学生が就職先として幼稚園よりも保育所を選択する傾向が生じているとの意見もある。

また、幼稚園における人材不足は幼児教育の実施に支障をきたすだけでなく、預かり保育の規模の縮小にもつながることから、その影響は多岐にわたる。

**【提案に至るまでの経緯】**

幼稚園における人材不足への対応については、これまで各幼稚園が求人活動や離職防止に向けた取組を進めてきたが、保育所への保育士確保策が積極的に推進される中で、関係団体からの要望を踏まえ、幼稚園における人材確保への支援について検討を進めた。

- 令和2年7月 藤沢市私立幼稚園協会から、人材確保に係る支援への要望書を受領
- 令和2年9月 市内幼稚園に対し、人材確保に関するアンケート調査を実施

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、幼稚園教諭が安定的に確保され、幼稚園における人材不足が解消することで、本市の幼児教育の推進と多様な保育ニーズへの対応につながる。

2. 将来にわたる費用

人材不足の解消に向けて、当面の間は事業を継続する必要があるが、同様の負担が生じるが、人材不足の解消状況を踏まえ、事業を終了する。

**【事業概要】**

市内幼稚園における人材不足の解消を目的に、幼稚園等へ就労していない幼稚園教諭免許保持者等を対象とする就労奨励助成金支給事業を行う。

1. 幼稚園教諭等就労奨励助成金

3,520 千円

- ・対象者 次のいずれかに該当する市内在住の幼稚園教諭等で、市内の幼稚園に就職又は再就職（1年以上の雇用契約を締結）した人

- ①幼稚園での就労経験があり、退職後1年以上経過した幼稚園教諭免許保持者
- ②幼稚園での就労経験はないが、幼稚園教諭免許取得後1年以上が経過した人
- ③幼稚園教諭として就労経験があるが、現在は幼稚園教諭免許が失効している人

- ・対象施設 市内幼稚園及び認定こども園（32園）

- ・助成額 次の区分ごとの額

- ・上記①又は②の対象者で、常勤職員として就労した場合 7万円
- ・上記①又は②の対象者で、非常勤職員として就労した場合 5万円
- ・上記③の対象者で、常勤又は非常勤職員として就労した場合 3万円

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
3,520	3,520	3,520	0	10,560	

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-3-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	31,159		27,934			3,225
令和2年度	22,833		21,910			923
対前年度	8,326		6,024			2,302
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				24,000
	(県支出金)	トップ経営体育成事業補助金				3,934

<拡充事業> トップ経営体育成事業の実施

【施策等を必要とする背景】

県において、新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給を図るため、優れた経営感覚を有する経営体（トップ経営体）の育成を進めるための支援制度が創設された。

【提案に至るまでの経緯】

かながわ農業版MBA研修を修了した者から、生産物の加工に要する機材の購入費用の補助について、申し入れがあった。

令和2年4月 令和3年度所要額調査（神奈川県が実施）

令和2年7月 対象者から市に対して事業計画提出

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（平成26年9月）に掲げる、効率的かつ安定的な農業経営の指標を目指すために行う事業である。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

トップ経営体の所得向上及び生産物の安定供給に寄与する。

2. 将来にわたる費用

新たな研修修了者からの申請に対応する費用。



**【事業概要】**

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施  | 688 千円    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観形成事業</li> <li> 委 託 先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会</li> <li> 委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。</li> </ul>   |           |
| 2. 援農ボランティア養成講座の開催   | 100 千円    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>対 象 者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度</li> </ul>  |           |
| 3. 新規就農者に対する支援   | 24,000 千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業次世代人材投資資金等の交付 <span style="float: right;">22,500 千円</span></li> <li> 次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。</li> <li> 対 象 者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者</li> <li> 支援内容：年間最大150万円の補助金を交付</li> <li>・ 経営発展支援金の交付 <span style="float: right;">1,500 千円</span></li> </ul> |           |
| (新) 4. トップ経営体育成事業  | 3,934 千円  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>かながわ農業版MBA研修を修了した者が行う事業に対して、補助金を交付する。</li> <li> 対 象 者：かながわ農業版MBA研修修了者 1人</li> <li> 支援内容：事業費の1/3の補助金を交付（県費10/10）</li> </ul>  |           |
| 5. 農業研修受入支援事業  | 90 千円     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う者に対し補助金を交付する。</li> <li> 対 象 者：藤沢市内の農業経営士、認定農業者</li> <li> 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付</li> </ul>   |           |
| 6. 農業後継者支援事業   | 1,402 千円  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>農業を継承していくために施設の整備等が必要な農業後継者に対し補助金を交付する。</li> </ul>  |           |
| 7. 農福連携促進事業  | 900 千円    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施設と受委託契約等を交わし、障がい者等の受け入れを行う農業者に対し委託料の一部を補助する。</li> <li> 支援内容：農作業1日当たり3千円以内の補助金を交付</li> </ul>  |           |
| 8. 担い手育成支援事業事務経費   | 45 千円     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅費、消耗品費</li> </ul>  |           |

（この事業は令和2年度6月補正で増額した事業）

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
31,159	29,003	29,183	29,363	118,708	

総務費

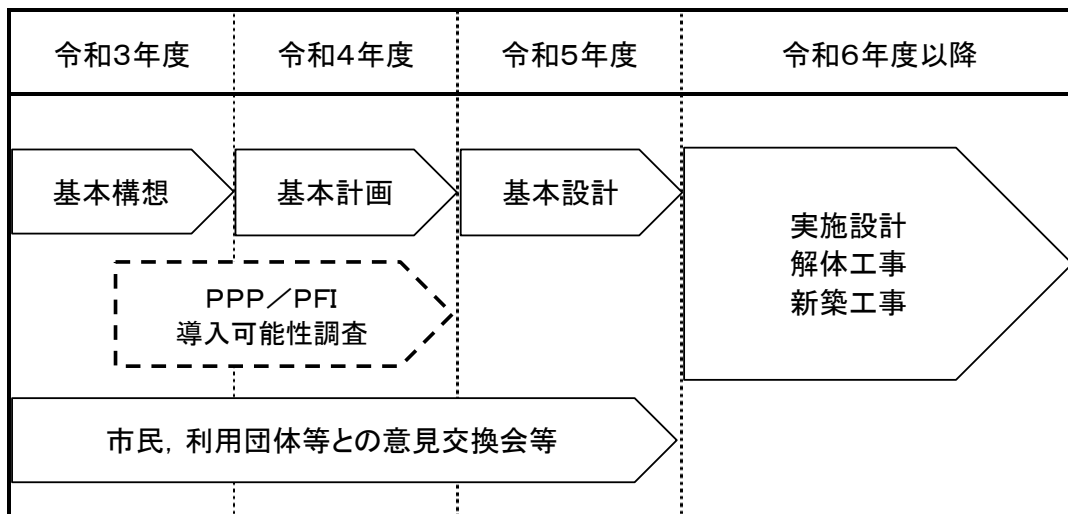
事業名	市民会館整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 4 細目 02 説明 01	文化芸術課				
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	21,462				20,350	1,112
令和2年度	21,462				20,350	1,112
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				20,350

【事業概要】

新しい生活様式をはじめとしたさまざまな社会的変化等を踏まえた検討を行う必要性から、令和2年度中の策定を見送りした藤沢市民会館等再整備基本構想について、策定を行う。

1. 藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会報酬 1,112 千円
2. 藤沢市民会館等再整備基本構想策定業務委託料 20,350 千円

藤沢市民会館等再整備 事業スケジュール (案)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
21,462	101,112	401,112	600,000	1,123,686	

教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	46,794				5,775	41,019
令和2年度	74,986				1,522	73,464
対前年度	△ 28,192				4,253	△ 32,445
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				705
	(その他)	文化振興基金繰入金				4,120
	(その他)	アートスペース関連グッズ売上収入				350
	(その他)	アートスペース有料展覧会観覧料				600

【事業概要】

藤沢市アートスペースの運営管理を行い、若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

1. 施設管理、運営管理 36,249 千円  
 建物賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等
2. 事業運営費 10,545 千円
  - ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援  
 全国からの公募により選出した若手芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
  - ・美術鑑賞の機会の提供  
 藤沢ゆかりの作家や、本市所蔵の美術作品の企画展を開催する。
  - ・美術作品の展示・発表の場の提供  
 個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの作品発表の場を提供する。
  - ・美術学習の場の提供  
 子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。
  - ・公民館等との連携事業の実施  
 公民館等と連携し、市内に設置されたパブリックアートを巡るイベントや、パブリックアートを綺麗に磨く「まちの彫刻ピカピカプロジェクト」を実施する。



令和2年度企画展Ⅱ  
 「大山エンリコイサム スプレー・ライク・ゼア・イズ・ノー・トゥモロー」

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
46,794	54,422	54,422	54,422	210,060	

土木費

事業名	景観資源推進費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 05 説明 02			街なみ景観課		
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	10,120				0	10,120
令和2年度	2,418				376	2,042
対前年度	7,702				△ 376	8,078

<拡充事業> 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業の実施

**【施策等を必要とする背景】**

藤沢市街なみ百年条例に基づき指定した旧東海道藤沢宿街なみ継承地区（以下「街なみ継承地区」という。）において、歴史や文化を大切にしたい良質な街なみの形成を推進するために取得した、景観上重要な拠点である旧桔梗屋（歴史的建築物）及びその土地について、魅力ある活用を図るものである。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 令和2年 7月 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業計画の策定  
公有地の拡大の推進に関する法律に基づく申出書の收受
- 令和2年10月 旧桔梗屋及びその土地に係る無償譲渡契約（寄附）の締結  
藤沢市土地開発公社による寄附以外の土地に係る土地売買契約の締結

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

魅力ある活用方法を検討するため、今後、地域の関係団体との意見交換を行っていく。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市街なみ百年条例

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
旧桔梗屋及びその土地を保全・活用することにより、街なみ継承地区の歴史や文化の継承及び地域の活力やにぎわいの創出が図られる。
2. 将来にわたる費用  
本事業により、今後、土地の買戻しや整備工事等の事業費のほか、整備後の維持管理に要する事業費を見込む。

**【事業概要】**

歴史や文化を大切にしたい良質な街なみの形成を推進するため、街なみ継承地区における歴史的建築物の保全や街なみの修景に関する経費の一部を補助するとともに、地域の魅力ある歴史的な景観資源を市民共有の財産として活用するため、都市景観に関する意識啓発を行う。

また、街なみ継承地区の歴史・文化の継承及び地域の活力やにぎわいの創出を図るため、旧桔梗屋及びその土地を保全し、魅力ある活用を図る。

- (拡) 1. 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業の実施 9,153 千円  
旧桔梗屋及びその土地を保全・活用するため、維持管理及び建物の現況調査等を実施する。
- 2. 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助 300 千円  
旧東海道藤沢宿街なみ継承地区街なみ継承ガイドラインに基づく修景工事に係る経費の1/2以内の額を補助する。(上限30万円)
- 3. 都市景観の意識啓発に係る事務経費 667 千円



旧桔梗屋（歴史的建築物）

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,120	257,225	13,800	13,800	294,945	

総務費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 03 説明 01			観光シティプロモーション課 (新課名：広報シティプロモーション課)		
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	15,023		2,200			12,823
令和2年度	16,448		1,833			14,615
対前年度	△ 1,425		367			△ 1,792
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,200

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め藤沢を発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ、「市民参加型」のプロモーションを展開する。

市外に対しては、市民からの発信力強化による「クチコミ」「SNS」の拡散効果による知名度やブランド力の向上を図るとともに、デジタルコンテンツ等を活用し、藤沢の魅力を発信するための取組を推進する。

1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託 5,500 千円  
市民自らが拡散性の強いSNSを活用し、まちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,000 千円  
藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」活動を推進する取組を行う。
3. 公式WEBサイト運用管理業務委託 2,497 千円  
ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。
4. ダンスプロモーション業務委託 792 千円  
キュンダンスの普及を目的として、イベントやデジタルコンテンツを活用したプロモーションを行う。
5. キャラクターデザイン作成業務委託 99 千円  
公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」の新規イラストデザインの作成を行う。
- (新) 6. キャラクタープロモーション業務委託 1,100 千円  
デジタルコンテンツ等を活用し、公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」のプロモーションを行う。
7. 市民アンケート調査の実施 423 千円  
藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
8. シティプロモーション関係事務経費 2,612 千円
  - ・報償費（講師謝礼等） 272 千円
  - ・旅費 118 千円
  - ・役務費（クリーニング等） 154 千円
  - ・備品購入費 506 千円
  - ・その他（消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 1,562 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
15,023	15,023	15,023	15,023	60,092	

教育費

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	5-5-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	148,511		49,730			98,781
令和2年度	475,741		14,569			461,172
対前年度	△ 327,230		35,161			△ 362,391
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				16,845
	(県支出金)	ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策補助金				32,885

【事業概要】

東京2020大会の成功に向けて、大会に関わるすべての人々が安全安心に参加することができるよう各事業を展開するとともに、おもてなしの顔となる「シティキャストフジサワ」の運営、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」の活動など、市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現するための取組を推進し、大会後のレガシーにつなげていく。

1. 気運を高める取組 60,284 千円
  - (1) 聖火リレー等大会関連イベント、ワールドイズワン江の島セーリングカップ2021（セーリング競技国際大会）などを通じて気運の盛り上げを図るほか、大会のPR・広報等を行う。 10,725 千円
  - (2) 市民の心に残る大会とするため、大会に関連する記録映像の制作などを行うとともに、大会終了後には、セーリング競技日本代表選手を招いてのアスリート報告会を実施する。 16,674 千円
  - (3) 本市がホストタウンとなっている3か国の事前キャンプ実施にあたり、選手側、受入れ側双方の安全安心を確保するため、「ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業」に基づき、感染症対策を実施する。 32,885 千円
2. ボランティアに関する取組 75,971 千円
  - (1) シティキャストフジサワを対象とした本大会へ向けた研修や大会期間中の運営、感染症対策を実施するとともに、聖火リレー・ライブサイト等の大会関連イベントにおける独自ボランティアの運営を行う。 55,635 千円
  - (2) 「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」による大会関連情報の発信や応援団員による自主イベントを支援し、大会終了後は、関連する取組や団体へ引継ぎを行うことで、市民参加型のオリンピック・パラリンピックの実現を図る。 7,336 千円
  - (3) ウェブサイト「チームFUJISAWA2020」を構築し、東京2020大会を契機とした各種ボランティア活動を大会後のレガシーとして次の世代へ引き継ぎ、ボランティア活動のさらなる活性化へつなげる。 13,000 千円
3. その他事務経費 12,256 千円
  - ・人材派遣、賃借料、事務用品等



東京2020大会で  
江の島が会場となるセーリング競技



「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」  
のオンラインイベントで集合する団員

(2.(3)の事業は令和2年度12月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
148,511	5,200	5,200	5,200	164,111	

事業名	(新) スポーツ都市宣言推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 10			スポーツ推進課		
指針体系コード	5-5-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和3年度	99,842			50,200	46,820	2,822
令和2年度	0			0	0	0
対前年度	99,842			50,200	46,820	2,822
特定財源の内訳	(地方債)	社会教育施設等整備事業債				50,200
	(その他)	スポーツ振興基金繰入金				16,820
	(その他)	日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金				30,000

【施策等を必要とする背景】

近年、身近で大規模なスポーツイベントが続けて開催され、市民のスポーツへの関心は非常に高まってきている。また、本市においては、「健康寿命日本一」を目標に掲げ、人生100年時代に誰もが楽しく気軽に健康づくりに取り組むため、スポーツの果たす役割は、今後ますます重要になってくると考えられる。このような背景から、市民に対して、スポーツの意義・価値の浸透や意欲の向上を図るとともに、スポーツを通じた健康増進を図り、活力あふれる藤沢市となるよう「(仮称)藤沢市スポーツ都市宣言(以下「スポーツ都市宣言」という。)」を制定することで、本市のスポーツ施策に対する取組姿勢を広く市内外へPRする必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- 2018年 2月 藤沢市議会において、スポーツ都市宣言に関する質疑
- 2019年11月 スポーツ推進審議会において協議
- 2019年12月 オリパラ支援委員会において、提言が出される
- 2020年 2月 藤沢市議会において、進捗に関する質疑
- 2020年 2月 令和2年度施政方針において、スポーツ都市宣言へ取り組むことを表明

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

- 2021年 3月 ワークショップもしくはアンケート形式により、各団体からの意見を聴取する。
- 2021年 6月～7月 パブリックコメントの実施。

【市の策定する計画や条例との整合性】

「スポーツ都市宣言」の基本理念に基づき、新たなスポーツ推進計画を策定し、庁内各課や関係団体と連携を図りながら、計画を推進するための様々な事業を実施する。

	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	
スポーツ都市宣言策定	→																								
スポーツ推進計画改定	→																								
新推進計画事業実施													→												
事業等予定																									

○10/1 スポーツ都市宣言 ○4/1 新スポーツ推進計画開始(R11年度まで)

○11月 スポーツ都市宣言記念事業 ○ねりんピックかながわ

○7/22～9/8 東京2020大会

【将来にわたる効果及び費用】

スポーツ都市宣言を行うことで、市民のスポーツへの関心が高まるとともに、スポーツ環境を充実させることでスポーツ活動の機会をより一層提供することができ、本市のめざす健康寿命日本一や、共生社会の実現につながる。

また、スポーツ都市宣言を契機とし、「する」「観る」「支える」スポーツをさらに推進することで、まちの賑わいの創出、経済の活性化、地域交流の促進等へつながる。



**【事業概要】**

東京2020大会を契機とし、健康寿命日本一や共生社会の実現に向けて、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが生涯にわたって多様なスポーツ活動に親しめるよう、「する」「観る」「支える」スポーツを推進するため、スポーツ都市宣言を行い、誰でも参加しやすい事業の実施や、市民が気軽に利用しやすい施設の整備など、スポーツ環境の充実を積極的に行う。

また、スポーツ施設整備事業の実施にあたり、市内外から幅広い支援・協力を募るため、クラウドファンディングを活用する。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. スポーツ都市宣言記念事業                        | 2,822 千円  |
| (1) 講師謝礼                               |           |
| ・スポーツ都市宣言セレモニー基調講演                     |           |
| (2) 消耗品費・印刷製本費                         |           |
| ・スポーツ都市宣言に伴う啓発用のぼり旗等作成・セレモニーパンフレット等の作成 |           |
| (3) 業務委託費                              |           |
| ・スポーツ都市宣言に伴う記念モニュメント・懸垂幕・横断幕製作         |           |
| 2. スポーツ施設整備事業                          | 97,020 千円 |
| ・八部公園テニスコートの人工芝への床面改修工事                |           |
| 財源措置の内訳                                |           |
| ・スポーツ振興基金繰入金                           | 16,820千円  |
| ・日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金               | 30,000千円  |
| ・社会教育施設等整備事業債                          | 50,200千円  |



八部公園テニスコート

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
99,842	145,093	145,093	145,093	535,121	

## 5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵜沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



## 六会地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 素的なふるさと 六会

### まちづくり事業

#### 1 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園，小・中学校，特別支援学校，花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い，自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また，近隣の人々が共同作業をすることで，地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配付による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) ボランティア団体「六会グリーンクラブ」の支援

#### 2 交通不便地区解消検討事業

地域住民への周知及び利用者拡大を図る西俣野地区で運行する予約型乗合タクシー「おでかけ六会」をサポートします。

#### 3 六会人材センター推進事業

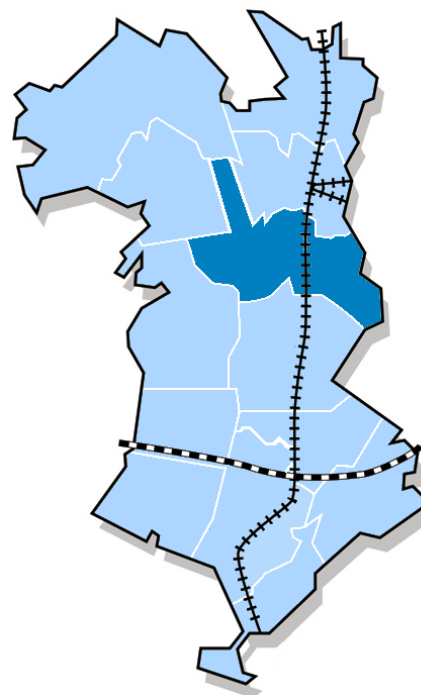
地域の人材発掘を行うとともに，地域のまちづくり活動を推進するため，ボランティアと依頼団体とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 地域の人材発掘
- (2) コーディネート事業

#### 4 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため，12月から1月にかけて六会日大前駅東西ロータリーにイルミネーションを設置します。さらに，地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し，六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯式及びコンサート等の開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討  
(六会ふるさと音頭の普及活動，六会カルタの活用事業の検討等)



## 5 公園を含む避難場所～情報発信のあり方

地区内には28の公園があり、防災等の観点から改めて地域資源の活用を考えるなかで、地震や水害などの災害が生じた際に、自治会町内会など地域のあり方についての検討を進め、様々な情報提供等を通じて、よりよい地域の形成を検討します。

- (1) 自治会町内会が管理する防災倉庫についてのアンケート調査
- (2) 地域への情報発信等の活動

## 6 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川両岸の美化を維持しつつ、市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」に関してフォローをします。

- (1) 引地川両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 引地川、一色川両岸の美化活動をするボランティア団体「引地川・一色川さわやかクラブ」の支援

## 7 居場所づくり事業

子どもや子育て世代など誰もが集える場所づくりを検討します。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

少子高齢化の進展、そして生活スタイルの多様化やコロナ禍による地域のつながりの希薄化、それに伴う高齢者や一人親世帯などの孤立など、生活課題が増してきています。

このような背景を踏まえ、「自助」「共助」「公助」による助け合いがバランスよく機能し、地域のテーマである「素的なふるさと 六会」を着実に実行していくため、住民、行政、民間でのつながりの強化が求められています。

そういったことから、住民がつながる仕掛けやイベントなどを継続的に展開する必要があり、サステナブルな活動を進めるためにも新たな住民の参加を促し、裾野を拡げることや郷土づくり推進会議や各地域団体などが、時代の流れに即した事業へと移行していくなかで、それぞれの機能を高め、時には協力し、連携するなど活動を活性化し、地域住民への情報共有や活動への理解を深めてもらうよう取り組むことが重要であると考えています。

## 片瀬地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

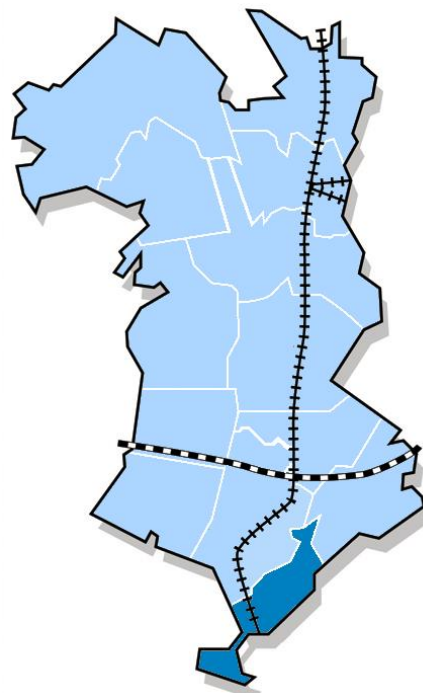
## 歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

### まちづくり事業

#### 1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネート
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）



#### 2 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

#### 3 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動を支援します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の支援
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業を検討

#### 4 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場にもなる片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに環境の浄化

を図るため、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。

#### 5 江の島道の整備事業

旧江の島道の史跡周辺を整備し、歴史継承及び有効活用のための周知を実施します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備
- (2) 江の島道の周知と有効活用として「まち歩きマップ」を作成

#### 6 青少年健全育成事業

青少年を対象とした事業実施団体間の情報や活動の連携を図り、青少年事業の活動充実を目指すため、意見交換会を実施します。

- (1) 子ども関係団体による意見交換会の実施
- (2) 事業展開及び課題解決のサポート

#### 7 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを助け、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

#### 8 地域広報事業

多くの人々が交流し、地域の魅力にあふれるまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

---

### **長期的に取り組む地域課題等**

---

片瀬地区では、地域コミュニティの活性化と人材育成、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の推進、歴史文化財等を含む郷土魅力の保存と継承による郷土愛の醸成及び子どもたちを健全に育む地域づくりを課題として捉え、長期的に取り組んでいます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となる地区として、地域特色や市民活動の気運を、ポジティブなレガシーとして来訪者や転入者も含めた次世代へ継承することも課題となります。

## 明治地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

### まちづくり事業

#### 1 歴史・文化継承事業

明治地区には、近代教育の魁である「耕余塾」や旧東海道と大山街道の追分があったことから、歴史・文化資産が数多く残っています。それらを活用して郷土愛を醸成するとともに、歴史文化を次世代へ伝えていくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 歴史・文化資産の調査及び活用

#### 2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

#### 3 子育て支援充実事業

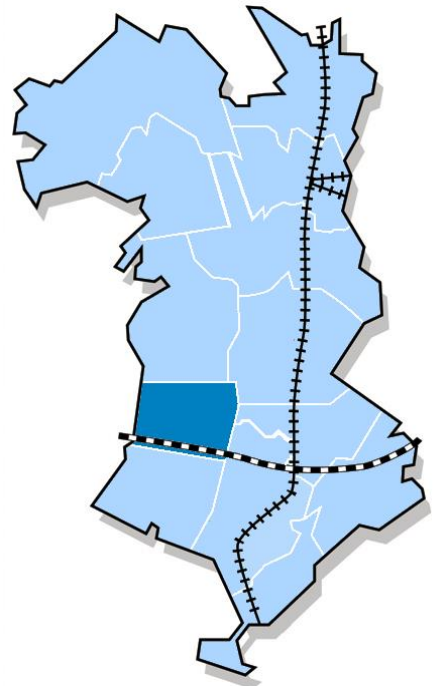
新たなマンションの建設等に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うとともに、地域の子育て環境の充実を図るため、子育てグループや子育て支援団体が連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進

#### 4 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指し、健康体操の普及を図ります。

- (1) 自治会・町内会及び老人会等と連携した参加者の促進
- (2) 地区内で実施されている健康体操の案内



- (3) 健康体操を広めるため「健康体操サポーター講習会」の実施
- (4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに必要な支援の実施

## 5 避難行動要支援者支援体制推進事業

災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、迅速な支援が行われるようにするため、自主防災組織の充実や地区民生委員、地域包括支援センター等との連携を図ります。

- (1) 自主防災組織における避難行動要支援者支援体制の充実
- (2) 自治会・町内会、自主防災会と民生委員、地域包括支援センター等との連携

## 6 小・中学生地域活動参加促進事業

地域の自然、景観、歴史、文化を継承し、郷土愛を深め、地域における将来の担い手を育成するため、小・中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 地区内清掃活動など地域団体等の活動、事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

## 7 大学生と小・中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため、地域団体が実施する小・中学生を対象にした事業に大学生ボランティアスタッフを加えるなど、大学生の地域活動への参加と世代を超えた交流の機会を創出します。

- (1) 小中学生を対象とした事業への参加呼びかけ
- (2) 近隣大学との連携

## 8 道路バリアフリー化促進事業

だれもが安全に道路を利用できるよう、地区内の主要な道路のバリアフリー化について検討し、必要に応じて担当部署に要望していきます。

- (1) 地区内アンケート等による現状の把握
- (2) 担当部署との意見交換会の開催

## 9 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため、学校、保護者と連携して、地区内の危険場所の把握やパトロールを実施するとともに、ICTを活用した仕組みづくりなど、地域ぐるみで子どもを見守る仕組みを構築します。

- (1) 不審者情報や危険場所を共有するネットワークの構築
- (2) 子どもへの声かけ等、抑止効果を高める活動の実施
- (3) こどもウルトラ見守りチャレンジの実施

---

## 長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出や圏央道の開通による通過交通の増加等により、地区内で、土、日、祝祭日を中心に慢性的な交通渋滞が発生している現状があります。



## 御所見地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

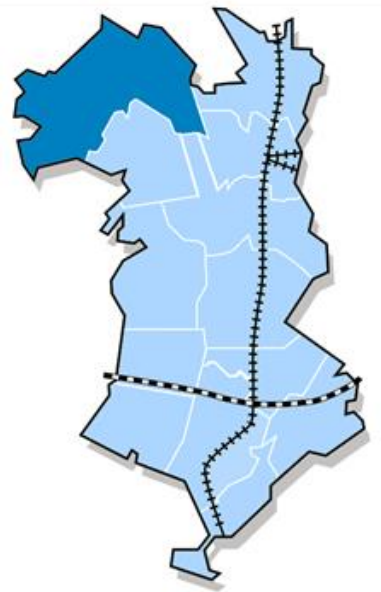
### まちづくり事業

#### 1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

さらに、花桃、彼岸花、ざる菊などの地域を彩る花々を中心に、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出



#### 2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが，青少年健全育成施設であることから，その活用においては管理主体との調整が必要となります。

従来の青少年健全育成施設の機能に加えて，外部からの誘客施設，中高年者も自然に触れ，憩える施設とすることを目指し，具体化に向け関係課と協議を進めます。また，「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理の提供や，高齢者の智慧を活用した伝統的工芸品の復活・販売により自主運営できる施設の建設なども視野に入れた周辺整備についても，更に研究を進める必要があります。

## 遠藤まちづくり推進事業

### まちづくりのテーマ

# 新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

### まちづくり事業

#### 1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

#### 2 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。

#### 3 遠藤魅力アップ推進事業

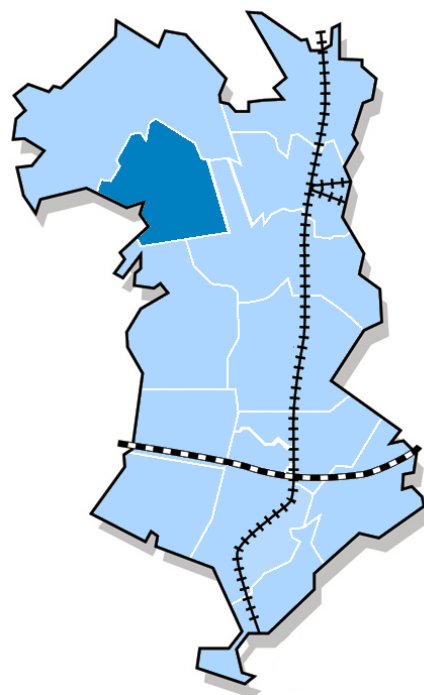
健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取組を進め、観光や農業の振興を図ります。

#### 4 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、ホームページを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進するなど、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組みます。

#### 5 避難行動要支援者支援体制整備事業

「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。



## 6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる，安全安心な道路環境を推進するため，地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また，地区内の交通不便地域の解消に向け，調査研究を進めます。

## 7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき，今後予定される新たなまちづくりの方向性について，地域団体や関係機関，慶應義塾大学や行政等と連携し，地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通，景観等について検討し，都市拠点機能や観光拠点機能を高め，魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

## 8 伝統文化継承事業

遠藤地区には，本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり，地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ，歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため，子ども達の体験や学習の場，民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ，広報活動に積極的に取り組むことで，担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては，都市拠点として都市機能の充実を図り，地域活力を高める重要な事業であり，地域が行政と連携協力し長期的に取り組む課題となっています。

超高齢化社会が進行するなかで，誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう，地域資源のつながりと連携を深め，住民一人ひとりが互いに支えあう地域社会の実現が，長期的に取り組む課題となっています。

## 長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

### さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

#### 地域活性化事業

##### 1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるため、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

##### 2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援します。

(1) 子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施

##### 3 地域人材発掘・育成事業

地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動・ボランティア活動に係る情報発信等を行います。

(1) 地域活動・ボランティア活動に係る情報発信等の実施

##### 4 ちょうご見守りネットワーク事業

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携し、高齢者を支える「ちょうご見守りネットワークシステム」の推進を図ります。

(1) 周知チラシ「ちょうご見守りネットワーク通信」の発行

##### 5 観光・歴史資源開拓事業

観光・歴史資源の開拓を目的として、名所・旧跡への解説板の設置等を行います。

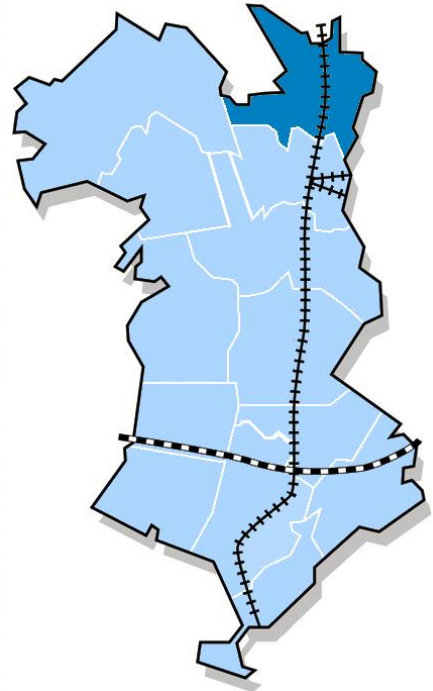
(1) 名所や旧跡への解説板の設置

(2) ふるさと観光マップ「長後めぐり」の配布

##### 6 交通手段支援事業

交通不便地域の解消のため、地域公共交通の導入に向けた取組を行います。

(1) 地域公共交通の導入に向けた取組に関する情報発信等の実施



## 7 花いっぱい運動推進事業

花があふれる地域づくりのため、公共的な場所に設置された花壇等の管理やイベント活動に対して支援を行います。

- (1) 花フェスタの開催，花の広場の定例作業
- (2) 長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇・プランターへの植栽等

## 8 地域活動支援事業

環境美化活動への支援を行います。

- (1) 環境美化活動に要する用具等の購入に係る支援

## 9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう，スクールガードリーダーを中心とした子どもを見守るネットワークの強化と情報交換等を行い，防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

## 10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換，防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

---

## 長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し，慢性的な交通渋滞を緩和するとともに，狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤の整備が課題となっています。

また，長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により，地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

都市基盤整備以外の課題としては，地域コミュニティの高齢化・希薄化が進む中，次世代を担う人材の発掘や育成による地域活動の活性化への取組が必要となっています。

## 辻堂地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

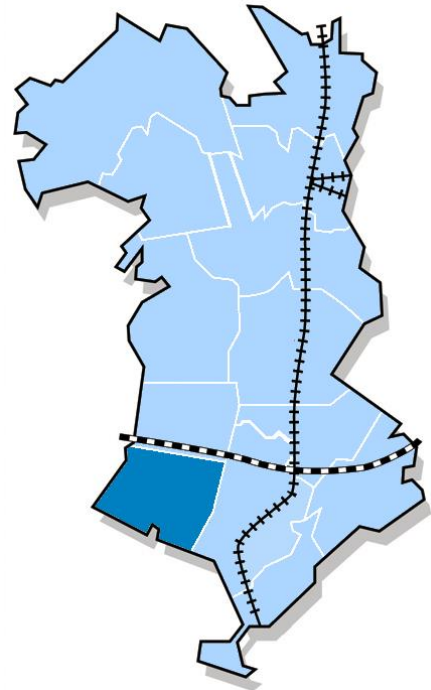
## 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ” 湘南辻堂 ”

### まちづくり事業

#### 1 辻堂交流事業

地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施します。

- (1) みんなで美化キャンペーン  
(辻堂駅南海岸線周辺の除草、花苗植栽等)
- (2) 辻堂朝市  
(地産地消の取組)
- (3) 伝統文化継承講座  
(地区に伝わる伝統文化についての情報発信等)
- (4) 辻堂グリーン回廊ウォーキング  
(地域の名所旧跡や自然環境を周遊するグリーン回廊の周知と健康増進)
- (5) 湘南ニコニコロードギャラリープロジェクト  
(湘南ニコニコロードのアートギャラリー活用)



#### 2 暮らし安心・安全事業

災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施します。

- (1) 防災啓発事業  
(災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施)
- (2) マナーアップ活動  
(地域住民や来訪者、観光客のマナーの向上を図るキャンペーン等の実施)
- (3) 子どもの見守り  
(地域で子どもを見守る環境づくりや見守りボランティアの育成)
- (4) まちづくり事業  
(地区内の課題等に対し、より良いまちづくりを進めていくための講座等を実施)

#### 3 福祉事業

健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施します。

- (1) 認知症理解促進事業

(認知症に関する知識や理解を深め、地域で見守ることを目指した講座等の実施)

(2) 子どもの貧困問題

(子どもの貧困等に関する支援の検討等)

#### 4 広報・啓発事業

辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すため、「辻堂プライド」を概念として取組を実施します。

(1) 子ども回覧板事業

(子どもの目線から辻堂地区の魅力を発掘し、作成した記事を地域で回覧)

(2) 辻堂プライド啓発

(辻堂への誇り・愛着の醸成及びまちづくりへの積極的参加を促す取組)

(3) SNS配信

(湘南工科大学との連携によるSNSを活用した情報発信)

---

#### 長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

道路や公園といった地域資源に対する意見や要望等については、講座や勉強会などを通して理解を深めるとともに、要望書や提言書としてまとめていきたいと考えます。

地域住民のまちづくりへの積極的参加を促すため、辻堂プライドの概念のもと、取組を進めていきます。



## 善行地区まちづくり事業

---

### まちづくりのテーマ

---

## みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

---

### まちづくり事業

---

#### 1 広報・地域活動ネットワーク構築事業

郷土づくり推進会議の活動を地区内に周知するとともに、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援し、周知・啓発を図ります。

- (1) 地域団体の様々な活動を発信する広報紙の発行等
- (2) 地域で行う様々な事業に対する支援

#### 2 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援します。

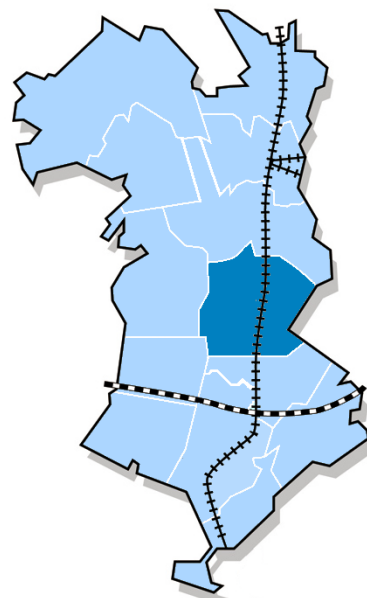
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援
- (2) 善行西部地区における交通不便解消・高齢者等の移動支援（既存バス路線の改良）についての検討及び交通事業者との調整

#### 3 地域共生社会の構築事業

藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域における様々な福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行います。また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げ、定着していくことを推進します。

#### 4 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業

善行駅周辺のバリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進するとともに、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進します。



---

### 長期的に取り組む地域課題等

---

藤沢型地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域で安全に安心して暮らせるよう、セーフティネットの構築に向けた取組を具体的に進めるとともに、地域の幅広い主体と連携して地域活性化に向けた取組を進めることと合わせ、地域コミュニティが充実することが求められています。また、地域のまちづくりの拠点となる善行市民センター・公民館については、第2期工事（健康プラザ棟建設）を完了し、地域住民にとってより「頼りになる」拠点施設となることを目指します。

## 湘南大庭地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

### まちづくり事業

#### 1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣，食事，運動などの改善を図るため，健康寿命を延ばすイベントや講演会の開催及び協力といった取組
- (2) 地区住民にとって身近な施設を利用した，健康に関する専門機関との連携による「健康相談事業」の実施

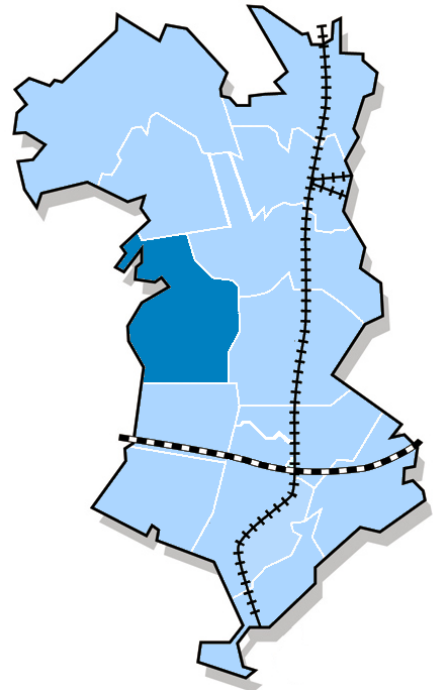
#### 2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は，地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって，道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り，地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間計画を企画・実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

#### 3 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い，高齢者の自立した生活を支えるため，ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進めるとともに，地区内の公園での朝の体操風景が定着し，参加者同士が顔見知りとなる「人と人とのつながり」による健康づくりのまちを目指します。



### 長期的に取り組む地域課題等

自治会・町内会や地域団体等の役員の世代交代が進まず，コミュニティ活動の活性化や事業継続に必要な人材確保が喫緊の課題となっています。また，西部土地区画整理事業で整備された団地等が老朽化し，新たな都市基盤の再生が急務となる中で，同時に進展する超高齢社会を支えるため，先進事例の研究等を行い，住まいを中心に生活を支えることができる既存の社会資源を生かした“まちづくり”を進める必要があります。

## 湘南台地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

### まちづくり事業

#### 1 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、地区で活躍する社会人の方を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

(1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

#### 2 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地の利用や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

(1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新

(2) 緑の回遊路を発信するウォークイベントの開催

(3) 「花のまち湘南台」に向けた写真展の開催

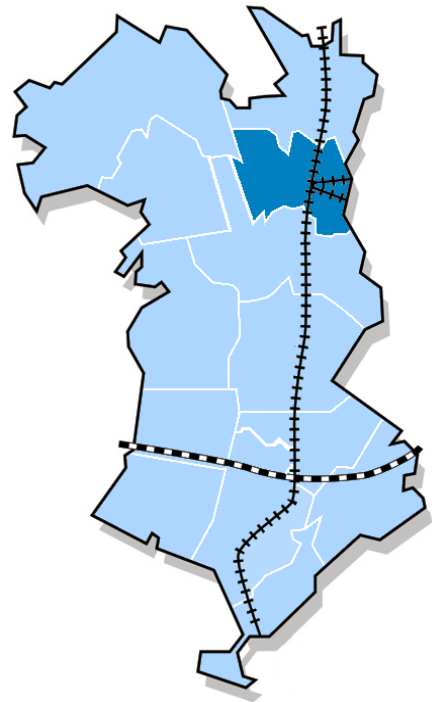
#### 3 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

(1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

#### 4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。



- (1) 地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」の開催
- (2) 地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」修了者の地域活動参加の促進

## 5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下イベント広場を有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下イベント広場での多目的イベントの開催
- (2) 駅地下イベント広場での展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

## 6 湘南台駅地下アートスクエア整備事業

湘南台駅地下イベント広場を、住民参加型の音楽とアートの文化拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備します。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

湘南台地区は、交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念されています。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。満足度の高いまちづくりを推進し、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土とするために、地域特性を生かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが湘南台地区の課題です。

## 鵠沼地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵠沼

### まちづくり事業

#### 1 鵠沼元気塾・鵠沼元気ひろば事業

2013年(平成25年)4月から鵠沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として、鵠沼元気塾を開始。2016年(平成28年)4月からは地区北部への拡大を図り、鵠沼元気ひろばを開始。地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

- (1) 学校の宿題等の学習
- (2) 地域スタッフの企画による工作や遊び、音楽等
- (3) 夏季野外活動などの体験学習

#### 2 認知症等啓発事業

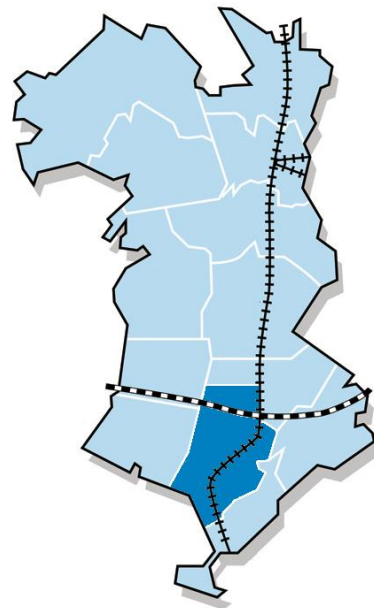
地域において認知症等への理解を深めるために講座や講演会を開催するなど、認知症等の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

#### 3 歴史・文化継承事業

鵠沼郷土資料展示室において、鵠沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場を提供しています。また、既存資料の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図るものです。

#### 4 鵠まつり事業

2009年(平成21年)から鵠沼のまちおこしとして鵠沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵠沼魚醤を使った創作料理や、鵠沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催時期と内容を検討し、年度内の開催を目指します。



### 長期的に取り組む地域課題等

鵠沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路の問題や地域を支える地域団体、ボランティア等の担い手づくり(人材の発掘や育成)などの課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

## 藤沢地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

### まちづくり事業

#### 1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用した地域イベント等を実施する活動を支援するとともに、より多くの方々が藤沢宿を訪れることによって、地区ににぎわいをもたらし、藤沢宿のさらなる活性化を図ります。

- (1) 地域イベント等を実施する団体への支援
- (2) トランスボックスラッピングの維持管理
- (3) 藤沢宿のPR
- (4) 藤沢宿の伝承・継承

#### 2 交通安全対策事業

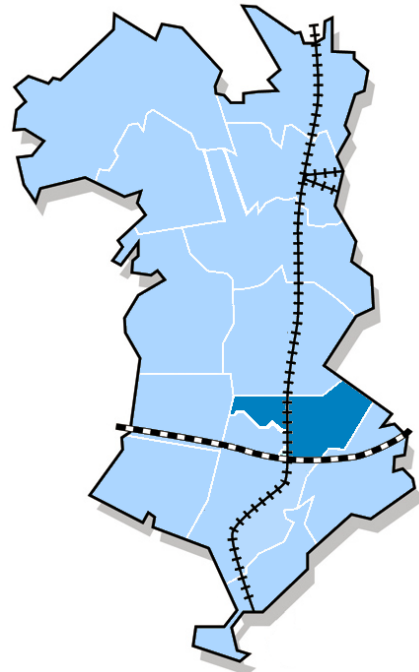
藤沢地区は、JR・小田急線藤沢駅、小田急線藤沢本町駅周辺に通勤、通学あるいは買い物を目的とした自動車・バイク・自転車が集中するとともに、地区内を国・県道等の幹線道路が通過するなど、交通事故が発生しやすい道路環境となっています。

こうしたことから、地域の交通事故発生場所の調査結果等を活用して作成した交通安全マップを基に、藤沢東部・西部地区交通安全対策協議会等との連携により、地域住民への交通事故防止の意識啓発を図ります。

#### 3 子どもの見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図り、学校登下校時の子どもの見守り活動や、いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心・快適な環境づくりを進めます。

- (1) 関係団体による情報交換会の開催
- (2) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化



### 長期的に取り組む地域課題等

小田急線藤沢本町駅周辺事業の進捗状況に応じて、駅周辺の利便性の向上を図るための取組及び、高齢者や障がい者が暮らしやすいまちに向けた地域生活改善事業についての取組を検討します。

また、関係機関による工事の進捗に応じて、(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備検証事業について取組を検討します。

## 村岡いきいきまちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか

### まちづくり事業

#### 1 マナーアップ啓発事業

一人ひとりの日ごろの気遣いや心がけにより，日常生活を送るうえでの迷惑行為をなくし，快適な生活環境を確保するために，自転車の安全な乗り方，ごみやたばこのポイ捨て，ペットの正しい飼い方などのマナーやモラルの向上に向けた事業を実施します。

- (1) ごみやたばこのポイ捨て，ペットのフンの放置，落書き禁止看板の配布・設置
- (2) 自転車交通安全教室等の実施

#### 2 村岡あいさつ運動事業

子どもたちの健やかな成長につながる，安全・安心な地域づくりを進めるため，学校・家庭・地域が一体となって，声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ，根付かせていきます。

- (1) 登下校時にあわせた声掛け・あいさつ活動の実施
- (2) ポスター・標語コンクールの実施

#### 3 地域防災力強化事業

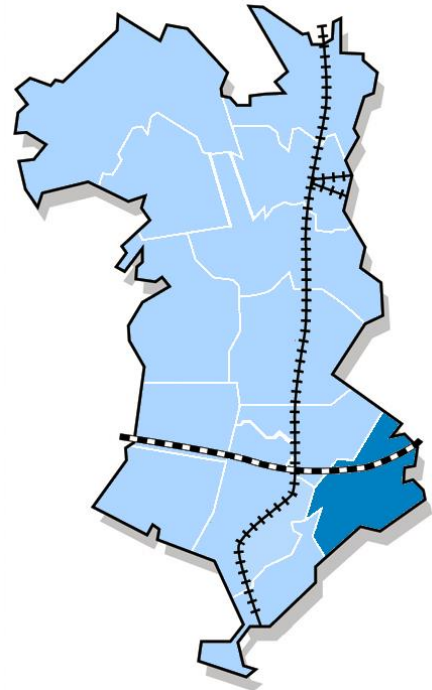
地域防災力の強化を図るため，啓発看板などにより地域防災情報の見える化を進めるとともに，地域防災に関わる人材の育成とすそ野の拡大に向けた取組や，災害ボランティアコーディネーター養成講座などを通じた災害時のボランティア受入能力の向上に向けた取組を進めます。

- (1) 一時避難場所表示看板の配布，海拔表示看板の掲出継続
- (2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催
- (3) 小学校高学年児童を対象とした防災講座の開催

#### 4 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め，美しく住みよい地域社会を築き，生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 地区年末一日清掃の実施
- (2) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講習会等の開催



## 5 歴史継承事業

地域の歴史的財産や自然的資源の素晴らしさと魅力を、より多くの方々に知っていただくため、名所・史跡の所在を示した史跡案内板の設置を進めたほか、地域の歴史や魅力を盛り込んだパンフレットの配布などを通じて、郷土愛あふれる「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) 歴史ガイドマップ「むらおか歴史の道」の配布
- (2) 今昔探訪ウォーキングの実施

## 6 地域情報発信事業

高齢者のみならず、地区内にお住いのすべての方々が安心して暮らすことができる地域づくりに向けて、きめ細かな地区内情報の発信を進めます。

- (1) 村岡地区便利帳「輝ら里・むらおかハンドブック」の配布

## 7 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に、安全・安心なまちづくりを進めるため、住民参加型の防犯活動を推進します。

- (1) わんわんパトロールの推進（愛犬の散歩時に携行する防犯啓発物品の配布等）

---

## 長期的に取り組む地域課題等

（仮称）村岡新駅の設置及び新駅周辺地区のまちづくり、県道横浜藤沢線の川名以南の延伸が長期的課題となっています。

また、村岡公民館等再整備事業については、令和3年度には基本設計に続き、実施設計にも着手していくこととなりますが、適切な進捗管理のもと円滑な事業の推進を図ります。

いずれも、地域の皆さんとの情報共有と共通理解のもとに計画を進めていくことが不可欠であることから、時期をとらえての説明会の開催など、情報提供の機会を充実していきます。



藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～  
事業集  
(令和3年度版)  
企画政策部 企画政策課  
〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1  
電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175  
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>